HP LaserJet M3027/M3035 MFP
ユーザーズ ガイド

HP LaserJet M3027/M3035 複合機

ユーザーズ ガイド

著作権およびライセンス

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

パーツ番号: CB414-90939

Edition 2, 10/2006

商標に関して

Adobe®、Acrobat®、および PostScript® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国登録商標です。

Microsoft®、Windows®、および Windows NT® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ENERGY STAR® および ENERGY STAR ロゴ® は、米国環境保護庁の米国登録商標です。

目次

7 コピー

8 スキャンと電子メールの送信

1　デバイスの基本

この章では、デバイス機能の基本情報について説明します。

デバイスの比較

HP LaserJet M3027	HP LaserJet M3027x	HP LaserJet M3035	HP LaserJet M3035xs
• レター サイズの用紙では最高で 27 ページ/分 (ppm)、A4 サイズの用紙では最高で 25 ppm の印刷速度 • 256 MB のランダム アクセス メモリ (RAM)、合計で最大 512MB まで拡張可能 • 40 GB 以上の内蔵ハードディスク • 100 枚多目的トレイ (トレイ 1)、500 枚給紙トレイ (トレイ 2)、50 枚自動文書フィーダ (ADF)、250 枚排紙ビン • 高速ユニバーサル シリアル バス (USB) 2.0 ポート、および拡張 I/O (EIO) スロット • Ethernet 10/100Base-T ネットワーク用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバ • デュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) スロット 1 基	HP LaserJet M3027、および以下の機能 • 自動両面印刷アクセサリ • 33.6 kpbs アナログ ファックス	• レター サイズの用紙では最高で 35 ppm、A4 サイズの用紙では最高で 33 ppm の印刷速度 • 256 MB の合計 RAM、512 MB まで拡張可能 • 40 GB 以上の内蔵ハードディスク • 100 枚トレイ 1、500 枚トレイ 2、50 枚 ADF、250 枚排紙ビン • 高速 USB 2.0 ポートおよび EIO スロット • Ethernet 10/100Base-T ネットワーク用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバ • DIMM の空きスロット 1 個 • 自動両面印刷アクセサリ	HP LaserJet M3035、および以下の機能 • 33.6 kpbs アナログ ファックス • 20 枚のコンビニエンス ステイプラ • 500 枚給紙トレイ (トレイ 3)

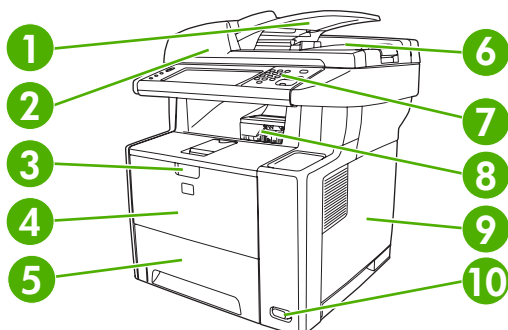
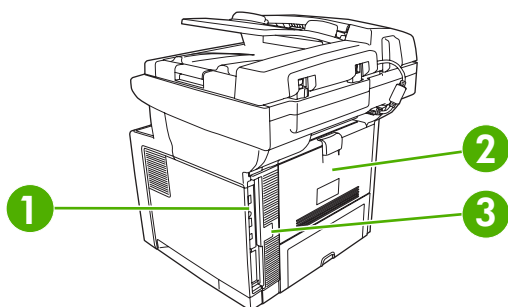
機能の比較

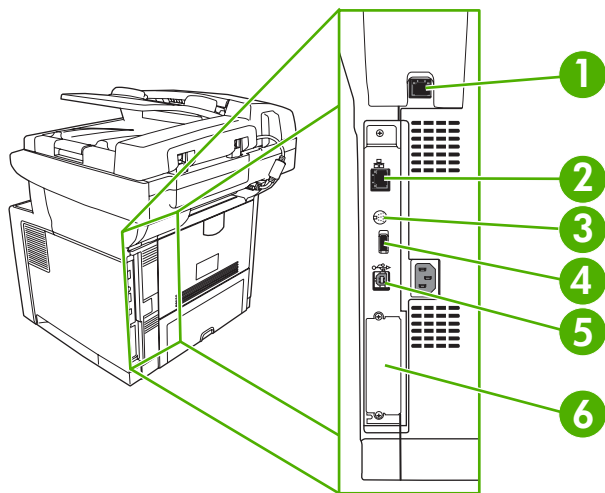
機能	説明
性能	● 460 MHz プロセッサ
ユーザー インタフェース	● コントロール パネル ヘルプ ● Windows® および Macintosh 用プリンタ ドライバ ● サポートへのアクセスおよびサプライ品の注文を行う内蔵 Web サーバ (ネットワーク接続モデルの管理ツールのみ) ● HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) (Web 対応のステータスおよびトラブルシューティング ツール)
プリンタ ドライバ	● HP PCL 5 ● HP PCL 6 ● HP PostScript Level 3 エミュレーション
解像度	● FastRes 1200：ビジネス文書やグラフィックスの高速・高画質印刷に適した 1200dpi 印刷品質を実現 ● ProRes 1200：ラインアートやグラフィック イメージを最高画質で表現する 1200dpi 印刷品質を実現
ユーザーのデータ保存	● 40 GB 以上の内蔵ハードディスク ● フォント、フォーム、およびその他のマクロ ● ジョブ保持
フォント	● PCL に使用できる 93 種類の内蔵フォント ● 80 種類の TrueType 書体プリンタ対応スクリーン フォントをソフトウェア ソリューションで使用できます。 ● 他のフォントも追加できます。
アクセサリ	● オプションの 500 枚給紙トレイ (トレイ 3) (HP LaserJet M3035xs MFP モデルでの標準仕様) ● 100 ピン 133MHz DIMM
接続性	● 高速 USB 2.0 接続 ● HP Jetdirect フル機能内蔵プリント サーバ ● HP Web Jetadmin ソフトウェア ● 拡張 I/O (EIO) スロット ● オプションでサードパーティ製用紙処理デバイスを取り付けるための Foreign Interface Harness (FIH) ポート
環境への配慮	● スリープ モード設定 ● ENERGY STAR® 認定

機能	説明
サプライ品	● サプライ品ステータス ページには、トナー残量、ページ数、および印刷可能なページ数の予測に関する情報が表示されます。 ● カートリッジの装着時に HP プリント カートリッジの信頼性がチェックされます。 ● インターネット対応のサプライ品注文機能 (HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を使用)
アクセス	● オンライン ユーザーズ ガイドは画面にテキストで表示されます。 ● プリント カートリッジは片手で取り付け・取り外しができます。 ● ドアとカバーはすべて片手で開くことができます。 ● メディアは片手でトレイ 1 にセットできます。

各部品の位置

デバイスの部品

製品を使用する前に、部品についてご理解ください。

1	自動文書フィーダ (ADF)
2	スキャナ装置
3	正面ドアを開き、プリント カートリッジを出し入れするためのラッチ
4	トレイ 1 (引いて開く)
5	トレイ 2
6	ADF 排紙ビン
7	コントロール パネル
8	上部排紙ビン
9	右側のカバー (DIMM の取り出し口)
10	オン/オフ スイッチ

1	インタフェース ポート (「インタフェース ポート」を参照)
2	後部排紙ビン (引いて開く)
3	電源の接続

インタフェース ポート

1	ファックス ポート (HP LaserJet M3027x と HP LaserJet M3035xs のみ)
2	ネットワーク通信
3	Foreign Interface Harness (FIH) ポート
4	アクセサリの追加用 Type A 高速 USB 2.0 接続
5	印刷用 Type B 高速 USB 2.0
6	EIO スロット

デバイス ソフトウェア

印刷システム ソフトウェアは、デバイスに付属しています。 インストール手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。

印刷システムには、エンド ユーザーおよびネットワーク管理者向けのソフトウェアと、デバイス機能の使用やコンピュータとの通信に必要なプリンタ ドライバが収録されています。

注記 プリンタ ドライバの一覧および HP プリンタ ソフトウェアのアップデートについては、www.hp.com/go/LJM3027mfp_software または www.hp.com/go/LJM3035mfp_software を参照してください。

対応オペレーティング システム

デバイスは、次のオペレーティング システムに対応します。

ソフトウェアのフルインストール

- Windows XP (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Server 2003 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows 2000
- Mac OS X V10.2.8、V10.3、V10.4 以降

プリンタ ドライバ専用

- Linux (Web 専用)
- UNIX モデル スクリプト (Web 専用)

注記 Mac OS V10.4 以降では、PPC および Intel Core Processor Macs に対応しています。

対応プリンタ ドライバ

オペレーティング システム	PCL 5	PCL 6	PostScript Level 3 エミュレーション
Windows	✔	✔	✔
Mac OS X V10.2.8、V10.3、V10.4 以降			✔
Linux[1]			✔

[1] Linux については、www.hp.com/go/linuxprinting から PostScript Level 3 エミュレーション ドライバをダウンロードしてください。

プリンタ ドライバには、一般的な印刷タスクの操作手順と、プリンタ ドライバ内のボタン、チェックボックス、およびドロップダウン リストに関するオンライン ヘルプが含まれています。

適切なプリンタ ドライバの選択

プリンタ ドライバによって、デバイス機能へのアクセスと、コンピュータとデバイス間の (プリンタ言語による) 通信が可能になります。 その他のソフトウェアや言語については、デバイスに同梱の CD に収録されているインストール ノートと Readme ファイルを参照してください。

このデバイスは、PCL 5、PCL 6、および HP PostScript Level 3 エミュレーションの各プリンタ記述言語 (PDL) ドライバを使用します。

- 全体的なパフォーマンスを最大限に引き出すには、PCL 6 プリンタ ドライバを使用してください。
- 一般的なオフィス印刷には、PCL 5 プリンタ ドライバを使用してください。
- PostScript Level 3 エミュレーションが必要であるプログラムから印刷する場合、または PostScript フラッシュ フォントに対応する場合は、HP PostScript Level 3 エミュレーション ドライバを使用してください。

ユニバーサル プリンタ ドライバ

Windows 用 HP ユニバーサル プリンタ ドライバ シリーズには、シングル ドライバの HP PostScript Level 3 エミュレーションおよび HP PCL 5 バージョンが用意されています。シングル ドライバを使用すると、ほぼすべての HP デバイスにアクセスでき、システム管理者にデバイスをさらに効率的に管理するためのツールも用意されます。 ユニバーサル プリンタ ドライバは、デバイスに同梱の CD の Optional Software セクションに収録されています。 詳細については、www.hp.com/go/universalprintdriver を参照してください。

ドライバの自動設定

HP LaserJet PCL 5、PCL 6、および PS レベル 3 エミュレーション ドライバ (Windows 2000 および Windows XP 用) の特徴として、インストール中のデバイス アクセサリの自動検出やドライバの自動設定を行う機能が挙げられます。 ドライバの自動設定に対応しているアクセサリには、両面印刷ユニット、オプションの用紙トレイ、および DIMM があります。

今すぐ更新

インストール時のデバイスの設定を変更した場合、ドライバを自動的に新しい設定に更新できます。 **[プロパティ]** ダイアログ ボックス (「プリンタ ドライバを開く」を参照) の **[デバイスの設定]** タブで、**[今すぐ更新]** ボタンをクリックして、ドライバを更新します。

HP ドライバの事前設定

HP ドライバの事前設定は、ソフトウェア アーキテクチャであり、企業で管理されている印刷環境において、HP ソフトウェアのカスタマイズや配布に使用可能なツール セットです。 HP ドライバの事前設定を使用すると、情報技術 (IT) 管理者は、ネットワーク環境にドライバをインストールする前に、HP プリンタ ドライバの印刷と初期値をあらかじめ設定することができます。 詳細については、www.hp.com/go/hpdpc_sw から入手できる『*HP Driver Preconfiguration Support Guide (HP ドライバ事前設定サポート ガイド)*』を参照してください。

印刷設定の優先度

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

注記　コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。 このダイアログ ボックスで変更された設定は、他のどの場所で変更された設定よりも優先されます。
- **[印刷] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[印刷]**、**[ページ設定]**、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。 **[印刷]** ダイアログ ボックスで変更された設定は優先度が低いため、**[ページ設定]** ダイアログ ボックスで変更した設定より*優先されることはありません*。
- **[プリンタのプロパティ] ダイアログ ボックス (プリンタ ドライバ)**： **[印刷]** ダイアログ ボックスの **[プロパティ]** をクリックすると、プリンタ ドライバが開きます。 **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで変更された設定は、印刷を行うソフトウェアの他の場所で変更された設定に置き換えられます。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定**： プリンタ ドライバのデフォルト設定は、**[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで設定が*変更されない限り*、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定**： プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバを開く

オペレーティング システム	すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	すべての印刷ジョブの設定を変更するには	デバイスの構成設定を変更するには
Windows 2000、XP、および Server 2003	1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。 手順は変わることがあり、共通ではありません。	1. **[スタート]** をクリックし、**[設定]** をポイントし、**[プリンタ]** または**[プリンタとファックス]** をクリックします。 2. ドライバ アイコンを右クリックし、**[印刷設定]** を選択します。	1. **[スタート]** をクリックし、**[設定]** をポイントし、**[プリンタ]** または**[プリンタとファックス]** をクリックします。 2. ドライバ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**を選択します。 3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。
Mac OS X V10.2.8、V10.3、V10.4 以降	1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. さまざまなポップアップ メニューで設定を変更します。	1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. さまざまなポップアップ メニューで設定を変更します。 3. **[プリセット]**ポップアップ メニューで**[別名で保存]** をクリックし、プリセットの名前を入力します。 これらの設定が **[プリセット]** メニューに追加されます。 新しい設定を使用するには、プログラムを起動して印刷するたびに、保存したプリセット オプションを選択する必要があります。	1. Finder の **[移動]** メニューで、**[アプリケーション]** をクリックします。 2. **[ユーティリティ]** を開き、**[プリント センター]** (OS X V10.2.8) または **[プリンタ設定ユーティリティ]** を開きます。 3. 印刷キューをクリックします。

オペレーティング システム	すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	すべての印刷ジョブの設定を変更するには	デバイスの構成設定を変更するには
			4. **[プリンタ]** メニューから **[情報を見る]** をクリックします。 5. **[インストール可能なオプション]** メニューをクリックします。 **注記** Classic モードでは構成設定を変更できない場合があります。

Macintosh コンピュータ用ソフトウェア

HP インストーラでは、PostScript® プリンタ記述 (PPD) ファイル、プリンタ ダイアログ機能拡張 (PDE)、および Macintosh コンピュータで使用する HP Printer ユーティリティが利用できます。

ネットワーク接続の場合は、内蔵 Web サーバ (EWS) を使ってデバイスを設定します。 「内蔵 Web サーバ」を参照してください。

印刷システム ソフトウェアには次のコンポーネントが含まれています。

- **[PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイル]**

  PPD を Apple PostScript プリンタ ドライバと併せて使用することで、デバイス機能を利用できるようになります。 コンピュータに付属の Apple PostScript プリンタ ドライバを使用してください。

- **[HP Printer ユーティリティ]**

  HP Printer ユーティリティは、プリンタ ドライバで設定できない、以下のようなデバイス機能を設定する場合に使用します。

  - デバイス名の指定。
  - ネットワーク上のゾーンへのデバイスの割り当て。
  - 内部プロトコル (IP) アドレスのデバイスへの割り当て。
  - ファイルおよびフォントのダウンロード
  - デバイスの IP または AppleTalk 印刷機能の設定。

  HP Printer ユーティリティは、デバイスが USB ケーブルで接続されているとき、または TCP/IP ベースのネットワークに接続されているときに使用することができます。 詳細については、「Macintosh 用 HP Printer ユーティリティの使用」を参照してください。

Macintosh オペレーティング システムからのソフトウェアの削除

Macintosh コンピュータからソフトウェアを削除するには、PPD ファイルをゴミ箱にドラッグします。

ユーティリティ

デバイスには、ネットワーク上のデバイスを簡単に監視・管理できるユーティリティが付属しています。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は、イントラネット上の HP Jetdirect に接続されたプリンタをブラウザで管理するツールです。このツールは、ネットワーク管理者のコンピュータにのみインストールしてください。

最新版の HP Web Jetadmin をダウンロードしたり、対応ホストシステムの最新のリストを参照したりするには、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

HP Web Jetadmin をホスト サーバにインストールすると、サポートされている Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer 4.*x* または Netscape Navigator 4.*x* 以降など) から HP Web Jetadmin ホストを参照することによって、どのクライアントからでも HP Web Jetadmin にアクセスすることができます。

内蔵 Web サーバ

デバイスには、デバイスおよびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる内蔵 Web サーバが装備されています。 この情報は、Microsoft Internet Explorer または Netscape Navigator などの Web ブラウザで表示できます。

内蔵 Web サーバはデバイスに組み込まれています。 ネットワーク サーバにはロードされません。

内蔵 Web サーバが提供するインタフェースは、ネットワークに接続されている任意のコンピュータから標準の Web ブラウザを使用してそれにアクセスできます。 特別なソフトウェアがインストールまたは設定されることはありませんが、サポートされている Web ブラウザがコンピュータにインストールされている必要があります。 内蔵 Web サーバにアクセスするには、ブラウザのアドレス行にデバイスの IP アドレスを入力します (IP アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。 設定ページの印刷方法については、「[情報ページ] の使用」を参照してください)。

内蔵 Web サーバの機能の詳しい説明については、「内蔵 Web サーバの使用」を参照してください。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア)

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) は、次の作業を行うときに使用するプログラムです。

- ネットワーク上のデバイスの検出、および各デバイスのステータスのチェック
- 同時に複数のプリンタに対する、デバイスおよびサプライ品警告の設定と表示
- サプライ品のオンライン購入
- HP のオンライン トラブルシューティングおよび保守ツールの使用

デバイスがコンピュータに直接接続されているか、ネットワークに接続されている場合は、HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を使用できます。 HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) をダウンロードするには、www.hp.com/go/easyprintercare にアクセスしてください。

対応オペレーティング システム

対応オペレーティング システムの詳細については、www.hp.com/go/easyprintercare を参照してください。

対応ブラウザ

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を使用するには、次のブラウザのいずれかが必要です。

- Microsoft Internet Explorer 5.5 以降
- Netscape Navigator 7.0 以降
- Opera Software ASA Opera 6.05 以降

すべてのページはブラウザから印刷できます。

その他のコンポーネントおよびユーティリティ

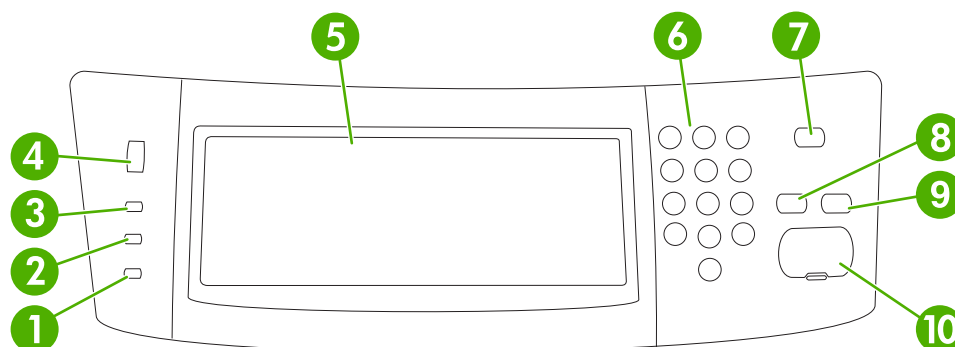
Windows	Macintosh OS
● ソフトウェア インストーラ - 印刷システムのインストールを自動化します。	● PostScript プリンタ記述ファイル (PPD) : Mac OS に付属の Apple PostScript ドライバと共に使用します。
● オンライン Web 登録	● HP Printer ユーティリティ : デバイス設定の変更、ステータスの表示、Mac からのプリンタのイベント通知のセットアップなどを行います。このユーティリティは、Mac OS X V10.2.8、V10.3、V10.4 以降に対応しています。

2 コントロール パネル

コントロール パネルの使用

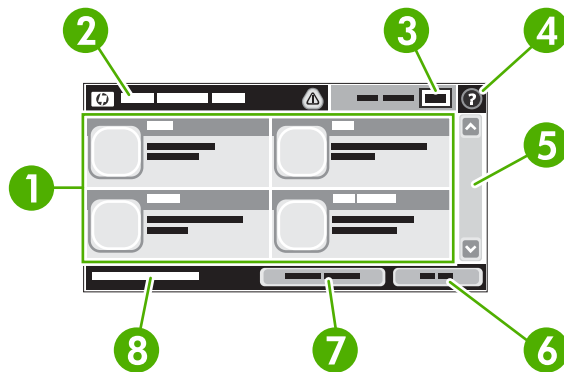
コントロール パネルには、すべてのデバイス機能にアクセスできる VGA タッチスクリーンがあります。 ボタンと数値キーパッドを使用して、ジョブとデバイスのステータスを制御します。 LED は全体のデバイス ステータスを示します。

コントロール パネルのレイアウト

コントロール パネルには、タッチスクリーンのディスプレイ、ジョブ制御ボタン、数値キーパッド、3 つの発光ダイオード (LED) のステータス ランプが表示されます。

1	**[注意]** ランプ	注意 ランプは、ユーザー操作が必要な状況であることを示します。 たとえば、用紙トレイが空の場合やタッチスクリーンにエラー メッセージが表示される場合です。
2	**[データ]** ランプ	データ ランプは、デバイスがデータを受信中であることを示します。
3	**[印字可]** ランプ	印字可 ランプは、ジョブの処理を開始する準備が整っていることを示します。
4	輝度調整ダイアル	タッチスクリーンの輝度を調整するには、このダイヤルを回します。
5	タッチスクリーン グラフィック ディスプレイ	このタッチスクリーンを使用して、デバイス機能を開いてセットアップします。
6	数字キーパッド	必要なコピー部数やその他の数値を入力できます。
7	スリープ時 ボタン	デバイスが長期間操作されなかった場合、自動的にスリープ モードに移行します。 デバイスをスリープモードにする場合、またはスリープ モードから復帰する場合、スリープ時 ボタンを押します。
8	リセット ボタン	ジョブ設定を工場出荷時のデフォルト値またはユーザー定義のデフォルト値にリセットします。
9	停止 ボタン	アクティブなジョブを停止します。 停止中に、コントロール パネルには停止したジョブのオプションが表示されます (たとえば、印刷ジョブの処理中に [停止] ボタンを押すと、コントロール パネルにその印刷ジョブをキャンセルするか再開するかを確認するメッセージが表示されます)。
10	スタート ボタン	コピー ジョブやデジタル送信を開始したり、中断したジョブを継続したりします。

[ホーム] 画面

[ホーム] 画面からデバイス機能にアクセスできます。また、デバイスの現在のステータスが表示されます。

注記　システム管理者の設定方法によって、[ホーム] 画面に表示される機能は変わります。

1	機能	システム管理者の設定方法によって、ここに表示される項目は変わります。たとえば次の項目が表示されます。 ● コピー ● ファックス ● 電子メール ● セカンダリ電子メール ● ネットワーク フォルダ ● ジョブ保存 ● ワークフロー ● サプライ品のステータス ● 管理
2	デバイスのステータス行	ステータス行には、全体的なデバイスのステータスに関する情報が表示されます。 現在のステータスに応じて、さまざまなボタンが表示されます。 ステータス行に表示できるボタンの説明については、「タッチスクリーンのボタン」を参照してください。
3	コピー数	コピー数のボックスには、デバイスに設定された作成コピー数が表示されます。
4	[ヘルプ] ボタン	[ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。
5	スクロール バー	使用できる機能リストをすべて確認するには、スクロール バーの上矢印または下矢印にタッチします。
6	サインアウト	制限付きの機能にアクセスするためにデバイスにサイン インしている場合、サイン アウトするには、サインアウト にタッチします。 サイン アウトすると、すべてのオプションがデフォルト設定に戻ります。
7	ネットワーク アドレス	ネットワーク接続に関する情報を検索するには、ネットワーク アドレス にタッチします。
8	日付と時刻	現在の日付と時刻がここに表示されます。 システム管理者は、日時の表示に使用する書式 (12 時間形式または 24 時間形式など) を選択できます。

タッチスクリーンのボタン

タッチスクリーンのステータス行には、デバイスのステータスに関する情報が表示されます。 ここにはさまざまなボタンが表示されます。 次の表で各ボタンを説明します。

	[ホーム] ボタン。 [ホーム] ボタンにタッチすると、どの画面からでも [ホーム] 画面に戻ります。
	スタート ボタン。 使用している機能の動作を開始するには、スタート ボタンにタッチします。 **注記** このボタン名は機能ごとに変わります。 たとえば、コピー 機能では、ボタン名が コピー開始 になります。
	停止 ボタン。 印刷ジョブまたはファックス ジョブを処理している場合、スタート ボタンではなく 停止 ボタンが表示されます。 現在のジョブを中断するには、停止 にタッチします。 ジョブをキャンセルするか再開するかの確認メッセージが表示されます。
	[エラー] ボタン。 [エラー] ボタンは、処理を続行する前に注意が必要なエラーが発生したときに表示されます。 [エラー] ボタンにタッチすると、エラーを説明するメッセージが表示されます。 メッセージには問題を解決する指示も記載されます。
	[警告] ボタン。 デバイスに問題が発生していても、処理が続行できるときに [警告] ボタンが表示されます。 [警告] ボタンにタッチすると、問題を説明するメッセージが表示されます。 メッセージには問題を解決する指示も記載されます。
	[ヘルプ] ボタン。 [ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。 詳細については、「コントロール パネルのヘルプ システム」を参照してください。

コントロール パネルのヘルプ システム

このデバイスには、各画面の使用方法を説明した内蔵のヘルプ システムがあります。 ヘルプ システムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン (?) にタッチします。

一部の画面では、[ヘルプ] にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバル メニューが表示されることがあります。 メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。

個々のジョブの設定が含まれた画面では、[ヘルプ] にタッチすると、その画面のオプションについて説明するトピックが表示されます。

エラーまたは警告が通知された場合、[エラー] ボタン (!) または [警告] (⚠) ボタンにタッチすると、問題を説明するメッセージが表示されます。 また、問題を解決するための指示が記載されている場合もあります。

管理 メニューの使用

管理 メニューは、デフォルトのデバイス動作と他のグローバル設定 (言語や日時の形式など) を指定するときに使用します。

[管理] メニューの操作

[ホーム] 画面の 管理 をタッチしてメニュー構造を開きます。 この機能を表示するには、[ホーム] 画面の下部にスクロールが必要な場合があります。

管理 メニューには、いくつかのサブメニューがあり、画面の左側に表示されます。 メニュー名にタッチすると、メニュー構造が展開されます。 メニュー名の横にあるプラス記号 (+) は、サブメニューがあることを示します。 前のレベルに戻るには、後方 にタッチします。

[管理] メニューを終了するには、画面の左上隅にある [ホーム] ボタン () にタッチします。

メニューで使用できる各機能については、デバイスのヘルプで説明しています。 ヘルプは、タッチスクリーンの右側にあるメニューの多くに使用できます。 また、グローバル ヘルプ システムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン () にタッチします。

以下の表に、各メニューの全体構造を示します。

情報 メニュー

デバイス内に保存されている情報ページとレポートを印刷するには、このメニューを使用します。

表 2-1 情報 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
設定/ステータス ページ	管理メニュー マップ		印刷 (ボタン)	管理 メニューの基本構造と設定、および現在の管理設定を表示します。
	設定ページ		印刷 (ボタン)	現在のデバイス設定が表示される設定ページです。
	サプライ品ステータス ページ		印刷 (ボタン)	プリント カートリッジなど、サプライ品のステータスを表示します。
	使用状況ページ		印刷 (ボタン)	各用紙のタイプとサイズについて印刷されたページ数に関する情報が表示されます。
	ファイル ディレクトリ		印刷 (ボタン)	デバイスにインストールされているフラッシュ ドライブ、メモリ カード、ハード ディスクなど、ストレージ デバイスの情報が記載されたディレクトリ ページです

表 2-1 情報 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ファックス レポート (ファックス機能を備えるモデルのみ表示されます)。	ファックス使用状況ログ		印刷 (ボタン)	このデバイスが送受信したファックスのリストが記載されます。
	ファックス コール レポート	ファックス コール レポート	印刷 (ボタン)	送信または受信した最後のファックス操作の詳細なレポートです。
		レポート上のサムネイル	はい 不可 (デフォルト)	レポートにファックスの 1 ページ目のサムネイルを含めるかどうかを選択します。
		レポート印刷時間	自動印刷しない ファックス ジョブ後に印刷 ファックス送信ジョブ後に印刷 ファックス エラー後に印刷 送信エラー後にのみ印刷 受信エラー後にのみ印刷	
	請求書コード レポート		印刷	送信ファックスに使用された請求書コードのリストです。 このレポートには、各コードに請求された送信ファックスの数が表示されます。
	ブロックするファックス リスト		印刷	このデバイスへのファックス送信がブロックされている電話番号のリストです。
	短縮ダイアル リスト		印刷	このデバイスにセットアップされている短縮ダイアルを表示します。
サンプル ページ/フォント	PCL フォント リスト		印刷	現在デバイスで使用できる PCL (printer control language) フォントのリストを印刷します。
	PS フォント リスト		印刷	現在デバイスで使用できる PostScript (PS) フォントのリストです。

デフォルト ジョブ オプション メニュー

このメニューを使用して、各機能のデフォルト オプションを指定します。 ジョブを作成するときにこのオプションを指定しない場合には、デフォルトのオプションが使用されます。

デフォルト ジョブ オプション メニューには次のサブメニューがあります。

- 原稿のデフォルト オプション
- デフォルト コピー オプション
- デフォルト ファックス オプション
- デフォルト電子メール オプション
- デフォルトでフォルダに送信するオプション
- デフォルト印刷オプション

原稿のデフォルト オプション

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-2 [原稿のデフォルト オプション] メニュー

メニュー項目	値	説明
用紙サイズ	リストから用紙サイズを選択します。	原稿のコピーやスキャンに最もよく使用する用紙サイズを選択します。
片面/両面	1 (デフォルト)	原稿のコピーまたはスキャン時に、片面と両面のどちらを使用するかを選択します。
	2	
方向	縦 (デフォルト)	原稿のコピーやスキャンに最もよく使用する用紙の向きを選択します。 短辺を上部に配置する場合は 縦、長辺を上部に配置する場合は 横 を選択します。
	横	
テキスト/画像の最適化	手動調整 (デフォルト)	この設定を使用して、特定タイプの原稿出力を最適化します。 テキスト、画像、混合の出力を最適化します。 手動調整 を選択する場合、最もよく使用するテキストと画像の混合を指定できます。
	テキスト	
	写真	
イメージ調整	濃さ	この設定を使用すると、暗めの原稿や明るめの原稿を最適化できます。
	背景のクリーンアップ	背景から薄い色の画像を削除する場合、明るい背景色を削除する場合は、背景のクリーンアップ 設定を増やします。
	鮮明度	鮮明度 設定を調整して、画像を鮮明にしたり柔らかくしたりします。

デフォルト コピー オプション

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-3 デフォルト コピー オプション メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
コピー部数		部数を入力します。 出荷時のデフォルト設定は、1 です。	コピー ジョブのデフォルトの部数を設定します。
片面/両面		1 (デフォルト) 2	コピーのデフォルトの面数を設定します。
丁合い		オフ オン (デフォルト)	部数を照合するオプションを設定します。 文書を複数部数作成する場合、同時に 1 セット、照合によって正しい順序でページが設定されます。各ページのすべての部数が相互に隣合うことはありません。
最小マージン		標準 (推奨) (デフォルト) 最小マージン出力	原稿が用紙の端近くに印刷される場合は、最小マージン 機能を使用して、用紙の端に影が印刷されるのを防ぐことができます。 この機能と 縮小/拡大 機能を組み合わせると、全体のページがコピーに印刷されます。

デフォルト ファックス オプション

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-4 [ファックス送信設定] メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
解像度		標準画質 (100x200dpi) (デフォルト) 高画質 (200x200dpi) 最高画質 (300x300dpi)	この機能を使用して、送信される文書の解像度を設定します。 イメージの解像度が高くなると、dpi の数値が高くなり、表示がより精細になります。 イメージの解像度が低くなると、dpi の数値が低くなり、表示はあまり精細ではなくなりますが、ファイル サイズは小さくなります。
ファックス ヘッダ		プリペンド (デフォルト) オーバーレイ	この機能を使用すると、ページに配置するファックスのヘッダ位置を選択できます。 ファックス コンテンツの上にファックスのヘッダを印刷し、ページの下部にファックス コンテンツを移動するには、プリペンド を選択します。 ページの下部にファックス コンテンツを移動せずにファックス コンテンツの上にファックスのヘッダを印刷するには、オーバーレイ を選択します。 このオプションを使用すると、1 ページのファックスが 2 ページ目に移動するのを防ぐことができます。

表 2-5 ファックス受信 メニュー

メニュー項目	値	説明
ファックスの転送	ファックス転送 PIN を変更	受信したファックスを他のファックス デバイスに転送するには、ファックス転送 と カスタム を選択します。 初めてこのメニュー項目を選択すると、PIN の入力が求められます。 このメニューを使用しようとするたびに、PIN を入力するように求められます。 これは、[ファックス印刷] メニューのアクセスに使用するのと同じ PIN です。
受信ファックスのスタンプ	有効 無効 (デフォルト)	このオプションを使用すると、受信するときのファックスの各ページに、日付、時間、送信者の電話番号、ページ番号を追加できます。
用紙の大きさに合わせる	有効 (デフォルト) 無効	この機能を使用して、レターサイズまたは A4 サイズよりも大きいファックスを縮小して、レターサイズまたは A4 サイズのページに合わせることができます。 この機能が 無効 に設定されている場合、レターサイズまたは A4 サイズよりも大きいファックスは複数のページにまたがって印刷されます。
ファックス用紙トレイ	トレイ リストから選択します。	受信ファックスに使用する用紙のサイズとタイプがセットされたトレイを選択します。

デフォルト電子メール オプション

デバイスから送信された電子メールのデフォルト オプションを設定するには、このメニューを使用します。

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

メニュー項目	値	説明
文書ファイル タイプ	PDF (デフォルト) JPEG TIFF M-Tiff	電子メールのファイル形式を選択します。
出力品質	高 (大きなファイル) 中 (デフォルト) 低 (小さなファイル)	高品質の出力を選択すると、出力ファイル サイズが増えます。
解像度	75 DPI 150 DPI (デフォルト) 200 DPI 300 DPI	解像度を選択するにはこの機能を使用します。 ファイル サイズを小さくするには、設定値を低くします。
カラー/黒	カラー スキャン (デフォルト) モノクロ スキャン	電子メールをモノクロまたはカラーのどちらにするかを指定します。
TIFF バージョン	TIFF 6.0 (デフォルト) TIFF (Post 6.0)	スキャンしたファイルを保存するときに、使用する TIFF バージョンを指定するには、この機能を使用します。

デフォルトでフォルダに送信するオプション

注記 このメニューが表示されるのは、HP LaserJet M3035 MFP モデルの場合のみです。

コンピュータに送信されたスキャン ジョブのデフォルト オプションを設定するには、このメニューを使用します。

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

メニュー項目	値	説明
カラー/黒	カラー スキャン モノクロ スキャン (デフォルト)	ファイルをモノクロとカラーのどちらにするかを指定します。
文書ファイル タイプ	PDF (デフォルト) M-TIFF TIFF JPEG	ファイルのファイル形式を選択します。

メニュー項目	値	説明
TIFF バージョン	TIFF 6.0 (デフォルト) TIFF (Post 6.0)	スキャンしたファイルを保存するときに、使用する TIFF バージョンを指定するには、この機能を使用します。
出力品質	高 (大きなファイル) 中 (デフォルト) 低 (小さなファイル)	高品質の出力を選択すると、出力ファイル サイズが増えます。
解像度	75 DPI 150 DPI (デフォルト) 200 DPI 300 DPI	解像度を選択するにはこの機能を使用します。 ファイル サイズを小さくするには、設定値を低くします。

デフォルト印刷オプション

コンピュータから送信されるジョブのデフォルト オプションを設定するには、このメニューを使用します。

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-6 デフォルト印刷オプション メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ジョブの印刷部数		値を入力します。	この機能を使用して、印刷ジョブのデフォルトの部数を設定します。
デフォルト用紙サイズ		(対応サイズのリスト)	用紙サイズを選択します。
デフォルト カスタム用紙サイズ	計測単位	ミリメートル インチ	印刷ジョブの用紙サイズに カスタム を選択したときに使用されるデフォルトの用紙サイズを設定します。
	X の寸法		デフォルト カスタム用紙サイズ の幅の単位を設定します。
	Y の寸法		デフォルト カスタム用紙サイズ の高さの単位を設定します。
印刷面		片面 (デフォルト) 両面	この機能を使用して、印刷ジョブをデフォルトで片面に印刷するか、両面に印刷するかを選択します。
両面フォーマット		製本スタイル 綴じ込みスタイル	この機能を使用して、両面印刷ジョブのデフォルト スタイルを設定します。 製本スタイル を選択すると、ページの裏側は右側が上に印刷されます。 このオプションは、左綴じで製本される印刷ジョブ用です。 綴じ込みスタイル を選択すると、ページの裏側は上下を逆にして印刷されます。 このオプションは、上綴じで製本される印刷ジョブ用です。

[時刻/スケジューリング] メニュー

このメニューを使用して、時刻の設定オプションと、スリープ モードへの移行と復帰の設定オプションを指定します。

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-7 時刻/スケジューリング メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
日付/時刻	日付形式		YYYY/MMM/DD (デフォルト) MMM/DD/YYYY DD/MMM/YYYY	この機能を使用して現在の日付と時刻を設定し、送信ファックスのタイムスタンプに使用する日付形式と時刻形式を設定します。
	日付	月 日 年		
	時刻形式		12 時間 (AM/PM) (デフォルト) 24 時間	
	時刻	時間 分 午前 午後		
スリープ遅延			20 分 30 分 (デフォルト) 45 分 1 時間 (60 分) 90 分 2 時間 4 時間	この機能を使用して、スリープ モードに入る前にデバイスが無操作状態にある時間を選択します。
スリープ復帰時刻	月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日 日曜日		オフ (デフォルト) カスタム	カスタム を選択して、月曜日から日曜日までのスリープ復帰時刻を設定します。 このスケジュールに合わせてスリープ モードが終了します。 スリープのスケジュールを使用すると、デバイスを使用するための電力と準備時間を節約できるため、ウォーム アップが完了するまで待つ必要はなくなります。

表 2-7 時刻/スケジューリング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ファックス印刷	ファックス印刷モード		全受信ファックスを保存 全受信ファックスを印刷 ファックス印刷スケジュールの使用	プライベート ファックスのセキュリティが心配な場合、印刷スケジュールを作成して自動的に印刷するのではなく、この機能を使用してファックスを保存します。 ファックスの印刷スケジュールの場合、ファックスを印刷する日時を選択するメッセージが表示されます。
	PIN を変更			ファックスの印刷に必要な PIN 番号を変更するには、PIN を変更 を選択します。

[管理] メニュー

このメニューを使用して、グローバル デバイス管理オプションをセットアップします。

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-8 管理 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
保存されたジョブ管理	クイック コピー ジョブ保存制限	保存する最大ジョブ数を選択します。	デバイスに保存されているジョブの表示と管理を行うには、このメニューを使用します。
	クイック コピー ジョブ保留タイムアウト	1 時間 4 時間 1 日 1 週	
スリープ モード		無効 スリープ遅延を使用 (デフォルト)	デバイスのスリープ モード設定をカスタマイズするには、この機能を使用します。 時刻/スケジューリング メニューで指定した遅延時間後に、スリープ モードに移行するようにデバイスを設定するには、スリープ遅延を使用 をを選択します。
サプライ品を管理	サプライ品残量低下/注文しきい値	範囲内の値を選択します。	このメニューを使用すると、サプライ品を発注するしきい値の変更など、サプライ品の管理タスクを実行できます。
	黒カートリッジを交換してください	残量少で停止 空で停止 空を無視 (デフォルト)	

[初期セットアップ] メニュー

初期セットアップ メニューには次のサブメニューがあります。

- ネットワークおよび I/O メニュー
- ファイアウォール セットアップ メニュー
- 電子メール セットアップ メニュー

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

ネットワークおよび I/O

表 2-9 ネットワークおよび I/O

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
I/O タイムアウト		範囲内の値を選択します。 出荷時のデフォルト設定は、15 秒 です。	I/O タイムアウトとは、印刷ジョブが失敗するまでの経過時間を指します。 デバイスが印刷ジョブのために受信しているデータの流れが中断された場合、デバイスはここで設定した時間まで待機し、それ以上待ってもデータが来ない場合は、ジョブが失敗したものとしてレポートします。
パラレル入力 **注記** EIO アクセサリを取り付けた場合にのみこの項目が表示されます。	高速	不可 はい (デフォルト)	パラレル ポートでホストと通信するときの速度を設定する場合は、高速 設定を使用します。
	高度な機能	有効 (デフォルト) 無効	双方向のパラレル通信を有効または無効にするには、高度な機能 設定を使用します。
内蔵 Jetdirect	オプション リストについては「表 2-10 Jetdirect のメニュー」を参照してください。		
EIO <X> Jetdirect			

表 2-10 Jetdirect のメニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
TCP/IP	有効		オフ： TCP/IP プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト) TCP/IP プロトコルを有効にします。
	ホスト名		英数字で最大 32 文字。デバイスの識別に使用されます。 この名前は HP Jetdirect の設定ページに表示されます。 デフォルトのホスト名は NPIxxxxxx です。この xxxxxx は LAN ハードウェア (MAC) アドレスの下 6 桁です。
	IPV4 設定	設定方法	TCP/IPv4 パラメータを HP Jetdirect プリント サーバに設定する方法を指定します。 Bootp： BootP サーバから自動設定する場合は、BootP (Bootstrap Protocol) を使用します。 DHCP： DHCPv4 サーバから自動設定する場合は、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			します。 この項目を使用し、DHCP リースが存在する場合、DHCP の解放 メニューと DHCP の更新 メニューを使用して DHCP リース オプションを設定できます。 自動 IP： 自動リンク - ローカル IPv4 アドレスを使用します。 169.254.x.x という形式のアドレスが自動的に割り当てられます。 手動： TCP/IPv4 パラメータを設定するには、手動設定 メニューを使用します。
		DHCP の解放	設定方法 が DHCP に設定され、プリント サーバの DHCP リースが存在する場合、このメニューが表示されます。 不可 (デフォルト) 現在の DHCP リースが保存されます。 はい： 現在の DHCP リースとリースされた IP アドレスが解放されます。
		DHCP の更新	設定方法 が DHCP に設定され、プリント サーバの DHCP リースが存在する場合、このメニューが表示されます。 不可 (デフォルト) プリント サーバからは DHCP リースの更新は要求されません。 はい： プリント サーバから、現在の DHCP リースの更新が要求されます。
		手動設定	(設定方法 が 手動 に設定されている場合のみ使用できます) プリンタのコントロール パネルからパラメータを直接設定します。 IP アドレス： プリンタ固有の IP アドレス (n.n.n.n)。この n の値は 0 ～ 255 です。 サブネット マスク： プリンタのサブネット マスク (m.m.m.m)。この m の値は 0 ～ 255 です。 Syslog サーバ： syslog メッセージの受信と記録に使用される syslog サーバの IP アドレス。 デフォルト ゲートウェイ： 他のネットワークとの通信に使用されるゲートウェイまたはルーターの IP アドレス。 アイドル タイムアウト： TCP プリント データ接続がアイドルになってから閉じられるまでの期間 (秒)。デフォルトは 270 秒。0 を指定するとタイムアウトしなくなります。
		デフォルトの IP	強制的な TCP/IP の再設定時に、プリント サーバがネットワークから IP アドレスを取得できない場合のデフォルトの IP アドレスを指定します (たとえば、手動で BootP または DHCP を使用する設定にした場合)。 自動 IP： リンク - ローカル IP アドレス 169.254.x.x が設定されます。 旧： 以前の HP Jetdirect デバイスに合わせて、アドレス 192.0.0.192 が設定されます。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
		プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
		セカンダリ DNS	セカンダリ DNS サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
	IPV6 設定	有効	プリント サーバで IPv6 操作を有効または無効にするには、この項目を使用します。 オフ (デフォルト) IPv6 が無効になります。 オン : IPv6 が有効になります。
		アドレス	手動で IPv6 アドレスを設定するにはこの項目を使用します。 手動設定 : TCP/IPv6 アドレスを有効にし、手動で設定するには、手動設定 メニューを使用します。
		DHCPV6 ポリシー	指定されたルーター : プリント サーバが使用するステートフルな自動設定方法は、ルーターで決定されます。 ルーターは、プリント サーバが DHCPv6 サーバからアドレス、設定情報、またはその両方のいずれを取得するかを指定します。 ルーターが使用できません : ルーターが使用できない場合、プリント サーバは DHCPv6 サーバからステートフル設定を取得する必要があります。 常時 : ルーターが使用できるかどうかにかかわらず、プリント サーバは DHCPv6 サーバからステートフル設定を常に取得します。
		プライマリ DNS	プリント サーバが使用するプライマリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。
		手動設定	プリント サーバに手動で IPv6 アドレスを設定するには、この項目を使用します。 有効 : 手動の設定を有効にするには、この項目を選択して、オン を選択します。手動の設定を無効にするには、オフ を選択します。 アドレス : 32 桁の 16 進数の IPv6 ノード アドレス (コロンありの 16 進構文を使用します) を入力するには、この項目を使用します。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	プロキシ サーバ		デバイスの内蔵アプリケーションから使用するプロキシ サーバを指定します。 通常、プリント サーバはインターネット アクセスするネットワーク クライアントが使用します。 プリント サーバには Web ページがキャッシュされ、クライアントに対して、ある程度のインターネット セキュリティを提供しています。 プリント サーバを指定するには、IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。 名前の長さは 255 オクテットまでです。 ネットワークによっては、利用している Independent Service Provider (ISP) にプロキシ サーバのアドレスを問い合わせる必要があります。
	プロキシ サーバのポート		クライアントのにプリント サーバが使用するポート番号を入力します。 このポート番号は、ネットワーク上のプロキシ処理用に予約するポートです。値は 0 ～ 65535 です。
IPX/SPX	有効		オフ： IPX/SPX プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト) IPX/SPX プロトコルを有効にします。
	フレーム タイプ		ネットワークのフレーム タイプ設定を選択します。 自動： フレーム タイプに自動的に設定し、最初に検出されたフレーム タイプに制限します。 EN_8023、EN_II、EN_8022、および EN_SNAP : Ethernet ネットワークのフレーム タイプ選択。
APPLETALK	有効		オフ (デフォルト) AppleTalk プロトコルを無効にします。 オン： AppleTalk プロトコルを有効にします。
DLC/LLC	有効		オフ (デフォルト) DLC/LLC プロトコルを無効にします。 オン： DLC/LLC プロトコルを有効にします。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
セキュリティ	セキュリティ ページ印刷		はい： HP Jetdirect プリント サーバの現在のセキュリティ設定が記載されたページを印刷します。 不可 (デフォルト) セキュリティ設定ページは印刷されません。
	安全な WEB		設定の管理に、内蔵 Web サーバが HTTPS (セキュア HTTP) のみを使用する通信を受け入れるか、HTTP と HTTPS の両方を受け入れるかを指定します。 HTTPS が必要： 安全で暗号化された通信のためには、HTTPS アクセスのみを受け入れます。 プリント サーバは保護されたサイトと表示されます。 HTTP/HTTPS オプション： HTTP または HTTPS を使用したアクセスが許可されます。
	IPsec または ファイアウォール		プリント サーバ上に IPsec または ファイアウォールを指定します。 維持： IPsec/ファイアウォールのステータスは、現在の設定と同じままです。 無効： プリント サーバ上の IPsec/ファイアウォール操作は無効になります。
	セキュリティのリセット		プリント サーバの現在のセキュリティ設定を保存するか、工場出荷時の設定にリセットするかを設定します。 不可* : 現在のセキュリティ設定が維持されます。 はい： セキュリティ設定は出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
診断	内部テスト		複数のテストを使って、ネットワーク ハードウェアや TCP/IP ネットワーク接続の問題を診断します。 内部テストを使用すると、ネットワーク エラーがデバイスの内部か外部かを特定するときに役立ちます。 内部テストを使用して、プリント サーバのハードウェアと通信経路を確認します。 テストを選択して有効にし、実行時間を設定した後は、実行 を選択してテストを開始します。 実行時間によっては、デバイスの電源を切るか、エラーが発生して診断ページが印刷されるまで、選択したテストは継続的に実行されます。
		LAN HW テスト	**注意** この内部テストを実行すると、TCP/IP 設定は消去されます。 このテストによって、内部ループバック テストが実行されます。 内部ループバック テストでは、内部ネットワーク ハードウェア上でのみパケットが送受信されます。 ネットワークで外部の伝送はありません。 このテストを使用するには、はい を選択します。このテストを使用しない場合は 不可 を選択します。
		HTTP テスト	このテストでは、定義済みページをデバイスから取得して HTTP の操作が確認され、内蔵 Web サーバがテストされます。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			このテストを使用するには、はい を選択します。このテストを使用しない場合は 不可 を選択します。
		SNMP テスト	このテストでは、デバイス上の定義済み SNMP オブジェクトにアクセスすることで、SNMP 通信の操作が確認されます。 このテストを使用するには、はい を選択します。このテストを使用しない場合は 不可 を選択します。
		すべてのテストを選択	使用できる内部テストをすべて選択するには、この項目を使用します。 すべてのテストを選択するには、はい を選択します。 個々のテストを選択するには、不可 を選択します。
		データ経路テスト	このテストを使用すると、HP PostScript Level 3 エミュレーション デバイスに関するデータ経路と破損の問題を特定するときに役立ちます。 定義済み PS ファイルがデバイスに送信されますが、テストはペーパーレスになり、印刷は実行されません。 このテストを使用するには、はい を選択します。このテストを使用しない場合は 不可 を選択します。
		実行時間 [時]	内部テストを実行する期間 (時間単位) を指定するには、この項目を使用します。 1 ～ 60 時間の値を選択できます。 ゼロ (0) を選択すると、エラーが発生するかデバイスの電源を切るまで、テストは永続的に実行されます。 HTTP、SNMP、データ経路の各テストの結果データは、テストの完了後に印刷されます。
		実行	不可* : 選択したテストを開始しません。 はい : 選択したテストを開始します。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	Ping テスト		このテストは、ネットワーク通信を確認するときに使用されます。 このテストで、リンクレベルのパケットがリモート ネットワーク ホストに送信され、適切な応答が待機されます。 Ping テストを実行するには、次の項目を設定します。
		排紙先タイプ	対象デバイスが IPv4 または IPv6 ノードかを指定します。
		排紙先 IP	IPV4： IPv4 アドレスを入力します。 IPV6 ： IPv6 アドレスを入力します。
		パケット サイズ	リモート ホストに送信する各パケットのサイズをバイト単位で指定します。 最小値は 64 (デフォルト)、最大値は 2048 です。
		タイムアウト	リモート ホストからの応答を待機する期間を秒単位で指定します。 デフォルトは 1 で最大値は 100 です。
		ページ カウント	このテストで送信する Ping テスト パケット数を指定します。 1 ～ 100 時間の値を選択します。 テストを継続的に実行するように設定するには、0 を選択します。
		結果の印刷	Ping テストが継続的な操作として設定されなかった場合、テスト結果を印刷できます。 結果を印刷するには、はい を選択します。 不可 (デフォルト) を選択すると、結果は印刷されません。
		実行	Ping テストを開始するかどうかを指定します。 Ping テストを実行するには はい を選択し、実行しない場合は 不可 を選択します。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	Ping の結果		Ping テストのステータスと結果をコントロール パネルのディスプレイで表示するには、この項目を使用します。 次の項目を選択できます。
		送信したパケット	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストに送信されたパケット数 (0 ～ 65535) を表示します。
		受信したパケット	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストから受信したパケット数 (0 ～ 65535) を表示します。
		消失率	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストから応答がなかった Ping テスト パケット送信の割合を表示します。
		RTT 最小	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最小値 (0 ～ 4096 ミリ秒) を表示します。
		RTT 最大	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最大値 (0 ～ 4096 ミリ秒) を表示します。
		RTT 平均	パケットの伝送と応答について、RoundTrip-Time (RTT) の平均値 (0 ～ 4096 ミリ秒) を表示します。
		Ping が進行中	Ping テストが進行中かどうかを表示します。 はい はテストが進行中であることを示し、不可 はテストが完了したか実行されていないことを示します。
		更新	Ping テスト結果を表示すると、この項目は最新の Ping テスト データに更新されます。 データを更新するには はい、既存のデータを保守するには 不可 を選択します。 ただし、メニューがタイムアウトするか、手動でメイン メニューに戻すと、自動的に更新されます。
リンク速度			プリント サーバのリンク速度と通信モードはネットワークに合わせる必要があります。 使用できる設定は、デバイスとインストール済みプリント サーバによって変わります。 次のリンク設定のいずれかを選択します。 **注意** リンク設定を変更する場合、プリント サーバとネットワーク デバイスのネットワーク設定が失われる可能性があります。 自動 (デフォルト) プリント サーバは、自動ネゴシエーション機能を使用して、許可されている中で最高のリンク速度と通信モードで設定します。 自動ネゴシエーションが失敗すると、検出されたハブ/スイッチ ポートの検出済みリンク速度に応じて、100TX HALF または 10TX HALF が設定されます (1000T 半二重の選択には対応していません)。 10T ハーフ： 10 Mbps、半二重操作。 10T フル： 10 Mbps、全二重操作。 100TX ハーフ： 100 Mbps、半二重操作。 100TX フル： 100 Mbps、全二重操作。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			100TX 自動： 自動ネゴシエーションの最高リンク速度を 100 Mbps に制限します。 1000TX フル： 1000 Mbps、全二重操作。
プロトコル設定の印刷			次のプロトコルの設定を参照するには、この項目を使用します。 IPX/SPX、Novell NetWare、AppleTalk、DLC/LLC。

ファックス セットアップ

表 2-11 ファイアウォール セットアップ メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
必要な設定	実装位置		(表示される国/地域)	ファックスの送信に関して法的に必要な設定を行います。
	日付/時刻			
	ファックス ヘッダ情報	電話番号 会社名		
PC ファックス送信			無効 有効 (デフォルト)	PC ファックス送信 を有効または無効にするときにこの機能を使用します。 PC ファックス送信 を使用すると、適切なドライバがユーザーのコンピュータにインストールされていれば、コンピュータからデバイス経由でファックスを送信できます。

表 2-11 ファイアウォール セットアップ メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ファックス送信設定	ファックス ダイアル音量		オフ 中 (デフォルト) 高	この機能を使用して、デバイスがファックス番号をダイアルするときのトーンの音量を設定します。
	エラー修正モード		有効 (デフォルト) 無効	エラー修正モード が有効で、ファックス送信時にエラーが発生した場合、エラーが発生した部分をもう一度デバイスで送受信します。
	JBIG 圧縮		無効 有効 (デフォルト)	JBIG 圧縮 を使用すると、ファックスの送信回数が減るため、通話費用を抑えることができます。 ただし、JBIG 圧縮 を使用すると、古いファックス機との間で互換性の問題が発生することがあります。 この問題が発生する場合、JBIG 圧縮 をオフにします。
	最大ボーレート		リストから値を選択します。	ファックス受信の最大ボー レートを設するには、この機能を使用します。 これは、ファックスの問題のトラブルシューティング用の診断ツールとして使用できます。
	ダイアル モード		トーン (デフォルト) パルス	トーン ダイアルまたはパルス ダイアルのどちらを使用するかを選択します。
	通話中の場合のリダイアル		範囲は 0 ～ 9 です。 出荷時のデフォルト設定は 3 回です。	回線が使用中の場合に、リダイアルを試行する回数を入力します。
	無応答時のリダイアル回数		なし (デフォルト) 1 回のみ 2 回	この機能を使用して、受信者のファックス番号が応答しない場合のダイアル試行回数を指定します。 **注記** 2 回 は、米国とカナダ以外の地域で使用できます。
	リダイアル間隔		範囲は 1 ～ 5 分です。 出荷時のデフォルト設定は 5 分です。	この機能を使用して、受信者の番号が通話中や応答しないときのダイアル試行の回数を指定します。
	ダイアル トーンを検出		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、ファックスを送信する前に、デバイスがダイアル トーンを確認するかどうかを指定します。
	ダイアル プレフィックス		オフ (デフォルト) カスタム	この機能を使用して、デバイスからファックスを送信するときにダイアルする必要があるプレフィックス番号を指定します。
	請求書コード		オフ (デフォルト) カスタム	請求書コードを有効にすると、送信ファックスに請求書コードの入力を指示するメッセージが表示されます。
		最小の長さ	範囲は 1 ～ 16 桁です。 デフォルトの設定は、1 桁です。	

表 2-11 ファイアウォール セットアップ メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ファックス受信設定	応答するまでの呼び出し回数		範囲は地域によって変わります。 出荷時のデフォルト設定は 2 回です。	この機能を使用して、ファックス モデムが応答するまでに鳴らす呼び出し音の回数を指定します。
	呼び出し間隔		デフォルト (デフォルト) カスタム	この機能を使用して、受信ファックスの呼び出し音の間隔を制御します。
	呼び出し音量		オフ 低 (デフォルト) 高	ファックスの呼び出し音量を設定します。
	ブロックするファックス番号	ブロック番号を追加	追加するファックス番号を入力します。	この機能を使用して、ブロックするファックス リストに電話番号を追加または削除します。 ブロックするファックス リストには、30 までの番号を含めることができます。 デバイスは、ブロックするファックス番号を受信すると、その受信ファックスを削除します。 また、ブロックしたファックスをジョブ アカウント情報と一緒にアクティビティ ログに記録します。
		ブロックされた番号を削除	削除するファックス番号を選択します。	
		ブロックされた番号をすべてクリア	不可 (デフォルト) はい	

電子メール セットアップ

このメニューを使用して、電子メール機能を有効にし、基本的な電子メール設定を行います。

注記　詳細な電子メール設定を行うには、内蔵 Web サーバを使用します。 詳細については、「内蔵 Web サーバの使用」を参照してください。

表 2-12 電子メール セットアップ メニュー

メニュー項目	値	説明
アドレス確認	オン (デフォルト) オフ	このオプションを使用すると、電子メール アドレスを入力したときに電子メール アドレスの構文がチェックされます。 有効な電子メール アドレスには、「@」記号と「.」が必要です。
送信ゲートウェイのテスト		デバイスが電子メールの送信に使用できる SMTP ゲートウェイのネットワークを検索します。
SMTP ゲートウェイ	値を入力します。	デバイスから電子メールを送信するときに使用される SMTP ゲートウェイの IP アドレスを指定します。
送信ゲートウェイのテスト		SMTP ゲートウェイが機能するかどうかを確認するために、構成された SMTP ゲートウェイをテストします。

[送信設定] メニュー

表 2-13 [送信設定] メニュー

メニュー項目	値	説明
MFP の複製	値を入力します (IP アドレス)。	デバイス間でローカルの送信設定をコピーします。

表 2-13 [送信設定] メニュー (続き)

メニュー項目	値	説明
新規 DSS への転送を許可 注記　この項目は、HP LaserJet M3035 MFP モデルにのみ表示されます。		この機能を使用すると、ある HP デジタル送信ソフトウェア (DSS) サーバから別のサーバへデバイスの転送が可能になります。 HP DSS は、ファックス送信、電子メール送信、スキャン済み文書のネットワーク フォルダへの送信など、デジタル送信タスクを処理するソフトウェア パッケージです。
デジタル送信サービスの使用を許可 注記　この項目は、HP LaserJet M3035 MFP モデルにのみ表示されます。		この機能を使用すると、HP DSS サーバと共に使用するデバイスを設定できます。

デバイス動作 メニュー

注記　「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-14 デバイス動作 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
言語			リストから言語を選択します。	この機能を使用して、コントロール パネルのメッセージに使用する言語を選択します。 新しい言語を選択すると、キーボードの配列も変わる場合があります。
キー打鍵音			オン (デフォルト) オフ	この機能を使用して、画面にタッチしたり、コントロール パネルのボタンを押すときに音を出すかどうかを指定します。
アイドル状態のタイムアウト			10 ～ 300 秒の値を入力します。 出荷時のデフォルト設定は 60 秒です。	この機能を使用してタイムアウト時間を指定します(コントロール パネルで何かの操作を行い、そのまま放置したときにデバイスがデフォルト設定にリセットされるまでの時間です)。
警告/エラー動作	解除可能な警告		オン ジョブ (デフォルト)	この機能を使用して、コントロール パネルに解除可能な警告が表示される時間を設定します。
	継続可能なイベント		自動継続 (10 秒) (デフォルト) [OK] をタッチして続行	このオプションを使用して、デバイスで特定のエラーが起きた場合のデバイスの動作を設定します。
	紙詰まりの除去		自動 (デフォルト) オン オフ	この機能を使用して、デバイスが紙詰まり中に失われたページを処理する方法を設定します。

表 2-14 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
トレイの設定	要求されたトレイを使用		優先 (デフォルト) 最初	この機能を使用して、デバイスが特定の給紙トレイを指定されたジョブを処理する方法を制御します。
	手差しプロンプト		常時 (デフォルト) セットしてから使用	この機能を使用して、ジョブのタイプまたはサイズが指定したトレイと一致せず、デバイスが代わりに汎用トレイから給紙するときにプロンプトを表示するかどうかを指定します。
	PS はメディアに従う		有効 (デフォルト) 無効	この機能を使用して、PostScript (PS) または HP の用紙処理モデルのどちらかを選択します。
	別のトトレイを使用		有効 (デフォルト) 無効	この機能を使用して、指定したトレイが空の場合に別のトレイを選択するように求めるコントロール パネルのプロンプトをオンまたはオフにします。
	サイズ/タイプ プロンプト		ディスプレイ 非表示 (デフォルト)	この機能を使用して、トレイが開いたり、閉じたりするごとにトレイ設定メッセージを表示するかどうかを制御します。
	空白ページを両面印刷		自動 (デフォルト) はい	この機能を使用して、デバイスが両面印刷ジョブを処理する方法を制御します。
通常のコピー動作	事前スキャン		有効 (デフォルト) 無効	この機能を使用して、即時スキャンをオンにします。 事前スキャン を有効にすると、原稿はディスクにスキャンされ、デバイスが使用できるようになるまで保持されます。
	自動印刷中断		有効 無効	この機能を有効にすると、複数部の印刷を設定されたプライベート ジョブがコピー ジョブによって中断される可能性があります。 コピー ジョブは、印刷ジョブの 1 部の終了時に、プリント キューに挿入されます。 コピー ジョブが完了すると、印刷ジョブの残りの部数について印刷が続行されます。
	コピー中断		有効 無効	この機能を有効にすると、現在印刷中のコピー ジョブは、新しいコピー ジョブが開始されるときに中断される可能性があります。 現在のジョブを中断することを確認するメッセージが表示されます。

表 2-14 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
通常の印刷動作	デフォルト用紙サイズ		用紙サイズ リストから選択します。	この機能を使用して、印刷ジョブに使用されているデフォルト用紙サイズを設定します。
	A4/レター代用		不可 はい (デフォルト)	この機能を使用すると、A4 のジョブを送信したときに A4 サイズの用紙がデバイスにセットされていないときにレターサイズの用紙に印刷します (またはレターサイズの用紙を送信したときにレターサイズの用紙がセットされていないときに A4 の用紙に印刷します)。 このオプションではまたタブロイド版の代わりに A3 の用紙に印刷したり、A3 の用紙の代わりにタブロイド版の用紙に印刷できます。
	手差し		有効 無効 (デフォルト)	この機能を有効にすると、ユーザーはコントロール パネルからジョブの用紙ソースとして手差しを選択できます。
	Courier フォント		標準 (デフォルト) 濃い	この機能を使用して、使用する Courier フォントのバージョンを選択します。
	ワイド A4		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、A4 サイズの用紙の印刷できる範囲を変更します。 このオプションを有効にした場合、A4 用紙の 1 行に 10 ピッチの文字を 80 文字印刷できます。
	PS エラーの印刷		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、デバイスで PostScript (PS) エラーが発生したときに、PS エラー ページを印刷するかどうかを選択します。
	PDF エラーの印刷		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、デバイスで PDF エラーが発生したときに、PDF エラー ページを印刷するかどうかを選択します。
	パーソナリティ		自動 (デフォルト) PCL PDF PS	デバイスが使用するプリンタ言語を選択します。 通常は、プリンタ言語を変更しないでください。 特定の製品言語の設定を変更する場合、特別なソフトウェア コマンドを送信しない限り、デバイスは 1 つの言語から別の言語に切り替えることはありません。

表 2-14 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	PCL	用紙の行数	5 ～ 128 行の値を入力します。 出荷時のデフォルト設定は 60 行です。	PCL とは、Hewlett-Packard がプリンタ機能にアクセスするために開発したプリンタ コマンドのセットです。
		方向	縦 (デフォルト) 横	印刷ジョブに最もよく使用する用紙の向きを選択します。 短辺を上部に配置する場合は 縦、長辺を上部に配置する場合は 横 を選択します。
		フォント ソース	リストから言語を選択します。	この機能を使用して、ユーザー ソフト デフォルト フォントのフォント ソースを選択します。
		フォント番号	フォント番号を入力します。 範囲は 0 ～ 999 です。出荷時のデフォルト設定は 0 です。	この機能を使用して、フォント ソース メニュー項目で指定されたソースを使用するユーザーソフト デフォルト フォントのフォント番号を指定します。 デバイスは各フォントに番号を割り当てて、PCL フォント リストに表示します ([情報]管理 メニューから利用可能)。
		フォント ピッチ	0.44 ～ 99.99 の値を入力してください。 出荷時のデフォルト設定は 10.00 です。	フォント ソース と フォント番号 に輪郭フォントを指定している場合、デフォルトのピッチを選択するためにこの機能を使用します (固定幅フォントの場合)。
		フォント ポイント サイズ	4.00 ～ 999.75 の値を入力してください。出荷時のデフォルト設定は 12.00 です。	フォント ソース と フォント番号 に輪郭フォントを指定している場合、デフォルトのポイント サイズを選択するためにこの機能を使用します (プロポーショナル間隔のフォントの場合)。
		シンボル セット	PC-8 (デフォルト) (50 種類の記号設定から選択)	この機能を使用して、コントロール パネルから複数の利用できるシンボル セットの 1 つを選択します。 シンボル セットとは、特定フォント内のすべての文字を他と区別できるようにグループ化したものです。
		LF に CR を追加	不可 (デフォルト) はい	この機能を使用して、下位互換の PCL ジョブ (ジョブ コントロールのない純粋なテキスト) に使用される改行 (LF) にキャリッジ リターン (CR) を追加するかどうかを設定します。
		空白ページを省略	不可 (デフォルト) はい	このオプションは、独自の PCL を作成するユーザーのためのオプションです。たとえば、フォーム フィードを余分に追加して空白ページを印刷させることができます。 はい を選択すると、ページが空白の場合、フォーム フィードが無視されます。
		メディア ソース マッピング	標準 (デフォルト) クラシック	この機能を使用して、デバイス ドライバを使用していない場合や、ソフトウェア プログラムにトレイ選択オプションがない場合に、給紙トレイを番号で選択して管理します。

印刷品質 メニュー

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-15 印刷品質 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
設定の登録	ソース	すべてのトレイ トレイ <X>: <コンテンツ> (トレイを選択します)	設定の登録 を使用して、画像がページの上下、左右に対して中央に位置するようにマージンを調整します。 表面に印刷される画像と裏面に印刷される画像の位置を合わせるように調整することもできます。 設定の登録 ページを印刷するソース給紙トレイを選択します。
	テスト ページ	印刷 (ボタン)	登録を設定する場合、テスト ページを印刷します。 ページに印刷された指示に従って各トレイを調整します。
	トレイ <X> の調整	X または Y 軸に沿って -20 ～ 20 の範囲で位置を調整します。 0 がデフォルト値です。	各トレイの位置を調整します。 *給紙*時に用紙は上から下へデバイスに送られますが、イメージを作成するときに用紙は横方向に*スキャン*されます。
フューザ モード	<用紙タイプ>		各メディア タイプに関連するフューザ モードを設定します。
	モードを復元します	復元 (ボタン)	フューザ モードをデフォルト設定に戻します。
最適化	高転写	標準 (デフォルト) 向上	印刷エンジンのパラメータを最適化して、メディア タイプを指定するだけでなく、すべてのジョブでできるだけ高い印刷品質を実現します。
	仕分けの増加	オフ (デフォルト) オン	
	細部を重視	オフ (デフォルト) オン	
	最適化モードの復元	復元 (ボタン)	すべての 最適化 パラメータを出荷時のデフォルト設定に戻します。
解像度		300 600 FastRes 1200 (デフォルト) ProRes 1200	印刷の解像度を選択するにはこの機能を使用します。
RET		オフ 軽い用紙 中 (デフォルト) 濃い	レゾリューション エンハンスメント テクノロジ (REt) 設定を有効にします。斜めの線、曲線、輪郭をなめらかに表現できます。 REt によって、FastRes 1200 を含め、すべての印刷の解像度が改善されます。

表 2-15 印刷品質 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
Economode		有効 無効 (デフォルト)	Economode が有効な場合、1 ページ当たりの印刷に必要なトナー量は減りますが、ページの印刷品質はやや低下します。
トナー濃度		1 ～ 5 の範囲から選択します。3 がデフォルト値です。	ページの印刷濃度を調整します。 1 が最も薄く、5 が最も濃くなります。
小型用紙ﾓｰﾄﾞ		標準 (デフォルト) 低速	小型または幅が小さいメディアに印刷するときに、しわをできるだけ少なくするには、低速 を選択します。
校正/クリーニング	クリーニング ページの作成	作成 (ボタン)	フューザの圧力ローラーに付着したトナーをクリーニングするためのページを作成します。 このページには、クリーニング手順が記載されています。
	クリーニング ページの処理	プロセス (ボタン)	クリーニング ページの作成 メニュー項目を使用して作成されたクリーニング ページを処理します。 この処理には最長で 2.5 分かかります。

トラブルシューティング メニュー

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-16 トラブルシューティング メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
イベント ログ		印刷 (ボタン)	イベント ログで最新のイベント 50 件を表示するときは、この機能を使用します。 イベント ログをすべて印刷するには、印刷 にタッチします。
スキャナの校正		校正	この機能を使用して、ADF とスキャン機能のスキャナのイメージ システム (キャリッジ ヘッド) で、オフセットを補正します。 スキャナがスキャン対象文書の目的の部分を正しくキャプチャしない場合には、スキャナの校正が必要なことがあります。
ファックス T.30 トレース	T.30 レポート		ファックス T.30 トレース レポートを印刷または設定するには、この機能を使用します。 T.30 は、ファックス機間のハンドシェイク、プロトコル、およびエラー修正を規定する規格です。
	レポート印刷時間	自動印刷しない ファックス ジョブ後に印刷 ファックス送信ジョブ後に印刷 ファックス エラー後に印刷 送信エラー後にのみ印刷 受信エラー後にのみ印刷	

表 2-16 トラブルシューティング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ファックス送信信号損失		値は 0 ～ 30 です。	この機能を使用して、電話回線信号の損失に対して補正する損失レベルを設定します。 ファックスが操作不能になる場合があるため、HP のサービス担当者から要求された場合以外は、この設定を変更しないでください。
ファックス V.34		標準 (デフォルト) オフ	この機能を使用して、ファックス エラーが何度も発生した場合や電話回線の状況により必要な場合に V.34 変調を無効にします。
ファックス スピーカ モード		標準 (デフォルト) 診断	これは、サービス技術者がファックスの問題を評価および診断するときに使用する機能です。ファックスの変調音がリスト表示されます。
用紙経路のテスト	テスト ページ	印刷 (ボタン)	用紙処理機能をテストするテスト ページを作成します。 テストに使用する用紙経路を定義することで、特定の用紙経路をテストできます。
	ソース	すべてのトレイ トレイ 1 トレイ 2 (適用できる場合、追加のトレイが表示されます)	テスト ページをすべてのトレイから印刷するか、特定のトレイから印刷するかを指定します。
	両面印刷	オフ (デフォルト) オン	両面印刷ユニットを用紙経路のテストに含めるかどうかを選択します。
	部数	1 (デフォルト) 10 50 100 500	用紙経路のテストの一部として、指定したソースから印刷するページ数を選択します。
スキャナ テスト			このメニュー項目は、サービス技術者がデバイス スキャナに問題が考えられるときに診断に使用します。
コントロール パネル	LED		この機能を使用して、コントロール パネルのコンポーネントが正しく動作していることを確認します。
	ディスプレイ		
	ボタン		
	タッチスクリーン		

リセット メニュー

表 2-17 リセット メニュー

メニュー項目	値	説明
ローカルのアドレス帳をクリア	クリア (ボタン)	この機能を使用すると、デバイスに保存されているアドレス帳のすべてのアドレスが消去されます。

表 2-17 リセット メニュー (続き)

メニュー項目	値	説明
ファックス使用状況ログをクリア	はい 不可 (デフォルト)	この機能を使用すると、[ファックス使用状況ログ] からすべてのイベントが消去されます。
出荷時の通信設定に戻す	復元 (ボタン)	このオプションを使用して、初期セットアップ メニューの電話関連の設定を出荷時のデフォルト値に戻します。
出荷時の設定に戻す	復元 (ボタン)	この機能を使用して、すべてのデバイス設定を出荷時のデフォルトに戻します。

サービス メニュー

サービス メニューはロックされており、アクセスするには PIN を入力する必要があります。 このメニューは、正規サービス担当者が使用することを前提にしています。

3 入出力 (I/O) 設定

この章では、デバイスの特定のネットワーク パラメータの設定方法について説明します。 次の項目について説明します。

- USB 構成
- ネットワークの設定

USB 構成

このデバイスは USB 2.0 接続に対応します。印刷には A to B タイプの USB ケーブルを使用してください。

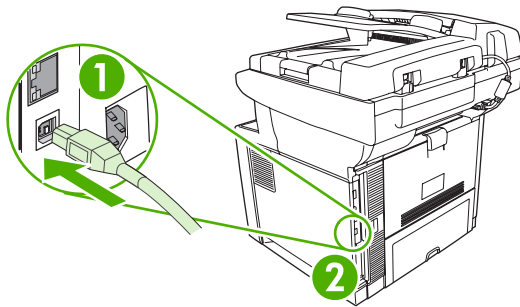



図 3-1 USB 接続用コネクタ

1	USB コネクタ
2	USB ポート (タイプ B)

ネットワークの設定

場合によっては、デバイスのネットワーク パラメータを設定する必要があります。パラメータは次の場所で設定できます。

- インストール ソフトウェア
- デバイスのコントロール パネル
- 内蔵 Web サーバー
- 管理用ソフトウェア (HP Web Jetadmin または HP LaserJet Utility for Macintosh)

注記　内蔵 Web サーバーの使い方の詳細については、内蔵 Web サーバの使用を参照してください。

サポートされているネットワークとネットワーク設定ツールの詳細については、『*HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド*』を参照してください。このガイドは、HP Jetdirect プリント サーバーが搭載のプリンタに付属しています。

ここでは、ネットワーク パラメータの設定方法について説明します。

TCP/IPv4 パラメータの設定

ネットワークで DHCP、BOOTP、RARP などによる自動 IP アドレス指定が行われない場合は、ネットワーク経由で印刷するために、次のパラメータを手動で入力しなければならない場合があります。

- IP アドレス (4 バイト)
- サブネット マスク (4 バイト)
- デフォルト ゲートウェイ (4 バイト)

IP アドレスの設定

デバイスの現在の IP アドレスを確認するには、コントロール パネルのホーム画面で ネットワーク アドレス を選択します。

次の手順で IP アドレスを手動で変更します。

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして 初期セットアップ を選択します。
3. ネットワークおよび I/O を選択します。
4. 内蔵 Jetdirect を選択します。
5. TCP/IP を選択します。

6. IPV4 設定 を選択します。
7. 設定方法 を選択します。
8. 手動 を選択します。
9. 保存 を選択します。
10. 手動設定 を選択します。
11. IP アドレス を選択します。
12. [IP アドレス] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、IP アドレスを入力します。
14. OK を選択します。
15. 保存 を選択します。

サブネット マスクの設定

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして 初期セットアップ を選択します。
3. ネットワークおよび I/O を選択します。
4. 内蔵 Jetdirect を選択します。
5. TCP/IP を選択します。
6. IPV4 設定 を選択します。
7. 設定方法 を選択します。
8. 手動 を選択します。
9. 保存 を選択します。
10. 手動設定 を選択します。
11. サブネット マスク を選択します。
12. [サブネット マスク] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、サブネット マスクを入力します。
14. OK を選択します。
15. 保存 を選択します。

デフォルト ゲートウェイの設定

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして 初期セットアップ を選択します。
3. ネットワークおよび I/O を選択します。
4. 内蔵 Jetdirect を選択します。

5. TCP/IP を選択します。
6. IPV4 設定 を選択します。
7. 設定方法 を選択します。
8. 手動 を選択します。
9. 保存 を選択します。
10. 手動設定 を選択します。
11. デフォルト ゲートウェイ を選択します。
12. [デフォルト ゲートウェイ] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、デフォルト ゲートウェイを入力します。
14. OK を選択します。
15. 保存 を選択します。

TCP/IPv6 パラメータの設定

TCP/IPv6 ネットワーク用にデバイスを設定する方法については、HP Jetdirect 内蔵プリント サーバ管理者用ガイドを参照してください。

ネットワーク プロトコルの無効化 (オプション)

工場出荷時の設定では、使用可能なすべてのネットワーク プロトコルが有効になっています。使用しないプロトコルを無効にすると、次のようなメリットがあります。

- デバイスによって発生するネットワーク トラフィックが減少する。
- 許可されないユーザーがプリンタで印刷することを防止する。
- 直接関係のある情報だけが構成ページに記載される。
- プリンタのコントロール パネルにプロトコル固有のエラー メッセージと警告メッセージが表示される。

IPX/SPX の無効化

注記　IPX/SPX 経由でプリンタに印刷する Windows ベースのシステムでは、このプロトコルを無効にしないでください。

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして 初期セットアップ を選択します。
3. ネットワークおよび I/O を選択します。
4. 内蔵 Jetdirect を選択します。
5. IPX/SPX を選択します。
6. 有効 を選択します。

7. オフ を選択します。
8. 保存 を選択します。

AppleTalk の無効化

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして 初期セットアップ を選択します。
3. ネットワークおよび I/O を選択します。
4. 内蔵 Jetdirect を選択します。
5. APPLETALK を選択します。
6. 有効 を選択します。
7. オフ を選択します。
8. 保存 を選択します。

DLC/LLC の無効化

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして 初期セットアップ を選択します。
3. ネットワークおよび I/O を選択します。
4. 内蔵 Jetdirect を選択します。
5. DLC/LLC を選択します。
6. 有効 を選択します。
7. オフ を選択します。
8. 保存 を選択します。

HP Jetdirect EIO プリント サーバー

HP Jetdirect プリント サーバー (ネットワーク カード) は EIO スロットに取り付けることができます。このカードは複数のネットワーク プロトコルとオペレーティング システムに対応します。HP Jetdirect プリント サーバーによって、どこでもプリンタをネットワークに直接接続できるので、ネットワーク管理を簡単に行うことができます。HP Jetdirect プリント サーバーは SNMP (Simple Network Management Protocol) にも対応するので、HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用してリモートでプリンタ管理やトラブルの解決を行うことができます。

注記 コントロール パネル、プリンタのインストール ソフトウェア、または HP Web Jetadmin を使用してカードを構成します。詳細については、HP Jetdirect プリント サーバーのマニュアルを参照してください。

4 メディアとトレイ

この章では、基本的な製品機能の使用方法について説明します。

メディアについての一般的なガイドライン

用紙または特別のフォームを大量に購入する前に、用紙のサプライヤが『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』を入手済みで、記載されている印刷メディアの指定条件を理解していることを確認します。

『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』の注文については、「HP カスタマ ケア」を参照してください。 このガイドのコピーをダウンロードするには、http://www.hp.com/support/ljpaperguide にアクセスしてください。

この章や『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』で示すガイドラインに完全に適合する用紙を使用しても、正常に印刷できないことがあります。 これは、印刷環境の例外的な特性、または HP が制御できないその他の変化 (温度および湿度の極端な状態など) が原因となる場合があります。

Hewlett-Packard 社では、用紙を大量に購入する前に、その用紙を試しに使ってみることをお勧めします。

注意　この一覧または印刷メディア ガイドに示した仕様に準拠しない用紙を使用すると、サービスを必要とする問題が生じる可能性があります。 このサービスは、Hewlett-Packard の保証またはサービス契約の対象になりません。

使用対象外の用紙

プリンタは、さまざまな用紙に印刷することができますが、 仕様に合わない用紙を使用すると、印刷品質が低下したり、紙詰まりが頻繁に発生する原因になります。

- 過度に起伏のある用紙は使用しないでください。 検査済みの平滑度が 100 ～ 250 Sheffield の用紙を使用してください。
- 標準の 3 箇所の穴あき用紙以外に、切り抜きまたは穴が開いた用紙は使用しないでください。
- 複写用紙は使用しないでください。
- 印刷済みの用紙またはコピー機で使用した用紙は使用しないでください。
- 塗りつぶしパターンを印刷する場合は、透かし印刷のある用紙は使用しないでください。
- 強くエンボス加工された用紙または立体仕上げの用紙は使用しないでください。
- 表面に大きな凹凸のある用紙は使用しないでください。
- 印刷済み用紙が張り付くのを防ぐオフセット パウダーまたは他の材料は使用しないでください。
- 製造後にカラーがコーティングされた用紙は使用しないでください。

デバイスに損傷を与える可能性がある用紙

まれに、用紙がデバイスに損傷を与える場合があります。 デバイスの損傷の可能性を防ぐために、次の用紙を避けてください。

- ステイプルが付いたままの用紙は使用しないでください。
- インクジェット プリンタや他の低温のプリンタ用の OHP フィルム、ラベル紙、フォト用紙、光沢紙は使用しないでください。 HP LaserJet プリンタで使用するように指定されたメディアのみを使用してください。

- エンボス加工用紙やコーティングされた用紙、またはこのデバイスの最高温度に耐えられないメディアは使用しないでください。 フューザの温度に耐えられない染料またはインクを使用したレターヘッド用紙または印刷済み用紙は使用しないでください。
- フューザの温度にさらされたときに危険なガスを発生したり、溶けたり、トナーが流れたり、変色したりするメディアは使用しないでください。

HP LaserJet 印刷用のサプライ品を注文するには、「パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文」を参照してください。

一般的なメディアの仕様

すべての HP LaserJet デバイスの用紙の仕様の一覧は、『『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』』(http://www.hp.com/support/ljpaperguide から入手可) を参照してください。

カテゴリ	仕様
酸性度	5.5pH ～ 8.0pH
キャリパー	0.094 ～ 0.18mm (3.0 ～ 7.0 ミル)
リームのカール	5mm (0.02 インチ) 以内の平坦さ
用紙切断面の状態	鋭い刃物で裁断されていて、目に見えるざらつきがないこと
フューザとの適合性	200℃ (392° F) の熱を 0.1 秒間加えたときに焦げ、溶解、裏写り、有害物質の放出などがないこと
グレイン	ロンググレイン
水分含有量	重量にして 4% ～ 6%
平滑度	100 ～ 250Sheffield

メディアについて

すべての HP LaserJet 製品の用紙の仕様の一覧は、www.hp.com/support/ljpaperguide の『*HP LaserJet printer family print media guide*』を参照してください。

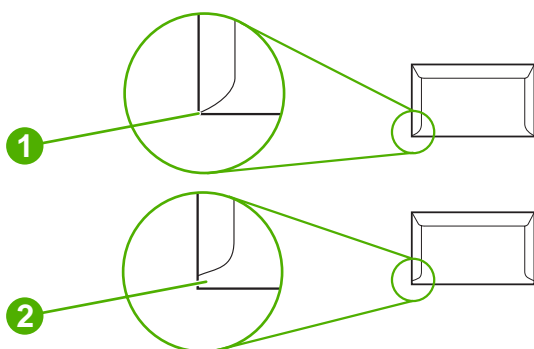
封筒

封筒の造りは重要です。封筒の折り目は製造元によって全く異なりますが、同じ製造元でも製品によって異なる場合があります。封筒に美しく印刷できるかどうかは、封筒の品質によって決まります。封筒を選ぶときは、以下の点に注意してください。

- **重量**： 封筒は、重さが 105g/m² (28 ポンド) 以下のものを使用してください。これを超える重さの封筒は紙詰まりを起こす可能性があります。
- **構造**： 印刷前の状態で、封筒の丸まりが 5 mm (0.2 インチ) 以内に収まっていることを確認し、封筒の中の空気を完全に抜いてください。
- **状態**： しわ、傷、その他の損傷のある封筒は使用しないでください。
- **温度**： プリンタの温度と圧力に耐えられる封筒を使用する必要があります。
- **サイズ**： 以下のサイズ範囲に収まる封筒のみを使用する必要があります。
  - **最小**： 76 x 127mm (3 x 5 インチ)
  - **最大**： 216 x 356mm (8.5 x 14 インチ)

注意　デバイスの損傷を防ぐため、レーザー プリンタ用に推奨されている封筒以外は使用しないでください。 深刻な紙詰まりを防ぐため、封筒の印刷には必ずトレイ 1 と後部排出ビンを使用してください。 同じ封筒を 2 回以上印刷しないでください。

合わせ目が 2 箇所ある封筒

合わせ目が 2 箇所ある封筒の場合、斜めの合わせ目ではなく、封筒の両側に縦の合わせ目があります。このタイプの封筒は、印刷時にしわが発生しやすくなります。それで、下図のように合わせ目が封筒の隅まできちんと伸びていることを確認してください。

1	適切な封筒の造り
2	不適切な封筒の造り

接着シールや糊付きフラップが付いている封筒

はがして貼るタイプの粘着テープ付きの封筒や、折って封をする複数のふたが付いている封筒を使用する場合は、プリンタの熱や圧力に耐える粘着材が使用されていることを確認してください。 余分なふたやテープがあると、しわや折り目ができて紙詰まりを起こしたり、フューザを損傷させる可能性があります。

封筒マージン

以下の表は、Commercial #10 や DL 封筒における一般的な住所マージンを示したものです。

住所の種別	上部マージン	左マージン
差出人住所	15mm (0.6 インチ)	15mm (0.6 インチ)
宛先	51mm (2 インチ)	89mm (3.5 インチ)

注記 最高の印刷品質を得るには、位置マージンを封筒の端から 15 mm (0.6 インチ) 以上に設定してください。 封筒の貼り合わせ部分への印刷は避けてください。

封筒の保管

封筒を正しく保管すれば、印刷品質の向上につながります。封筒は平らな状態で保管してください。封筒の中に空気が入って気泡ができると、印刷時にしわが寄ることがあります。

ラベル紙

注意 デバイスの損傷を防ぐため、レーザー プリンタ用に推奨されているラベル紙以外は使用しないでください。 深刻な紙詰まりを防ぐため、ラベル紙の印刷には必ずトレイ 1 と後部排出ビンを使用してください。 同じラベルシートを 2 回以上印刷したり、ラベルシートの一部だけを印刷しないでください。

ラベル紙の造り

ラベル紙を選ぶときは、以下の品質に注意してください。

- **粘着材**： 粘着材は、プリンタの最高温度である 200° C (392° F) でも変質しないことが必要です。
- **配置**：ラベル紙の間から台紙が見えないラベル シートのみを使用してください。ラベルの間にスペースがあると、ラベルがはがれて深刻な紙詰まりを起こすことがあります。
- **丸まり**： 印刷前の状態で、ラベル紙を平面に置いたときに、すべての方向の丸まりが 5mm (0.2 インチ) 以内に収まっている必要があります。
- **状態**：しわになっていたり気泡が入っていたりするなど、ラベルがはがれそうになっているラベル紙は使用しないでください。

注記　プリンタ ドライバでラベル紙を選択してください (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。

OHP フィルム

プリンタで使用する OHP フィルムは、最高温度である 200° C (392° F) に耐えられる必要があります。

注意　プリンタ製品の損傷を防ぐため、レーザー プリンタ用に推奨されている OHP フィルム以外は使用しないでください。 深刻な紙詰まりを防ぐため、OHP フィルムの印刷には必ずトレイ 1 と後部排出ビンを使用してください。 同じ OHP フィルムを 2 回以上印刷したり、一部分だけが OHP フィルムになっている用紙に印刷しないでください。

注記　プリンタ ドライバで OHP フィルムを選択してください。 「プリンタ ドライバを開く」を参照してください。

カード ストックおよび厚手のメディア

インデックス カードやはがきなどさまざまなカード ストックを給紙トレイから印刷することができます。 一部のカード ストックは、レーザー プリンタへの給紙に適した構造になっているため、他のカード ストックよりもスムーズに給紙されます。

最適な印刷を行うために、199 g/m (^{2}) より厚い用紙は使用しないでください。 厚すぎる用紙を使用すると、用紙の給紙ミス、用紙のセットの問題、紙詰まり、トナーの溶着不足、印刷品質の低下、機械の過度の磨耗の原因になる可能性があります。

注記　給紙トレイの収容枚数いっぱいまで給紙せずに、平滑度が 100 ～ 180 Sheffield の用紙を使用すると、厚手の用紙を印刷できることがあります。

ソフトウェア プログラムまたはプリント ドライバでメディア タイプとして、**[厚手]** (106 ～ 163g/m^2、28 ～ 43 ポンドのポンド紙) または **[厚紙]** (135 ～ 216g/m^2、50 ～ 80 ポンドの厚紙) を選択するか、厚手の用紙用に設定されたトレイから印刷します。 この設定はすべての印刷ジョブに影響を与えるため、印刷が終了したらプリンタを元の設定に戻す必要があります。

カード ストックの構造

- **平滑度** : 135 ～ 157g/m^2 の厚紙の平滑度は 100 ～ 180 Sheffield になっている必要があります。60 ～ 135g/m^2 の厚紙の平滑度は 100 ～ 200 Sheffield になっている必要があります。
- **構造** : カード ストックの平坦さは、丸まりが 5mm 未満になっている必要があります。
- **状態** : カード ストックにしわ、傷、その他の損傷がないことを確認します。

カード ストックに関するガイドライン

- マージンは端から 2mm () 以上に設定してください。
- カード ストックはトレイ 1 に給紙してください (135 ～ 216g/m^2、50 ～ 80 ポンドの厚紙)。

注意　デバイスの損傷を防ぐため、レーザー プリンタ用に推奨されているカード ストック以外は使用しないでください。 深刻な紙詰まりを防ぐため、カード ストックの印刷には必ずトレイ 1 と後部排出ビンを使用してください。

レターヘッドと印刷済み用紙

レターヘッドは、透かしが入ったり、綿繊維が使われたりする高級用紙で、さまざまな色や仕上がりで揃いの封筒と共に提供されます。 印刷済み用紙は、リサイクル紙から高級紙までさまざまな用紙タイプで提供されます。

現在多くの製造元が、さまざまなグレードの用紙をレーザー プリンタ用にデザインし、レーザー対応またはレーザー使用保証として販売しています。 しわ紙、手漉き紙、リネンなどの表面仕上げが粗い紙では、トナーを適切に定着させるために、特別なフューザ モードが必要な場合があります。このモードは一部のプリンタ モデルで使用可能です。

注記　レーザー プリンタで印刷するときに、ページごとに若干のぶれがあっても、それは正常な動作です。 普通紙に印刷するときにはこのぶれは分かりません。 ただし、印刷済み用紙では線や四角形が既に用紙に印刷されているので、このぶれが分かります。

印刷済み用紙、エンボス加工用紙、およびレターヘッドを使用する時に問題を避けるために、以下のガイドラインに従ってください。

- 低温インク（盛上げ印刷などで使用されるもの）を使用しないでください。
- オフセット リソグラフィーまたは銅版印刷によって印刷された印刷済み用紙やレターヘッドを使用してください。
- 200°C の熱に 0.1 秒間さらされた場合に、溶けたり、蒸発したり、トナーが流れたり、ガスを発生したりしない耐熱インクで作成された用紙を使用してください。 一般的に、酸性または油性のインクはこの要件を満たしています。
- 印刷済み用紙の場合は、用紙の水分含有量が変化しないように注意してください。また、用紙の電気特性または取扱特性を変化させる素材を使用しないでください。 保管中に水分含有量が変化することを防ぐために、防湿性の包装材で用紙を包んでください。
- 仕上げまたはコーティングされた印刷済みの用紙は使用しないでください。
- 強くエンボス加工された用紙または立体仕上げのレターヘッド用紙は使用しないでください。
- 表面に大きな凹凸がある用紙は使用しないでください。
- 印刷済み用紙が張り付くのを防ぐオフセット パウダーまたは他の材料は使用しないでください。

注記　1 ページの表書きをレターヘッドに印刷してから、複数ページの文書を印刷する場合は、レターヘッドの表面を上向きにしてトレイ 1 にセットし、標準の用紙をトレイ 2 にセットします。デバイスは自動的にトレイ 1 から先に印刷します。

正しいフューザ モードの選択

フューザ モードは、設定されているトレイのメディア タイプに応じて自動的に調整されます。 たとえば、厚手の用紙の場合、トナーが適切にページへ付着するように、フューザ モード設定を高くする必要があります。一方、OHP フィルムの場合は、デバイスが損傷しないようにフューザ モードを低くします。 通常、デフォルト設定はほとんどの印刷メディアに最適です。

フューザ モードを変更できるのは、使用しているトレイにメディアの種類が設定されている場合のみです。 「印刷ジョブの制御」を参照してください。 トレイにメディアの種類を設定してから、デバイスのコントロール パネルの 印刷品質 サブメニューの 管理 メニューで、フューザ モードを変更します。 「印刷品質 メニュー」を参照してください。

注記　High 1 (高 1) または High 2 (高 2) のフューザ モード設定を使用すると、用紙にトナーが定着しやすくなりますが、用紙の丸まりなど、他の問題が発生することがあります。 フューザ モードを High 1 (高 1) または High 2 (高 2) に設定すると、印刷速度が遅くなることがあります。対応しているメディアの種類ごとに、適切なフューザ モードの設定方法について以下の表で説明します。

メディア タイプ	フューザ モード設定
普通紙	標準
印刷済み用紙	標準
レターヘッド	標準
OHP フィルム	LOW 2 (低 2)
穴あき用紙	標準
ラベル紙	標準
ボンド紙	標準
再生紙	標準
カラー	標準
軽い用紙	LOW 1 (低 1)
厚紙	標準
粗めの用紙	HIGH 1 (高 1)
封筒	標準

フューザ モードをデフォルト設定にリセットするには、デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューにタッチします。 印刷品質、フューザ モード、モードを復元します の順にタッチします。

印刷メディアの選択

このデバイスでは、カット紙 (繊維含有の完全再生紙を含む)、封筒、ラベル紙、OHP フィルム、カスタムサイズの用紙など、さまざまなメディアに印刷できます。 重さ、素材、平滑度、水分含有量などの用紙の特性は、デバイスの印刷速度や印刷品質に影響する重要な要素です。 このマニュアルのガイドラインを満たさない用紙を使用すると、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 印刷品質が低下する。
- 紙詰まりが頻繁に発生する。
- デバイスの磨耗を早め、修理が必要になる。

注記 このマニュアルのガイドラインをすべて満たす用紙を使用しても、満足のいかない仕上がりとなる場合もあります。 この場合は、不適切な操作、許容範囲を超える温度や湿度、あるいは Hewlett-Packard が制御できる範囲を超えるその他の要素が原因と考えられます。 用紙を大量に購入する場合は、このユーザーズ ガイドと『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』に記載されている仕様を満たすことを事前に確認してください。ガイドは、http://www.hp.com/support/ljpaperguide から入手できます。 用紙を大量に購入する場合は、事前に試し刷りを必ず行ってください。

注意 HP の仕様以外のメディアを使用すると、デバイスの問題が発生し、修理が必要になる可能性があります。 この場合の修理には、HP の保証およびサービス契約は適用されません。

サポートされているメディア サイズ

表 4-1 サポートされているメディア サイズ

給紙トレイ	レター	リーガル	A4	A5	エグゼクティブ (JIS)	JIS B5	16K	カスタム	ステートメント	はがき (JIS)	封筒 [1]
トレイ 1	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
トレイ 2、トレイ 3	✓	✓	✓	✓	✓	✓					

[1] 封筒の対応サイズは #10、Monarch、C5、DL、および B5 です。

表 4-2 自動両面印刷 [1]

メディア サイズ	寸法	重さと厚さ
レター	216 x 279mm ()	60 ～ 120g/m^2 ()
リーガル	216 x 356mm ()	
A4	211 x 297mm ()	
JIS	216 x 330mm ()	

[1] 上記よりも重みがある用紙で自動両面印刷を実行すると、予期しない結果になることがあります。

注記 自動両面印刷は、HP LaserJet M3027x、HP LaserJet M3035、HP LaserJet M3035xs の各モデルで使用できます。

手動両面印刷 上記のサイズとタイプの対応メディア サイズのほとんどは、トレイ 1 から手動で両面印刷できます。 詳細については、「印刷」を参照してください。

サポートされているメディア タイプ

表 4-3 トレイ 1 のメディア タイプ

タイプ	寸法	重さまたは厚さ	給紙容量 [1]
普通紙	最小： 76x127mm (3x5 インチ)	60 ～ 199g/m^2 (16 ～ 53 ポンド)	100 枚
印刷済み用紙	最大： 216x356mm (8.5x14 インチ)	60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32 ポンド)	100 枚
レターヘッド		60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32 ポンド)	100 枚
穴あき用紙		60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32 ポンド)	100 枚
ボンド紙		60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32 ポンド)	100 枚
再生紙		60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32 ポンド)	100 枚
カラー用紙		60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32 ポンド)	100 枚
粗めの用紙		60 ～ 199g/m^2 (16 ～ 53 ポンド)	最大 100 枚
軽い用紙		60 ～ 75g/m^2 (16 ～ 20 ポンド)	100 枚
カスタム		60 ～ 199g/m^2 (16 ～ 53 ポンド)	最大 100 枚
OHP フィルム [2]		厚さ 0.10 ～ 0.14mm (厚さ 4.7 ～ 5 ミル)	最大 60 枚
封筒		75 ～ 90g/m^2 (20 ～ 24 ポンド)	10 枚
ラベル紙		厚さ 0.10 ～ 0.14mm (厚さ 4.7 ～ 5 ミル)	最大 60 枚
厚紙		163 g/m^2 超(43 ポンド超)	最大 100 枚

[1] メディアの重さと厚み、および環境条件によって、枚数は変わります。 平滑度が 100 ～ 250 (Sheffield) のメディアをお勧めします。 注文については、「サプライ品とアクセサリ」を参照してください。

[2] HP LaserJet プリンタで使用するように指定された OHP フィルムのみを使用してください。 HP LaserJet プリンタで使用するように指定されていない OHP フィルムでも、このプリンタで検出できます。 詳細については、「印刷品質 メニュー」を参照してください。

表 4-4 トレイ 2 およびトレイ 3 のメディア タイプ

タイプ	寸法	重さまたは厚さ	収納容量
普通紙	最小： 140 x 216mm (5.5 x 8.5 インチ)	60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32 ポンド)	最大 500 枚
印刷済み用紙	最大： 216 x 356mm (8.5 x 14 インチ)	60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32 ポンド)	最大 500 枚
レターヘッド		60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32 ポンド)	最大 500 枚
穴あき用紙		60 ～ 120 g/m2 (16 ～ 32 ポンド)	最大 500 枚
ボンド紙		60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32 ポンド)	最大 500 枚
再生紙		60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32 ポンド)	最大 500 枚
カラー用紙		60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32 ポンド)	最大 500 枚

印刷環境および用紙の保管環境

印刷環境および用紙の保管環境は、乾燥や多湿を避け、常温に保つことが理想的です。 用紙は吸湿性であるため、湿気を吸収しやすく、また乾燥もしやすいことに注意してください。

温度は用紙中の水分に影響し、用紙がいたむ原因となります。温度が低いと用紙の表面に水分が凝縮します。一方、温度が高いと用紙中の水分が蒸発してしまいます。暖房装置やエアコンを使うと部屋の湿度はゼロに近くなります。このような環境で用紙を開封して使用すると、用紙中の水分が失われるので、印刷にスジがはいったり汚れたりする原因となります。一方、多湿の天候だったり冷水タンクがあったりすると部屋の湿度が上昇します。このような環境で用紙を開封して使用すると、空気中の余分な水分を吸収するので、印刷が薄くなったり欠落したりする原因となります。さらに、用紙が水分を失ったり吸収したりすると、用紙が変形する場合があります。これは紙詰まりの原因になります。

そのため、用紙の保管や取り扱いは、用紙の製造プロセスそのものと同じくらい重要になります。用紙の保管環境は給紙動作に直接影響します。

短期間 (約 3 か月) で使い切れないほどの量の用紙を購入しないよう注意してください。用紙を長期間保管すると、いたみの原因となる極端な高温や湿度にさらされる可能性があります。大量の用紙がいたんでしまうという事態を防ぐには、計画性が重要です。

ラベルで封印された未開封の用紙は数か月保管しておいても品質は安定しています。パッケージ開封後の用紙は環境の影響を受けやすくなります。防湿用パッケージに包まれていない場合は特にそうです。

最適な印刷性能を確保するためには、用紙の保管環境を適切に保つことが必要です。 最適な環境条件は、20 ～ 24° C (68 ～ 75° F)、相対湿度 45 ～ 55% です。 用紙の保管環境について検討する場合は、以下のガイドラインを参考にしてください。

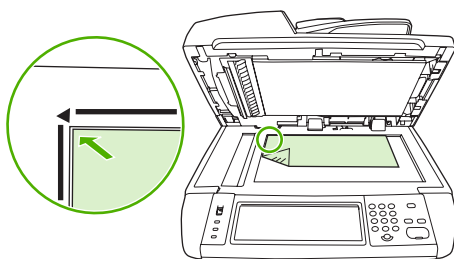
- 用紙は室温かそれに近い温度で保管する必要があります。
- 空気は乾燥しすぎていたり多湿すぎたりしていてはなりません (用紙に吸湿性があるため)。
- いったん開封した用紙を最適に保管するためには、防湿性の包装材でしっかり再包装してください。 印刷環境が極端に悪い場合は、1 日に使用する分だけの用紙を開封して、用紙の水分含有量が必要以上に変化しないようにします。
- 封筒を正しく保管すれば、印刷品質の向上につながります。封筒は平らな状態で保管してください。封筒の中に空気が入って気泡ができると、印刷時にしわが寄ることがあります。

メディアのセット

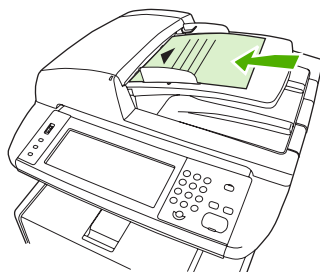
封筒、ラベル紙、OHP フィルムなどの特殊な印刷メディアは、トレイ 1 にのみセットしてください。 トレイ 2 とオプションのトレイ 3 には用紙のみをセットしてください。

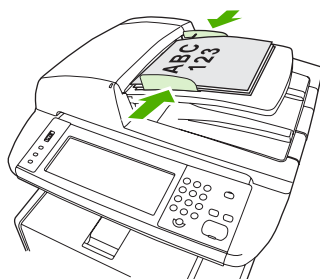
スキャナのガラス板にメディアをセットする

小さくて計量 (60 g/m^2 (16 ポンド) 未満) の原稿、または変則的なサイズの原稿 (レシート、新聞の切り抜き、写真、古い文書、破損した文書など) をコピー、スキャン、またはファックスするには、スキャナのガラス板を使用します。

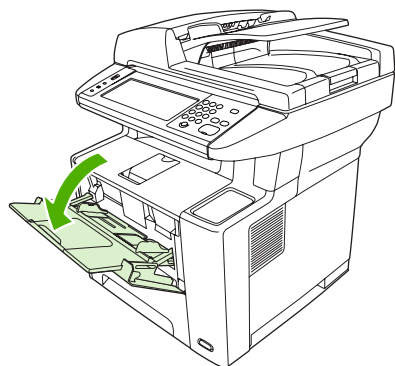
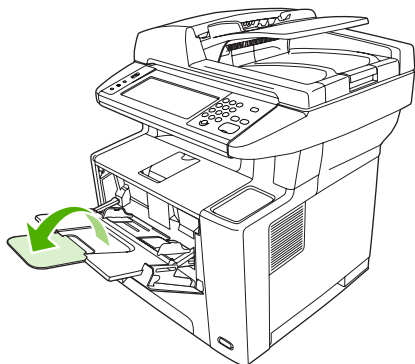
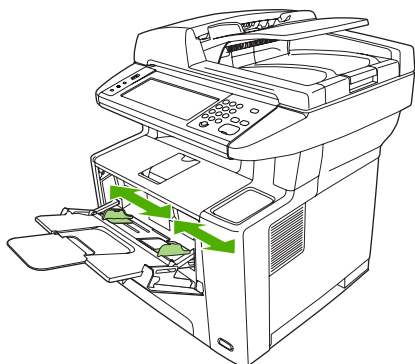
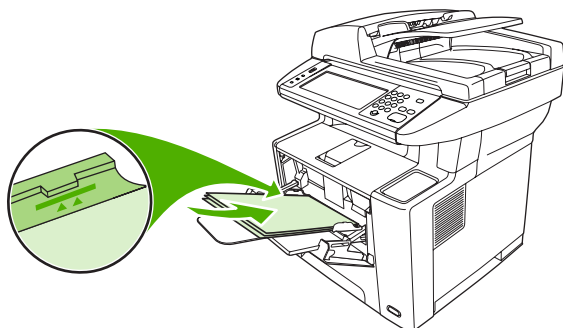
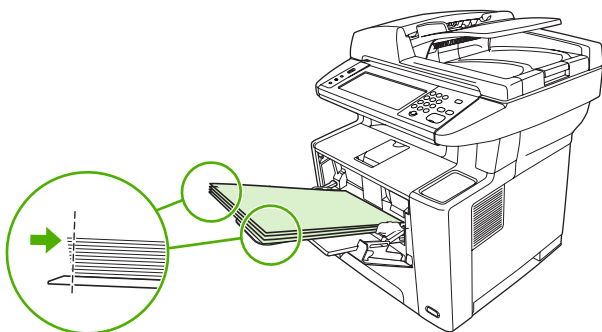
▲ 文書を下向きにしてスキャナのガラス面に置きます。文書の左上端は、スキャナのガラス面の左上端に合わせます。

自動文書フィーダ (ADF) のセット

50 ページ以下 (ページの厚さによって変わります) の文書をコピー、スキャン、またはファックスするには、ADF を使用します。

1. 最初に、文書を上向きにし、用紙の上端から ADF に給紙されるようにセットします。

2. 用紙の束が動かない位置まで奥に差し込みます。

3. 用紙のサイズに合わせてメディア ガイドを調整します。

トレイ 1 (多目的トレイ) への用紙のセット

トレイ 1 には、最高 100 枚の用紙、最高 75 枚の OHP フィルム、最高 50 枚のラベル紙、または最高 10 枚の封筒をセットすることができます。 特殊なメディアのセット方法については、「特殊メディアのセット」を参照してください。

1. 前面カバーを引いてトレイ 1 を開きます。

2. プラスチック製のトレイ拡張部を引き出します。 セットするメディアが 229mm (9 インチ) よりも長い場合は、予備のトレイ拡張部を開いて伸ばします。

3. メディアよりも少しだけ広く用紙幅ガイドを開きます。

4. メディアをトレイにセットします (メディアの短辺をプリンタ側に向け、印刷面を上向きにします)。 メディアは、用紙幅ガイドの中央かつ用紙幅ガイドのタブより下の位置にセットする必要があります。

5. 印刷メディアの両端に軽く触れるまで (束が曲がらないように) 用紙幅ガイドを内側にスライドさせます。 用紙幅ガイドのタブより下の位置にメディアが収まっていることを確認してください。

注記 印刷中は、トレイ 1 にメディアを追加しないでください。 印刷中にメディアを追加すると、紙詰まりが発生する可能性があります。 印刷中は、正面ドアを閉じないでください。

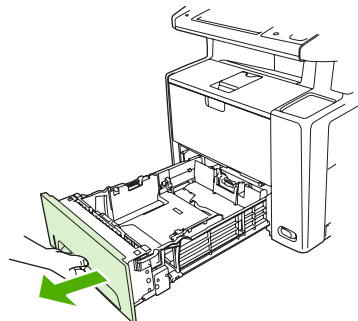
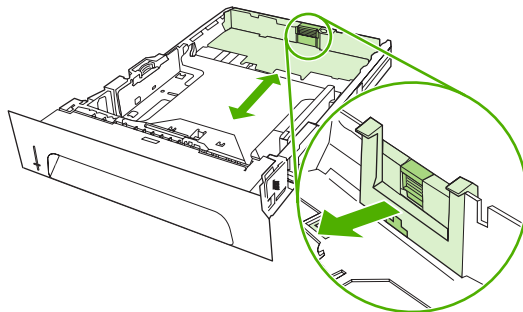
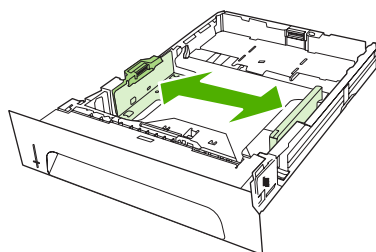
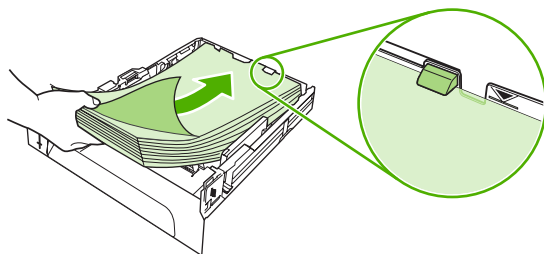
トレイ 1 操作のカスタマイズ

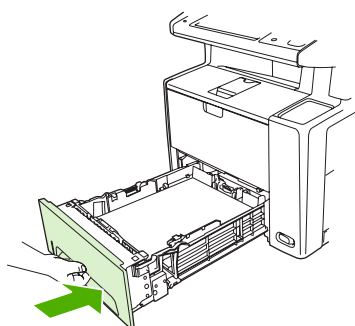
トレイ 1 に用紙がセットされている場合、またはトレイ 1 にセットされた用紙が特に要求された場合は、トレイ 1 からのみ印刷するようにデバイスを設定できます。

設定内容	説明
トレイ 1 のサイズは **[任意のサイズ]** に設定されています トレイ 1 のタイプは **[任意のタイプ]** に設定されています	トレイ 1 が空でない、または閉じられていない限り、デバイスは最初にトレイ 1 から給紙します。 トレイ 1 に常にメディアをセットしているとは限らない場合、または手差し印刷のときにのみトレイ 1 を使用する場合は、トレイ 1 のサイズとタイプをデフォルト設定のまま使用します。 トレイ 1 のサイズとタイプのデフォルト設定は、どちらも **[任意]** です。 トレイ 1 のサイズとタイプを変更するには、**[サプライ品のステータス]** の下にある **[トレイ]** にタッチし、**[変更]** にタッチします。
トレイ 1 のサイズまたはタイプを **[任意のサイズ]** または **[任意のタイプ]**以外に設定します。	デバイスは、トレイ 1 を他のトレイと同じように扱います。 最初にトレイ 1 のメディアを探す代わりに、ソフトウェアで指定されたメディアのタイプやサイズと一致するトレイを探します。 プリンタ ドライバを使うことによって、タイプ、サイズ、またはソースに基づいてどのトレイ (トレイ 1 を含む) のメディアでも指定できます。 用紙のタイプとサイズを指定して印刷する方法は、「印刷ジョブの制御」を参照してください。

トレイ 2 およびオプションのトレイ 3 への用紙のセット

トレイ 2 と 3 は、用紙のみをサポートします。 サポートされている用紙サイズについては、「印刷メディアの選択」を参照してください。

1. トレイをデバイスから取り外して、用紙をすべて取り出します。

2. 後部の用紙長さガイド上のタブを押して、セットする用紙サイズにポインタが一致するようにタブをスライドさせます。 ガイドが正しい位置にあることを確認してください。

3. セットする用紙サイズにポインタが一致するように両側の用紙幅ガイドを調整します。

4. トレイに用紙をセットし、用紙の四隅が折れたり丸まっていないことを確認します。 用紙は、トレイ後部にある用紙長さガイド上の高さ調整タブよりも下にセットします。

5. 用紙を押し下げて金属の用紙リフト プレートがきちんとロックされるようにします。

6. トレイをデバイスに戻します。

特殊メディアのセット

以下の表は、特殊メディアのセットとプリンタ ドライバの設定に関するガイドラインを示しています。 最高の印刷品質を得るには、プリンタ ドライバで正しいメディア タイプの設定を使用してください。 一部のメディアでは、プリンタの印刷速度が低下します。

注記 Windows プリンタ ドライバでは、**[用紙]** タブの **[タイプ]** ドロップダウン リストでメディア タイプを調整します。

Macintosh プリンタ ドライバでは、**[プリンタの機能]** ポップアップ メニューの **[メディア タイプ]** ドロップダウン リストでメディア タイプを調整します。

メディア タイプ	トレイ 2 またはオプションのトレイ 3 にセット可能な最大枚数	プリンタ ドライバの設定	トレイ 1 のメディアの給紙方向	トレイ 2 とトレイ 3 のメディアの給紙方向
標準	最高 500 枚	普通紙または指定なし	印刷面を上向きにします	印刷面を下向きにします
封筒	0 枚。 封筒はトレイ 1 でしか使用することができません。	封筒	印刷面を上向きにし、切手の場所が本体に一番近くなるようにして、短辺から先に給紙されるようにセットします	トレイ 2 またはオプションのトレイ 3 から封筒を印刷しないでください。

メディア タイプ	トレイ 2 またはオプションのトレイ 3 にセット可能な最大枚数	プリンタ ドライバの設定	トレイ 1 のメディアの給紙方向	トレイ 2 とトレイ 3 のメディアの給紙方向
厚手の封筒	0 枚。 封筒はトレイ 1 でしか使用することができません。	厚手の封筒	印刷面を上向きにし、切手の場所が本体に一番近くなるようにして、短辺から先に給紙されるようにセットします	トレイ 2 またはオプションのトレイ 3 から厚手の封筒を給紙しないでください。
ラベル紙	0 枚。 ラベル紙はトレイ 1 でしか使用することができません。	ラベル紙	印刷面を上向きにし、上端を本体の前部に向けてセットします	トレイ 2 またはオプションのトレイ 3 からラベル紙を給紙しないでください。
OHP フィルム	0 枚。OHP フィルムはトレイ 1 でしか使用することができません。	OHP フィルム	印刷面を上向きにします	トレイ 2 またはオプションのトレイ 3 から OHP フィルムを給紙しないでください。
レターヘッド (片面印刷)	最高 500 枚	レターヘッド	印刷面を上向きにし、上端から先に給紙されるようにセットします	印刷面を下向きにし、上端をトレイの前部に向けてセットします
レターヘッド (両面印刷)	最高 500 枚	レターヘッド	印刷面を下向きにし、下端から先に給紙されるようにセットします	印刷面を上向きにし、上端をトレイの後部に向けてセットします
厚紙	ゼロ。 厚紙は、トレイ 1 でしか使用できません	厚紙または厚手	印刷面を上向きにします	トレイ 2 またはオプションのトレイ 3 から厚紙を給紙しないでください。
粗めの用紙	積み上げた高さが 50mm (1.97 インチ) まで	粗めの用紙	印刷面を上向きにします	印刷面を下向きにします

印刷ジョブの制御

ジョブがプリンタに送信されると、プリンタ内にメディアを引き込むためにどの用紙トレイを使用するかをプリンタ ドライバが制御します。デフォルトでは自動的にトレイが選択されますが、ユーザーが **[ソース]**、**[タイプ]**、**[サイズ]** の 3 つの設定を指定して特定のトレイを選択することもできます。これらの設定は **[アプリケーション設定]** ダイアログ ボックス、**[プリント]** ダイアログ ボックス、またはプリンタ ドライバで指定します。

設定	説明
ソース	ユーザーが指定したトレイから用紙を引き出すように指定します。このトレイにどのようなタイプやサイズのメディアをセットした場合でも、このトレイから印刷されます。印刷を開始するには、印刷ジョブに対応する正しいタイプまたはサイズの印刷メディアを、選択したトレイにセットしてください。トレイにメディアをセットすると、印刷が開始します。印刷が開始しない場合は、次の項目を確認してください。 ● トレイの設定が印刷ジョブのサイズまたはタイプに一致している。 ● OK を押して、別のトレイから印刷してみる。
タイプまたはサイズ	選択したタイプまたはサイズのメディアをセットした最初のトレイから用紙を引き出すかメディアを印刷するように指定します。*ラベルや OHP フィルムなどの特殊な印刷メディアの場合は、必ずタイプ別に印刷してください。*

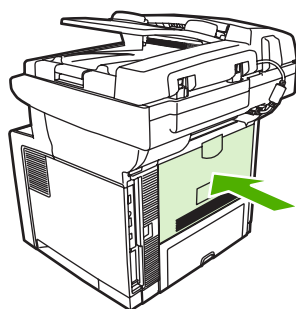
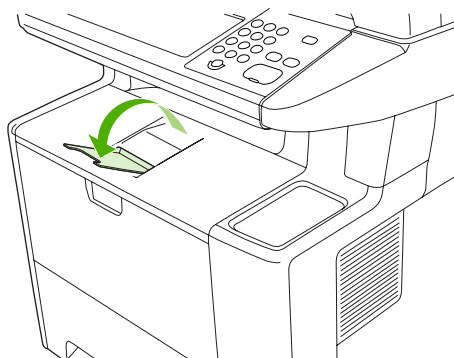
排紙ビンの選択

この製品には、完了した印刷ジョブを排紙する次の 2 つの排紙ビンがあります。

- 上部 (下向き) 排紙ビン： プリンタの上部にあるデフォルトの排紙ビン。 印刷ジョブは、表面を下向きにしてプリンタからこのビンに排紙されます。
- 後部 (上向き) 排紙ビン： 印刷ジョブは、表面を上向きにしてプリンタからプリンタの後部にあるこのビンに排紙されます。

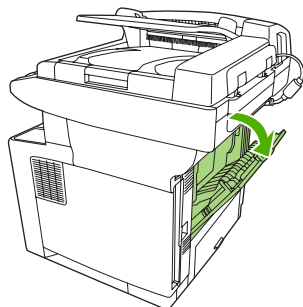
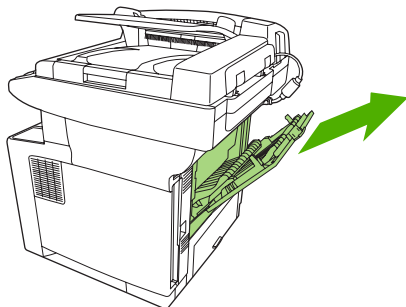
注記　後部排紙ビンに印刷する場合は、自動両面印刷は使用できません。

上部排紙ビンへの印刷

1. 後部排紙ビンが閉じていることを確認してください。 後部排紙ビンが開いていると、デバイスは印刷ジョブを後部排紙ビンに排紙します。

2. 長いメディアに印刷する場合は、上部排紙ビン サポートを開きます。

3. コンピュータから印刷ジョブをデバイスに送信します。

後部排紙ビンへの印刷

注記　トレイ 1 と後部排紙ビンの両方を使用すると、用紙がストレートスルー用紙経路を通って排紙されます。 ストレートスルー用紙経路は、用紙が丸まるのを防ぎます。

1. 後部排紙ビンを開きます。

2. 長いメディアに印刷する場合は、ビンの拡張部を引き出します。

3. コンピュータから印刷ジョブをデバイスに送信します。

5 デバイスの機能

この章では、基本的なデバイス機能の使用方法について説明します。

コンビニエンス ステイプラの使用

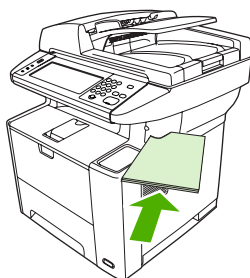
コンビニエンス ステイプラはデバイスの前面右側に取り付けられます。

コンビニエンス ステイプラは、コントロール パネルやデバイス ソフトウェアとは独立して機能し、プリント ジョブが自動的にステイプル留めされることはありません。 コンビニエンス ステイプラは設定する必要がなく、またエラー メッセージやステータス メッセージは表示されません。

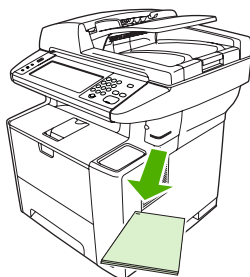
メディアのステイプル留め

メディアをコンビニエンス ステイプラに挿入すると、ステイプラが起動します。

1. ステイプラ ドアのスロットには、最高で 20 枚のメディアを挿入できます (80 g/m^2 または 20 ポンド)。 メディアの重さが 80 g/m^2 または 20 ポンドを超える場合、ステイプラに挿入する枚数を減らします。

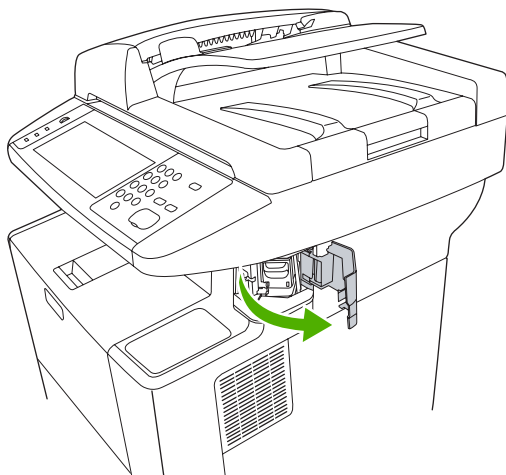
注意 プラスチック、カードボード、木のステイプル留めにはコンビニエンス ステイプラは使用しないでください。 このような素材をステイプル留めしようとすると、コンビニエンス ステイプラが破損する可能性があります。

注記 推奨の枚数を超えると、ステイプラにメディアが詰まったり破損したりします。 ステイプラの詰まりを解決する方法については、「ステイプラ詰まりの解消」を参照してください。

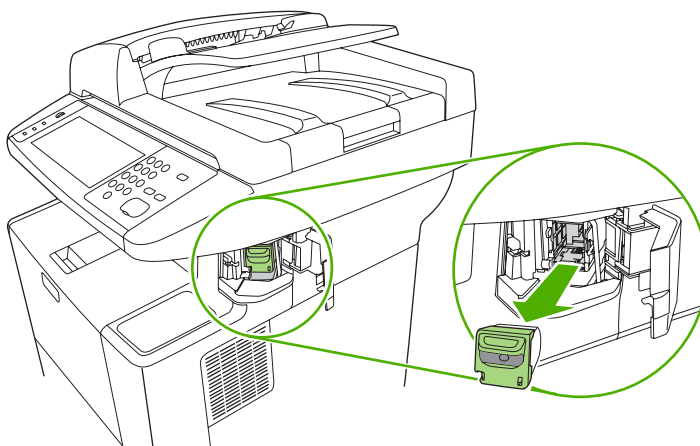
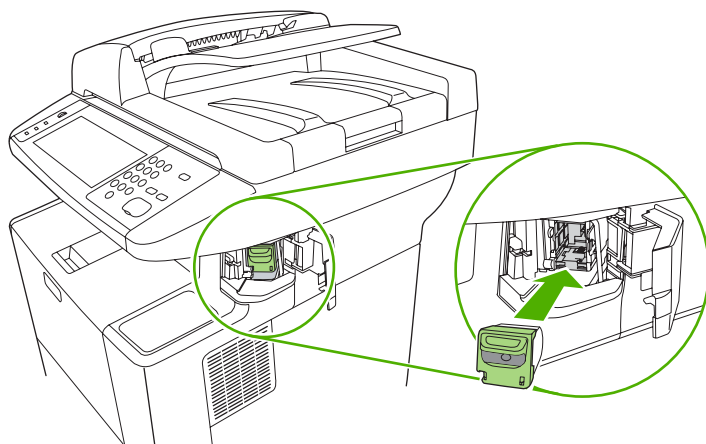
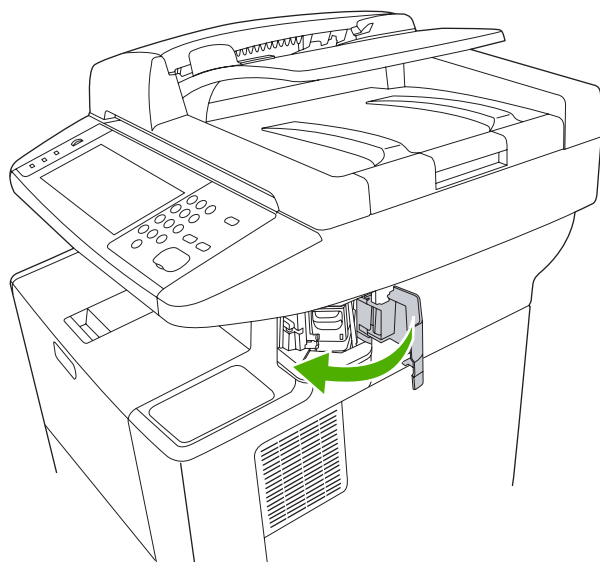
2. メディアがステイプル留めされるまで待ちます。 ステイプラ スロットの奥までメディアを差し込むと、ステイプラ機能が起動します。

3. スロットからステイプル留めされたメディアを取り除きます。

注記 ステイプル留め後にメディアを取り除くことができない場合、ステイプラのドアを慎重に開き、文書を引き出します。

ステイプルのセット

各ステイプル カートリッジには 1,500 本の未整形のステイプルが入ります。 ステイプルをデバイスにセットするには、ステイプル カートリッジを挿入します。

1. ステイプラ ドアを開きます。

注記　ステイプラ ドアを開くとステイプラは無効になります。

2. ステイプル カートリッジを交換する場合 (ステイプル カートリッジにステイプルがなくなったときなど)、デバイスからステイプル カートリッジを取り除きます。

3. 開いているステイプル ドアの中に、新しいステイプル カートリッジを挿入します。

4. ステイプラ ドアを閉じます。

ジョブ保存機能の使用

このデバイスでは、次のジョブ保存機能を使用できます。

- **試し刷り後に保留ジョブ**： この機能を使用すると、1 部のジョブを試し刷りしてから、残りの部数を印刷する操作を簡単に行うことができます。
- **プライベート ジョブ**： プライベート ジョブをデバイスに送信すると、暗証番号をコントロール パネルで入力するまで、ジョブは印刷されません。
- **クイック コピー ジョブ**： 必要な部数のジョブを印刷してから、1 部をデバイスのハード ディスクに保存できます。 ジョブを保存しておくと、後で追加の部数を印刷できます。
- **保存ジョブ**： 人事用紙、勤務時間表、カレンダなどのジョブをデバイスに保存すると、他のユーザーはいつでも印刷できます。 また、保存ジョブは PIN で保護することもできます。

コンピュータからジョブ保存機能にアクセスする方法について、ここで説明します。 作成する印刷ジョブ、コピージョブ、スキャン ジョブの種類については、該当するセクションを参照してください。

注意　デバイスの電源を切ると、すべてのクイック コピー ジョブ、試し刷り後に保留ジョブ、プライベート ジョブはすべて削除されます。

ジョブ保存機能にアクセスする

Windows の場合

1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. **[プロパティ]** をクリックし、**[ジョブ保存]** タブをクリックします。
3. 使用するジョブ保存モードを選択します。

Macintosh の場合

新しいドライバの場合、 **[印刷]** ダイアログ ボックスのプルダウン メニューで **[ジョブ保存]** を選択します。 古いドライバの場合、**[プリンタ固有のオプション]** を選択します。

試し刷り後に保留機能の使用

試し刷り後に保留機能を使用すると、1 部のジョブを試し刷りしてから、残りの部数を印刷する操作を簡単に行うことができます。

ジョブを永久的に保存し、他の用途に容量が必要な場合でもデバイスから削除されないようにするには、ドライバで **[保存ジョブ]** オプションを選択します。

試し刷り後に保留ジョブの作成

注意　新しい試し刷り後に保留ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古い試し刷り後に保留ジョブから削除されます。 ジョブを永久的に保存して、容量が足りなくなったときに削除されないようにするには、ドライバで **[試し刷り後に保留]** オプションではなく **[保存ジョブ]** オプションを選択します。

ドライバの **[試し刷り後に保留]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。

試し刷りとしてジョブが 1 部印刷されます。 その後の操作については、「試し刷り後に保留ジョブの残りの部数を印刷する」を参照してください。

試し刷り後に保留ジョブの残りの部数を印刷する

ハード ディスクに保存されているジョブの残りの部数を印刷するには、デバイスのコントロール パネルで以下の手順で操作します。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。 保存ジョブの取得 () にタッチすると、文書が印刷されます。

試し刷り後に保留ジョブの削除

試し刷り後に保留ジョブを送信すると、古い試し刷り後に保留ジョブは自動的に削除されます。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 削除 にタッチします。
6. はい にタッチします。

プライベート ジョブ機能の使用

ジョブを解放するまで印刷しないように指定するには、プライベート印刷機能を使用します。 まず、プリンタ ドライバで 4 桁の PIN を入力します。 PIN は印刷ジョブの一部としてデバイスに送信されます。 デバイスに印刷ジョブを送信した後は、ジョブを印刷するには PIN を入力する必要があります。

プライベート ジョブの作成

ジョブをプライベートに指定するには、ドライバで プライベート ジョブ オプションを選択し、ユーザー名、ジョブ名、4 桁の PIN を入力します。 デバイスのコントロール パネルでこの PIN を入力するまで、ジョブは印刷されません。

プライベート ジョブの印刷

ジョブをデバイスに送信してから、コントロール パネルでプライベート ジョブを印刷できます。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. プライベート ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するプライベート ジョブまでスクロールしてタッチします。

注記　プライベート ジョブの横には [ロック記号] が表示されます。

5. PIN (個人識別番号) フィールドにタッチします。

6. 数字キーパッドで PIN を入力し、**[OK]** にタッチします。

7. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。

8. 保存ジョブの取得 (◈) にタッチすると、文書が印刷されます。

プライベート ジョブの削除

プライベート ジョブの印刷が完了すると、デバイスのハード ディスクから自動的に削除されます。プライベート ジョブジョブを印刷しないで削除するには、次の手順で操作します。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。

2. 取得 タブにタッチします。

3. プライベート ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。

4. 削除するプライベート ジョブまでスクロールしてタッチします。

注記 プライベート ジョブの横には 🔒 [ロック記号] が表示されます。

5. PIN (個人識別番号) フィールドにタッチします。

6. 数字キーパッドで PIN を入力し、OK にタッチします。

7. 削除 にタッチします。

クイック コピー機能の使用

クイック コピー機能を使用すると、指定した部数のジョブが印刷され、デバイスのハード ディスクに 1 部が保存されます。 後で追加部数を印刷できます。 この機能はプリンタ ドライバで無効にすることができます。

デバイスに保存できるクイック コピー ジョブ数のデフォルト値は、32 件です。コントロール パネルでデフォルト値を変更できます。 「管理 メニューの使用」を参照してください。

クイック コピー ジョブの作成

△ **注意** 新しいクイック コピー ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古いクイック コピー ジョブから削除されます。 ジョブを永久的に保存して、容量が足りなくなったときに削除されないようにするには、ドライバで **[クイック コピー]** オプションではなく **[ジョブ保存]** オプションを選択します。

ドライバの **[クイック コピー]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。

印刷するジョブをデバイスに送信すると、ドライバに設定した部数が印刷されます。 デバイスのコントロール パネルで多数のクイック コピーを印刷する方法については、「クイック コピー ジョブの部数を追加して印刷する」を参照してください。

クイック コピー ジョブの部数を追加して印刷する

ここでは、デバイスのハード ディスクに保存されているジョブをコントロール パネルで部数を追加して印刷する方法について説明します。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。
6. 保存ジョブの取得 () にタッチすると、文書が印刷されます。

クイック コピー ジョブの削除

不要なクイック コピー ジョブはデバイスのコントロール パネルで削除します。 新しいクイック コピー ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古いクイック コピー ジョブから自動的に削除されます。

注記 保存されたクイック コピー ジョブは、コントロール パネルまたは HP Web Jetadmin で削除できます。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 削除 にタッチします。
6. はい にタッチします。

保存ジョブ機能の使用

保存コピー ジョブはデバイスのコントロール パネルに作成して、後で印刷できます。

印刷ジョブは印刷せずにデバイスのハード ディスクに保存することもできます。 保存ジョブはデバイスのコントロール パネルからいつでも印刷できます。 たとえば、人事用紙、カレンダ、勤務時間表、経理用紙などを必要なときにダウンロードして印刷することができます。

コピー ジョブの保存

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の ジョブ保存 にタッチします。
3. 作成 タブにタッチします。

4. 次のいずれかの方法で、保存したジョブ名を指定します。

   - リストから既存フォルダを選択します。 新規ジョブ にタッチし、ジョブ名を入力します。
   - 画面の右側にある既存の フォルダ名: または ジョブ名: の下にあるボックスにタッチし、テキストを編集します。

5. プライベート保存ジョブには名前の横にロック アイコンが表示されます。このジョブの取得には PIN を指定する必要があります。 ジョブをプライベートにするには、印刷の PIN を選択し、ジョブの PIN コードを入力します。 OK にタッチします。

6. 他のジョブ保存オプションの表示と変更を行うには、その他のオプション にタッチします。

7. すべてのオプションを設定し終わったら、画面の左上隅にある 保存ジョブの作成 (◈) にタッチし、文書のスキャンとジョブの保存を行います。 ジョブは削除するまでデバイスに保存されるため、後で必要に応じて追加部数を印刷できます。

   ジョブの印刷方法については、「保存したジョブの印刷」を参照してください。

印刷ジョブの保存

ドライバの **[保存ジョブ]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。 デバイスのコントロール パネルで印刷を指示するまでジョブは印刷されません。 「保存したジョブの印刷」を参照してください。

保存したジョブの印刷

コントロール パネルで、デバイスのハード ディスクに保存されているジョブを印刷できます。

1. [ホーム] 画面の ジョブ保存 をタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷する保存ジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 保存ジョブの取得 (◈) にタッチすると、文書が印刷されます。
6. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。
7. 保存ジョブの取得 (◈) にタッチすると、文書が印刷されます。

横に 🔒 (ロック記号) が表示されているファイルを印刷するには、PIN が必要です。 「プライベート ジョブ機能の使用」を参照してください。

保存ジョブの削除

デバイスのハード ディスクに保存したジョブは、コントロール パネルで削除できます。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除する保存ジョブまでスクロールしてタッチします。

5. 削除 にタッチします。

6. はい にタッチします。

横に 🔒 (ロック記号) が表示されているファイルを削除するには、PIN が必要です。「プライベートジョブ機能の使用」を参照してください。

6 印刷

この章では、基本的な印刷タスクの実行方法について説明します。

Windows プリンタ ドライバでのドライバ機能の使用

ソフトウェア プログラムから印刷するとき、製品機能の多くをプリンタ ドライバから利用できます。 プリンタ ドライバで利用できるすべての機能については、プリンタ ドライバのヘルプを参照してください。 このセクションでは、次の機能について説明します。

注記 通常、プリンタ ドライバおよびソフトウェア プログラムでの設定は、コントロール パネルの設定より優先されます。 ソフトウェア プログラムの設定は、一般に、プリンタ ドライバの設定より優先されます。

クイック設定の作成および使用

クイック設定を使用して現在のドライバの設定を保存すると、同じ設定を再利用できます。 クイック設定は、ほとんどのプリンタ ドライバのタブで利用可能です。 最高 25 個のプリント タスクのクイック設定を保存できます。

クイック設定の作成

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. 使用する印刷設定を選択します。
3. **[プリント タスクのクイック設定]** ボックスに、クイック設定に付ける名前を入力します。
4. **[保存]** をクリックします。

クイック設定の使用

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. 使用するクイック設定を **[プリントタスクのクイック設定]** ドロップダウン リストから選択します。
3. **[OK]** をクリックします。

注記 プリンタ ドライバのデフォルト設定を使用するには、**[プリントタスクのクイック設定]** ドロップダウン リストから **[印刷のデフォルト設定]** を選択します。

透かしの使用

透かしとは、文書の各ページの背景に「社外秘」などのように印刷される情報です。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[効果]** タブで、**[透かし印刷]** ドロップダウン リストをクリックします。
4. 使用する透かしをクリックします。 新規の透かしを作成するには、**[編集]** をクリックします。
5. 透かしを文書の最初のページにのみ表示する場合は、**[最初のページのみ]** をクリックします。
6. **[OK]** をクリックします。

透かしを削除するには、**[透かし印刷]** ドロップダウン リストで **[(なし)]** をクリックします。

文書サイズの変更

文書のサイズを変更するオプションでは、元のサイズに対するパーセンテージを指定して、文書を縮小または拡大します。 印刷サイズの変更にかかわらず、異なるサイズの用紙に文書を印刷するように選択することもできます。

文書サイズの縮小または拡大

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[効果]** タブで、**[% (元のサイズに対する比率)]** の隣に文書を縮小または拡大するパーセンテージを入力します。

   スクロール バーを操作してパーセンテージを調整することもできます。
4. **[OK]** をクリックします。

異なるサイズの用紙への文書の印刷

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[効果]** タブで **[文書を印刷する用紙]** をクリックします。
4. 印刷に使用する用紙サイズを選択します。
5. 文書のサイズを変更せずに、用紙サイズに収まるように印刷するには、**[用紙に合わせて調節]** オプションの*選択を解除*します。
6. **[OK]** をクリックします。

プリンタ ドライバからのユーザー定義用紙サイズの設定

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[用紙]** タブまたは **[用紙/品質]** タブで、**[ユーザー設定]** をクリックします。

4. **[ユーザー定義用紙サイズ]** ウィンドウで、ユーザー定義用紙サイズの名前を入力します。
5. 用紙サイズの長さと幅を入力します。 入力したサイズが小さすぎたり大きすぎたりする場合は、使用可能な最小または最大サイズに自動的に調整されます。
6. 必要に応じて、単位を変更するボタンをクリックし、ミリメートルまたはインチを選択します。
7. **[保存]** をクリックします。
8. **[閉じる]** をクリックします。 定義した用紙サイズは、保存した名前で用紙サイズのリストに表示されます。

別の用紙および印刷表紙の使用

印刷ジョブで最初のページのみを他のページとは異なる用紙に印刷するには、次の手順に従います。

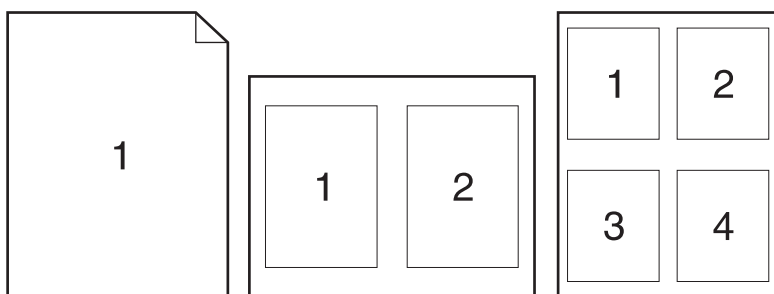
1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. **[用紙]** または **[用紙/品質]** タブで、最初のページの印刷ジョブに適した用紙を選択します。
3. **[別の用紙/表紙を使用]** をクリックします。
4. リスト ボックスで、別の用紙に印刷するページまたは表紙をクリックします。
5. 表紙または裏表紙を印刷する場合は、**[白紙または印刷済み表紙を追加]** も選択します。
6. **[ソース]** および **[タイプ]** リスト ボックスで、プリント ジョブの他のページ向けの適切な用紙タイプまたはソースを選択します。

注記 1 つの印刷ジョブのすべてのページに対して同じ用紙サイズを選択する必要があります。

最初のページの白紙印刷

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. **[用紙]** または **[用紙/品質]** タブで、**[別の用紙/表紙を使用]** をクリックします。
3. リスト ボックスで、**表紙** をクリックします。
4. **[白紙または印刷済み表紙を追加]** をクリックします。

1 枚の用紙への複数ページの印刷

1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
4. **[文書オプション]** のセクションで、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
5. ページ数が 1 より大きい場合は、必要に応じて **[ページ境界線]** および **[ページの順序]** オプションを選択します。
   - 印刷の向きを変更する必要がある場合は、**[仕上げ]** タブをクリックして、**[縦]** または **[横]** をクリックします。
6. **[OK]** をクリックします。 これで、選択したページ数を 1 枚の用紙に印刷するように設定されました。

用紙の両面への印刷

両面印刷ユニットが利用可能な場合は、ページの両面に自動的に印刷することができます。 両面印刷ユニットが利用できない場合は、片面を印刷した後に手差しで用紙をセットして両面を印刷することができます。

注記　プリンタ ドライバで **[両面印刷 (手差し)]** を利用できるのは、両面印刷ユニットが利用できない場合、または使用する印刷メディアのタイプが両面印刷ユニットでサポートされていない場合のみです。

本製品で自動または手差し両面印刷を設定するには、プリンタ ドライバのプロパティを開き、**[デバイスの設定]** タブをクリックして、**[インストール可能なオプション]** で適切な設定を選択します。

注記　**[デバイスの設定]** タブはソフトウェア プログラムからは利用できません。

注記　プリンタ ドライバのプロパティを開く手順は、使用しているオペレーティング システムによって異なります。 各オペレーティング システムでプリンタ ドライバのプロパティを開く方法については、プリンタ ドライバを開くを参照してください。 「デバイスの構成設定を変更するには」という項目をお読みください。

自動両面印刷の使用

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。 レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
   - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
   - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。

   注意　紙詰まりを防止するには、105g/m² (28 ポンドのボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。

2. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
3. **[レイアウト]** タブで **[両面印刷]** をクリックします。
   - 必要な場合は、**[上綴じオプション]** を選択してページの反転方法を変更するか、**[ブックレット レイアウト]** リスト ボックスで綴じ方オプションを選択します。
4. **[OK]** をクリックします。

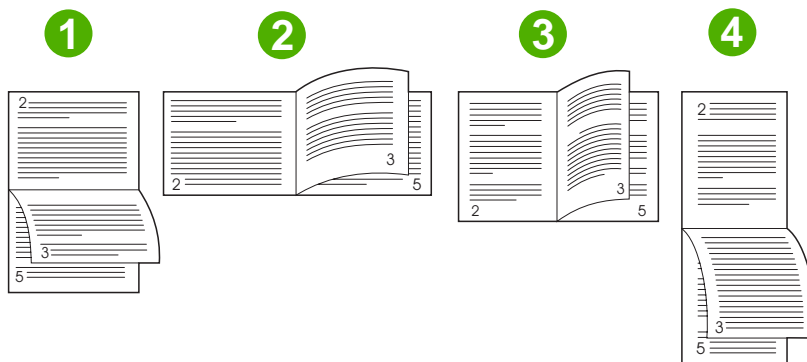
手動両面印刷

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。 レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
   - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
   - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。

   注意　紙詰まりを防止するには、105g/m² (28 ポンドのボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。

2. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
3. **[レイアウト]** タブで **[両面印刷 (手差し)]** を選択します。
4. **[OK]** をクリックします。
5. 印刷ジョブをプリンタに送信します。 印刷された用紙をトレイ 1 にセットし直して裏面を印刷する前に、ポップアップ ウィンドウに表示される指示に従います。
6. プリンタの設置場所へ移動します。 トレイ 1 から、印刷されていない用紙をすべて取り除きます。印刷されたほうの面を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。裏面はトレイ 1 から印刷する必要があります。
7. 指示が表示されたら、コントロール パネル ボタンを押して処理を続行します。

両面印刷のレイアウト オプション

両面印刷の向きには、次の 4 つのオプションがあります。 オプション 1 または 4 は、プリンタ ドライバで **[上綴じ]** がオンの場合のみ選択できます。

1. 長辺綴じ、横向き	1 ページごとに上下が逆に印刷されます。 見開きのページは、上から下に向かって読みます。
2. 短辺綴じ、横向き	各ページは同じ向きで印刷されます。 見開きのページは、上から下に向かって読みます。
3. 長辺綴じ、縦向き	デフォルト設定で、最も一般的に使用されるレイアウトです。 各ページは同じ向きで印刷されます。 見開きのページは、上から下に向かって読みます。
4. 短辺綴じ、縦向き	1 ページごとに上下が逆に印刷されます。 見開きのページは、上から下に向かって読みます。

[サービス] タブの使用

製品がネットワークに接続されている場合は、**[サービス]** タブを使用して、製品およびサプライ品のステータス情報を取得します。 **[デバイスおよびサプライ品アイコン]**をクリックして、HP 内蔵 Web サーバの **[デバイス ステータス]** ページを開きます。 このページには、製品の最新のステータス、各サプライ品の残り寿命のパーセンテージおよびサプライ品の注文についての情報が表示されます。 詳細については、「内蔵 Web サーバの使用」を参照してください。

Macintosh プリンタ ドライバでのドライバ機能の使用

ソフトウェア プログラムから印刷する場合、プリンタ機能の多くはプリンタ ドライバから使用できます。 プリンタ ドライバで利用できるすべての機能については、プリンタ ドライバのヘルプを参照してください。 このセクションでは、次の機能について説明します。

- プリセットの作成および使用
- 表紙の印刷
- 1 枚の用紙への複数ページの印刷
- 用紙の両面印刷

注記　通常、プリンタ ドライバおよびソフトウェア プログラムでの設定は、コントロール パネルの設定より優先されます。 ソフトウェア プログラムの設定は、一般に、プリンタ ドライバの設定より優先されます。

プリセットの作成および使用

プリセットは、現在のドライバ設定を再利用できるよう保存しておくために使用します。

プリセットの作成

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. 印刷設定を選択します。
3. **[プリセット]** ボックスで **[別名で保存...]** をクリックし、プリセットの名前を入力します。
4. **[OK]** をクリックします。

プリセットの使用

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. **[プリセット]** メニューで、使用するプリセットを選択します。

注記　プリンタ ドライバのデフォルト設定を使用するには、**[標準]** プリセットを選択します。

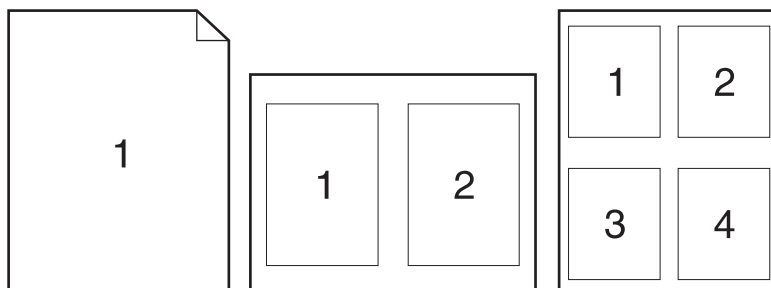
表紙の印刷

「社外秘」などのメッセージを表紙に印刷できます。

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. **[表紙]** または **[用紙/品質]** ポップアップ メニューで、表紙を **[書類の前]** または **[書類の後]** のどちらに印刷するかを選択します。
3. **[表紙の種類]** ポップアップ メニューで、表紙に印刷するメッセージを選択します。

注記　空白の表紙を印刷するには、**[表紙の種類]** で **[標準]** を選択します。

1 枚の用紙への複数ページの印刷

1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。 この機能は、ドラフト ページを印刷する際のコスト削減に役立ちます。

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. **[レイアウト]** ポップアップ メニューをクリックします。
3. **[ページ数/枚]** の横で、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
4. **[レイアウト方向]** の横で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
5. **[境界線]** の横で、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。

用紙の両面印刷

両面印刷ユニットが利用可能な場合は、ページの両面に自動的に印刷することができます。 それ以外の場合は、片面を印刷した後に手差しで用紙をセットして両面を印刷することができます。

注意　紙詰まりを防止するには、105g/m² (28 ポンドのボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。

自動両面印刷の使用

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。 レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
   - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
   - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
2. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
3. **[レイアウト]** ポップアップ メニューを開きます。

4. **[両面印刷]** の横で、**[長辺綴じ (標準)]** または **[短辺綴じ]** のいずれかを選択します。
5. **[印刷]** をクリックします。

手動両面印刷

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。 レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
   - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
   - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。

   注意　紙詰まりを防止するには、105g/m² (28 ポンドのボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。

2. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
3. **[仕上げ]** ポップアップ メニューで、**[手動両面印刷]** オプションを選択します。

   注記　**[手動両面印刷]** オプションが有効になっていない場合は、**[裏面の手差し印刷]** を選択します。

4. **[印刷]** をクリックします。 印刷された用紙をトレイ 1 にセットし直して裏面を印刷する前に、画面上のポップアップ ウィンドウに表示される指示に従います。
5. プリンタの設置場所に移動して、トレイ 1 から、印刷されていない用紙をすべて取り除きます。
6. トレイ 1 で、印刷されたほうの面を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。裏面はトレイ 1 から印刷する*必要が*あります。
7. 指示が表示される場合、適切なコントロール パネル ボタンを押して処理を続行します。

印刷ジョブのキャンセル

印刷要求は、プリンタのコントロール パネルまたはソフトウェア プログラムから取り消すことができます。 ネットワーク接続されたコンピュータから印刷要求を取り消す手順については、オンライン ヘルプの使用ネットワーク ソフトウェアに関するトピックを参照してください。

注記　印刷ジョブをキャンセルしてからすべての印刷が解除されるまでにはしばらく時間がかかります。

コントロール パネルからの現在の印刷ジョブの取り消し

1. コントロール パネルで 停止 を押します。
2. タッチスクリーンの **[デバイスは一時停止しています]** 画面で、**[現行のジョブをキャンセル]** にタッチします。

注記　印刷ジョブの印刷処理がかなり進んでいる場合は、ジョブをキャンセルできないことがあります。

ソフトウェア プログラムから現在の印刷ジョブの取り消し

しばらくの間、印刷ジョブをキャンセルするためのオプションがあるダイアログ ボックスが画面に表示されます。

複数の印刷要求がユーザー自身のソフトウェアからデバイスに送信されている場合、要求は印刷キュー (Windows プリント マネージャなど) 内で待機状態になります。 コンピュータから印刷要求をキャンセルする手順については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

印刷ジョブが印刷キュー (コンピュータのメモリ) または印刷スプーラ (Windows 2000 または XP) 内で待機状態になっている場合は、その場所で印刷ジョブを削除します。

[スタート] を選択し、**[プリンタ]** をクリックします。 デバイス アイコンをダブルクリックし、プリント スプーラを開きます。 キャンセルする印刷ジョブを選択し、Delete キーを押します。 印刷ジョブがキャンセルされない場合は、コンピュータをシャットダウンして再起動する必要があります。

7 コピー

このデバイスはスタンドアロンのウォークアップ コピー機として機能します。 印刷システム ソフトウェアを使用しているコンピュータにインストールしたり、コピーのためにコンピュータの電源を入れる必要はありません。 コピーの設定はコントロール パネルで調整できます。 また、文書フィーダまたはスキャナのガラス面を使用して原稿をコピーすることもできます。 ジョブのコピー、印刷、デジタル送信の各処理は同時に実行できます。

ここでは、次に示すコピーの方法とコピー設定の変更方法について説明します。

デバイスのコピー機能を使用する前に、基本的なコントロール パネル情報を確認することをお勧めします。 詳細については、「コントロール パネル」を参照してください。

コピー画面の使用

ホーム画面で コピー を選択して、コピー画面を表示します。図 7-1 コピー画面はコピー画面を示しています。ここで表示されるのは最初の 6 つのコピー機能だけです。その他のコピー機能を表示するには、その他のオプション を選択します。

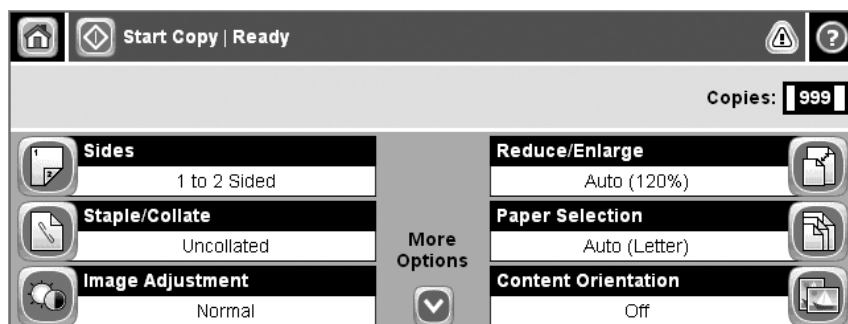



図 7-1 コピー画面

デフォルトのコピー オプションの設定

[管理] メニューを使用して、すべてのコピー ジョブに適用されるデフォルト設定を指定することができます。ほとんどの設定は、必要に応じて個々のジョブに対して無効にすることができます。そのジョブが完了すると、プリンタがデフォルト設定に戻ります。

1. ホーム画面で、スクロールして 管理 を選択します。
2. デフォルト ジョブ オプション を選択してから、デフォルト コピー オプション を選択します。
3. 複数のオプションを使用できます。すべてのオプションについて、または一部のオプションのみについて、デフォルト設定を変更することができます。

   各オプションの詳細については、コピー設定の調整を参照してください。内蔵されているヘルプ システムを使用して、各オプションの説明を見ることもできます。画面の右上の ヘルプ ボタン (?) を押してください。
4. [管理] メニューを終了するには、画面の左上の ホーム ボタン (⌂) を押してください。

基本的なコピー方法

ここでは基本的なコピー方法について説明します。

スキャナ ガラスからのコピー

スキャナ ガラスを使用して、小さく薄いメディア (60 g/m^2 未満または 7.25kg 未満) または厚いメディア (105 g/m^2 以上または 12.7kg 以上) のコピーを 999 部までとることができます。たとえば、領収証、新聞の切り抜き、写真、古い文書、すりきれた文書、書物などのメディアです。

印刷面を下にしてガラスの上に置いてください。原稿の端をガラスの左上隅に合わせます。

デフォルトのコピー オプションを使用してコピーする場合は、コントロール パネルの数字キーパッドを使用してコピーの部数を選択し、スタート を押します。カスタマイズ設定を使用する場合は、コピー を選択します。設定を指定して、スタート を押します。カスタマイズ設定の使用方法の詳細については、コピー設定の調整を参照してください。

文書フィーダからのコピー

文書フィーダを使用して最大 50 ページまでの文書のコピーを 999 部までとることができます (ページの厚さによって異なります)。印刷表を上にして文書を文書フィーダにセットします。

デフォルトのコピー オプションを使用してコピーする場合は、コントロール パネルの数字キーパッドを使用してコピーの部数を選択し、スタート を押します。カスタマイズ設定を使用する場合は、コピー を選択します。設定を指定して、スタート を押します。カスタマイズ設定の使用方法の詳細については、コピー設定の調整を参照してください。

別のコピー ジョブを開始する前に、文書フィーダの給紙トレイの下にある文書フィーダ排紙ビンから原稿を取り除いて、適切な排紙ビンからコピーを取り除いてください。

コピー設定の調整

このデバイスにはコピー出力を最適化するための機能が用意されています。これらの機能はすべて コピー 画面から使用できます。

コピー 画面はいくつかのページで構成されています。第 1 ページで、その他のオプション を選択して次のページに進みます。次に、下矢印または上矢印ボタンを選択して、他のページにスクロールします。

オプションの使い方の詳細については、オプションを選択してから、画面の右上のヘルプ (?) ボタンを選択します。コピー オプションの概要を以下の表に示します。

注記　システム管理者がデバイスを設定した方法によっては、一部のオプションが表示されないことがあります。表のオプションは表示される順序で記載されています。

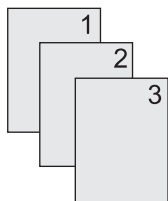
オプション名	説明
面	原稿の片面を印刷するか両面を印刷するか、およびコピーを片面コピーするか両面コピーするかを指定します。
ステイプル/丁合い または 丁合い	オプションの HP ステイプラ/スタッカ/セパレータを取り付けた場合に、ステイプル/丁合い オプションを使用できます。この機能では、コピーの複数のページをステイプラで留めて組み合わせる際のオプションを設定します。 オプションの HP ステイプラ/スタッカ/セパレータを取り付けていない場合は、丁合い オプションを使用できます。この機能では、コピーしたページの各セットを原稿と同じ順序で組み合わせることができます。
用紙の選択	使用するサイズとタイプの用紙をセットするトレイを選択します。
イメージ調整	コピーの全体的な品質が向上します。たとえば、濃さと鮮明度を調整し、背景のクリーンアップ 設定を使用して背景から不鮮明な画像を取り除いたり、明るい背景色を取り除くことができます。
内容の向き	原稿の内容を配置する方向 (縦または横) を指定します。
排紙ビン	コピーの排紙ビンを選択します。
テキスト/画像の最適化	特定の種類の内容の出力を最適化します。テキストや印刷された画像の出力を最適化したり、手動で値を調整することができます。
用紙あたりのページ数	複数のページを 1 枚の用紙にコピーできます。
原稿のサイズ	原稿の用紙サイズを指定します。
ブックレット形式	2 枚以上のページを 1 枚の用紙にコピーして、用紙を中央で折って小冊子を作ることができます。
最小マージン	原稿がページの端近くに印刷されている場合に、コピーの縁に影が発生することを防止します。この機能を 縮小/拡大 機能と併用すれば、ページ全体を確実にコピーできます。
ジョブ作成	複数のセットの原稿を 1 つのコピー ジョブにまとめます。文書フィーダーに一度にセットできる枚数よりコピーする原稿のページ数が多い場合にも、この機能を使用します。

両面文書のコピー

両面文書を手動または自動でコピーできます。

両面文書の手動コピー

手動の場合にはコピーが片面に出力されるため、手動で組み合わせる必要があります。

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上部から文書フィーダに給紙されるようにします。
2. コピー開始 を選択します。奇数ページがコピーされ出力されます。
3. 文書フィーダの排紙トレイから用紙を取って、それを再度セットします。最後のページの表面を上に向けて、ページの上部から文書フィーダに給紙されるようにします。
4. コピー開始 を選択します。偶数ページがコピーされ出力されます。
5. コピーされた奇数ページと偶数ページを組み合わせます。

両面文書の自動コピー (両面印刷モデルのみ)

デフォルトのコピー設定は片面から片面です。次の手順で設定を変更して、両面文書から、または両面文書へのコピーができるようにしてください。

片面文書から両面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上部から給紙されるようにします。
2. コントロール パネルで コピー を選択します。
3. 面 を選択します。
4. **[片面の文書を両面コピー]** を選択します。
5. OK を選択します。
6. コピー開始 を選択します。

両面文書から両面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上部から給紙されるようにします。

   注記　フラットベッド スキャナ ガラスから両面コピーをとることはできません。

2. コントロール パネルで コピー を選択します。

3. 面 を選択します。

4. **[両面の文書を両面コピー]** を選択します。

5. OK を選択します。

6. コピー開始 を選択します。

両面文書から片面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上部から給紙されるようにします。

2. コントロール パネルで コピー を選択します。

3. 面 を選択します。

4. **[両面の文書を片面コピー]** を選択します。

5. OK を選択します。

6. コピー開始 を選択します。

混合サイズの原稿のコピー

用紙の 1 辺の長さが同じであるならば、異なるサイズの用紙に印刷された原稿をコピーすることができます。たとえば、レター サイズとリーガル サイズを組み合わせたり、A4 と A5 サイズを組み合わせたりすることができます。

1. 幅がすべて同じになるように原稿をそろえます。
2. 印刷面を上にして文書フィーダにセットし、両方の用紙ガイドを原稿に合わせて調整します。
3. ホーム画面で コピー を選択します。
4. 原稿のサイズ を選択します。

注記 最初の画面にこのオプションが表示されない場合は、オプションが表示されるまで その他のオプション を選択します。

5. レター/リーガル混合 を選択し、OK を選択します。
6. コピー開始 を選択します。

コピーの丁合い設定の変更

複数のコピーを自動的にセットにまとめるようにデバイスを設定できます。たとえば、3 ページの原稿のコピーを 2 部作成する場合、自動丁合いが有効になっているとページが 1、2、3、1、2、3 の順に出力されます。自動丁合いが無効の場合は、ページが 1、1、2、2、3、3 の順に出力されます。

自動丁合いを使用するには、原稿のサイズがメモリの容量内である必要があります。そうでない場合はコピーが 1 部しか作成されず、変更を通知するメッセージが表示されます。その場合は、次のいずれかの方法でジョブを完了してください。

- ジョブを少ないページで構成される小さいジョブに分割する。
- 一度に 1 部ずつコピーをとる。
- 自動丁合いを無効にする。

選択した丁合いの設定は、設定を変えるまですべてのコピーに適用されます。デフォルトの設定では、コピーの自動丁合いは オン になっています。

1. コントロール パネルで コピー を選択します。
2. ステイプル/丁合い を選択します。
3. 丁合い を選択します。

写真や本のコピー

写真のコピー

注記　写真は文書フィーダではなくフラットベッド スキャナでコピーしてください。

1. カバーを持ち上げてフラットベッド スキャナの上に写真を置きます。絵がある面を下にして、写真の左上隅をガラスの左上隅に合わせます。
2. 静かにカバーを閉じます。
3. コピー開始 を選択します。

本のコピー

1. カバーを持ち上げてフラットベッド スキャナの上に本を置きます。コピーするページをガラスの左上隅に合わせます。
2. 静かにカバーを閉じます。
3. カバーをそっと押して、本をフラットベッド スキャナの表面に押し付けます。
4. コピー開始 を選択します。

ジョブ作成を使用したコピー ジョブの結合

ジョブ作成機能を使用して、複数のスキャンから 1 つのコピー ジョブを作成できます。文書フィーダまたはスキャナ ガラスを使用できます。最初のスキャンの設定がその後のスキャンにも使用されます。

1. コピー を選択します。
2. スクロールして ジョブ作成 を選択します。
3. ジョブ作成オン を選択します。
4. OK を選択します。
5. 必要に応じて、コピー オプションを選択します。
6. コピー開始 を選択します。ページをスキャンするたびに、ページをセットするように求めるメッセージがコントロール パネルに表示されます。
7. ジョブにまだページがある場合は、次のページをセットして コピー開始 を選択します。

   ジョブにそれ以上ページがない場合は、**[終了]** を選択して出力します。

注記 ジョブ作成では、文書フィーダを使用して文書の最初のページをスキャンした場合は、その文書のすべてのページを文書フィーダを使用してスキャンする必要があります。文書の最初のページをスキャナ ガラスを使用してスキャンした場合は、その文書のすべてのページをスキャナ ガラスを使用してスキャンする必要があります。

コピー ジョブのキャンセル

現在実行中のコピー ジョブをキャンセルするには、コントロール パネルで 停止 を選択します。これにより、デバイスが一時停止します。次に 現行ジョブをキャンセル を選択します。

注記　コピー ジョブをキャンセルしたら、フラットベッド スキャナまたは自動文書フィーダから文書を取り除いてください。

8　スキャンと電子メールの送信

このデバイスには、カラー スキャン機能とデジタル送信機能があります。 コントロール パネルを使用して、白黒文書またはカラー文書をスキャンして、電子メールの添付書類として電子メール アドレス宛てに送信できます。 デジタル送信を使用するには、デバイスをローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続します。 デバイスは LAN に直接接続します。

注記　このデバイスはカラーでコピーまたは印刷を行うことはできませんが、カラー画像をスキャンして電子メールで送信することはできます。

ここでは、次の項目について説明します。

電子メールの設定

文書を電子メールで送信する前に、電子メール用にデバイスを設定します。

注記 また、HP が推奨する内蔵 Web サーバを使用して電子メール設定を構成することもできます。 スキャン電子メール機能の設定に関するヒントと詳細な情報については、デバイス CD の『*Embedded Web Server User Guide*』を参照してください。

機能の設定方法、問題の解決方法、このデバイスの使用方法の詳細については、「www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp」を参照してください。

対応プロトコル

HP LaserJet M3027 MFP モデルは、Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) に対応しています。 HP LaserJet M3035 MFP モデルは、SMTP と Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) に対応しています。

SMTP

- SMTP は、電子メールを送受信するプログラム間の対話を定義する規則群です。 このデバイスで電子メールに文書を送信するには、有効な SMTP IP アドレスがある LAN に接続する必要があります。 SMTP サーバも、 インターネット アクセスできる必要があります。
- LAN 接続を使用している場合、システム管理者に SMTP サーバの IP アドレスを問い合わせます。 DSL 接続を使用している場合、サービス プロバイダに SMTP サーバの IP アドレスを問い合わせます。

LDAP

- LDAP は、情報データベースにアクセスするために使用されます。 LDAP を使用している場合、電子メール アドレスのグローバル リストが検索されます。 電子メール アドレスを入力し始めると、自動入力機能が使用され、入力した文字に一致する電子メール アドレスの一覧が LDAP から取得されます。 追加の文字を入力すると、一致する電子メール アドレス数は少なくなります。
- デバイスは LDAP に対応していますが、電子メールの送信には LDAP への接続は必要ありません。

注記 LDAP 設定を変更する場合は、内蔵 Web サーバを使用する必要があります。 詳細については、「内蔵 Web サーバの使用」またはデバイス CD の『『*Embedded Web Server User Guide*』』を参照してください。

電子メールのサーバ設定

SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名については、ネットワーク管理者またはインターネット サービス プロバイダ (ISP) に問い合わせてください。 または、デバイスのコントロール パネルからも IP アドレスを確認できます (「[情報ページ] の使用」を参照してください)。 手動で IP アドレスを設定し、テストするには、次の手順で操作します。

SMTP ゲートウェイ アドレスの設定

1. [ホーム] 画面の 管理 にタッチします。
2. 初期セットアップ にタッチします。

3. 電子メール セットアップ にタッチし、SMTP ゲートウェイ にタッチします。

4. SMTP ゲートウェイ アドレス (IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名) を入力します。 IP アドレスまたはドメイン名がわからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

5. OK にタッチします。

SMTP 設定のテスト

1. [ホーム] 画面の 管理 にタッチします。

2. 初期セットアップ にタッチします。

3. 電子メール セットアップ にタッチし、送信ゲートウェイのテスト にタッチします。

   設定が正しい場合、コントロール パネルのディスプレイに **[Gateways OK (ゲートウェイ OK)]** が表示されます。

最初のテストが成功してから、デジタル送信機能を使用して自分宛てに電子メールを送信します。 電子メールを受信した場合、デジタル送信機能は適切に設定されています。

電子メールを受信しない場合、デジタル送信ソフトウェアの問題を解決するために、次の操作を実行します。

- 設定ページを印刷します。 SMTP ゲートウェイのアドレスが正しいことを確認します。

- ネットワークが正常に動作していることを確認します。 コンピュータから電子メールを自分宛てに送信します。 電子メールを受信した場合、ネットワークは正常に動作しています。 電子メールを受信しない場合、ネットワーク管理者またはインターネット サービス プロバイダ (ISP) に相談してください。

ゲートウェイの検索

SMTP ゲートウェイのアドレスがわからない場合、次のいずれかの方法でゲートウェイを検索します。

デバイスのコントロール パネルから SMTP ゲートウェイの検索

1. [ホーム] 画面の 管理 にタッチします。

2. 初期セットアップ にタッチします。

3. 電子メール セットアップ にタッチし、送信ゲートウェイの検索 にタッチします。

   タッチスクリーンには、検出された SMTP サーバのリストが表示されます。

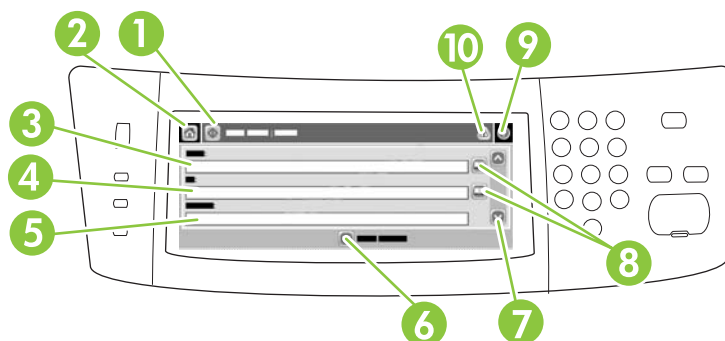
4. 適切な SMTP サーバを選択し、OK にタッチします。

電子メール プログラムから SMTP ゲートウェイを検索

ほとんどの電子メール プログラムは、電子メール メッセージの送信するときに SMTP と LDAP を使用しているため、電子メール プログラムの設定を参照して、SMTP ゲートウェイや LDAP サーバのホスト名を見つけることができます。

注記　インターネット サービス プロバイダ (ISP) を使用している場合、ゲートウェイの検索機能で SMTP の有効なサーバを検出できない可能性があります。 ISP の電子メール サーバ アドレスについては、ISP に問い合わせてください。

[電子メール送信] 画面の使用

タッチスクリーンを使用して、[電子メール送信] 画面のオプションを移動できます。

1	電子メール送信 ボタン	このボタンにタッチすると、文書がスキャンされ、電子メール ファイルが指定して電子メール アドレスに送信されます。
2	[ホーム] ボタン	このボタンにタッチすると、[ホーム] 画面が開きます。
3	送信元： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。自分の電子メール アドレスを入力します。 システム管理者の設定によっては、ここにデフォルトのアドレスが自動的に入力される場合もあります。
4	宛先： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。スキャンした文書を送信する相手の電子メール アドレスを入力します。
5	件名： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。件名を入力します。
6	その他のオプション ボタン	このボタンにタッチすると、現在のスキャン ジョブの電子メール設定を変更できます。
7	スクロール バー	スクロール バーを使用して、CC:、BCC:、メッセージ、ファイル名 の各フィールドを表示し、設定します。 どのフィールドをタッチしていもキーボードが表示されるので、必要な情報を入力します。
8	アドレス帳のボタン	これらのボタンを押すと、アドレス帳を使用して、宛先：、CC:、BCC: の各フィールドを作成できます。 詳細については、「アドレス帳の使用」を参照してください。
9	[ヘルプ] ボタン	コントロール パネルの説明については、このボタンにタッチします。 詳細については、「コントロール パネル」を参照してください。
10	[エラー警告] ボタン	ステータス行領域にエラーまたは警告がときにのみ、このボタンが表示されます。 タッチするとポップアップ画面にエラーや警告を解決するときに役立つ情報が表示されます。

基本的な電子メール機能の実行

このデバイスの電子メール機能には、次の利点があります。

- 複数の電子メール アドレスに文書を送信して時間と配信コストを節約します。
- 白黒またはカラーでファイルを配信します。 ファイルは、受信ユーザーが操作できる異なるファイル形式で送信できます。

電子メール機能を使用すると、文書をデバイス メモリにスキャンして、1 つまたは複数の電子メール アドレス宛てに添付ファイルとして送信できます。 デジタル文書は、.TIFF や .JPG などの画像形式で送信できます。画像形式を選択することで、受信側の要件に合うプログラムで文書ファイルを操作できます。 文書を元の原稿に近い品質で受け取り、印刷、保存、または転送することができます。

電子メール機能を使用するには、インターネット アクセスできる有効な SMTP ローカル エリア ネットワークにデバイスを接続する必要があります。

文書のセット

ガラス面または ADF を使用して文書をスキャンできます。 ガラス面と ADF は、レター、エグゼクティブ、A4、A5 の各サイズの原稿に対応しています。 また、ADF はリーガル サイズの原稿にも対応します。 それよりも小さな原稿、レシート、変則的な形の文書、破損した文書、ステイプル留めされた文書、折り曲げた跡がある文書、写真をスキャンする場合は、ガラス面を使用してください。 ADF を使用すると、複数ページの文書を簡単にスキャンできます。

文書の送信

原稿は白黒またはカラーでスキャンできます。 デフォルト設定を使用するか、スキャン設定とファイル形式を変更することができます。 デフォルト設定は次のとおりです。

- カラー
- PDF (電子メールの添付ファイルを表示するには、Adobe Acrobat® のビューアが必要です)

現在のジョブ設定を変更する方法については、「現在のジョブの電子メール設定を変更」を参照してください。

文書の送信

1. 文書を下向きにしてガラスに上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. ホーム画面の 電子メール にタッチします。
3. メッセージが表示されたときは、ユーザー名とパスワードを入力します。
4. 送信元 : 、宛先 : 、件名 : の各フィールドに入力します。 下にスクロールし、必要に応じて CC:、BCC:、メッセージ の各フィールドに入力します。 ユーザー名や他のデフォルト情報が 送信元 : フィールドに表示される場合があります。 この場合、変更できないこともあります。
5. (オプション) 送信する文書の設定 （原稿サイズなど） を変更するには、その他のオプション にタッチします。 両面の文書を送信する場合、面 を選択し、両面の原稿についてのオプションを選択します。
6. スタート を押すと送信が開始されます。
7. 終了したら、原稿をスキャナのガラス面または ADF から取り除きます。

自動入力機能の使用

[電子メールの送信] 画面で 宛先：、CC:、または 送信元： の各フィールドに文字を入力すると、自動入力機能がアクティブになります。 キーボード画面で必要なアドレスや名前を入力すると、自動的にアドレス帳リストが検索され、最初に一致したアドレスまたは名前が自動入力されます。 Enter にタッチすると名前の入力が終了します。または、自動入力で目的の項目が見つかるまで、名前の入力を続けます。 文字を入力してもリストに一致する入力がない場合、自動入力テキストは表示されません。これは、アドレス帳にないアドレスを入力していることを示します。

アドレス帳の使用

デバイスのアドレス帳機能を使用して、受信者リストに電子メールを送信できます。 アドレス リストの設定方法については、システム管理者に問い合わせてください。

注記　また、内蔵 Web サーバを使用して、電子メール アドレス帳の作成と管理を行うこともできます。 詳細については、デバイス CD の『*Embedded Web Server User Guide*』を参照してください。

受信者リストの作成

1. ホーム画面の 電子メール にタッチします。
2. 以下のいずれかの手順を実行します。
   - 宛先： にタッチしてキーボード画面を開き、受信者の電子メール アドレスを入力します。 複数の電子メールを入力する場合はセミコロンで区切るか、タッチスクリーンの Enter にタッチします。
   - アドレス帳を使用します。
     a. 電子メール送信画面のアドレス帳ボタン () にタッチすると、アドレス帳が開きます。
     b. スクロール バーを使用してアドレス帳の使用するエントリに移動します。 矢印を押し続けると、リストのスクロール速度が速くなります。
     c. 受信者を選択して名前をハイライトし、追加ボタン () にタッチします。

        また、画面の上部にあるドロップダウン リストにタッチして配信リストを選択し、すべて にタッチするか、ドロップダウン リストの ローカル にタッチしてローカルのリストから受信者を追加します。 使用する名前を選択してハイライトし、 にタッチすると、受信者リストに名前が追加されます。

        リストから受信者を削除するには、削除する受信者を選択してハイライトし、削除ボタン () にタッチします。
3. 受信者リストの名前はキーボード画面のテキスト行に表示されます。 必要に応じて、キーボードで電子メール アドレスを入力してアドレス帳にない受信者を追加できます。 受信者リストの設定が終わったら、OK にタッチします。
4. OK にタッチします。
5. 必要に応じて、電子メール送信画面の CC: フィールドと 件名： フィールドに入力します。 宛先： テキスト行の下矢印にタッチすると、受信者リストを確認できます。
6. スタート を押します。

ローカルのアドレス帳の使用

ローカルのアドレス帳によく使用する電子メール アドレスを保存できます。 HP デジタル送信ソフトウェアにアクセスする同じサーバを使用するデバイスであれば、ローカルのアドレス帳を共有できます。

送信元、宛先：、CC:、BCC: の各フィールドを入力するときにアドレス帳を使用できます。 アドレス帳のアドレスは追加または削除することができます。

アドレス帳を開くには、アドレス帳ボタン (📖) にタッチします。

ローカルのアドレス帳に電子メール アドレスを追加する

1. ローカル にタッチします。
2. ➕ にタッチします。
3. (オプション) 名前 フィールドにタッチし、表示されるキーボードで新しいエントリの名前を入力します。 OK にタッチします。

   この名前は電子メール アドレスの別名です。 別名を入力しないと、電子メール アドレスが別名として表示されます。
4. アドレス フィールドにタッチし、表示されるキーボードで新しいエントリの電子メール アドレスを入力します。 OK にタッチします。

ローカルのアドレス帳から電子メール アドレスを削除する

不要な電子メール アドレスは削除できます。

注記 電子メール アドレスを*変更*するには、ローカルのアドレス帳からそのアドレスを削除してから、新規のアドレスとして修正したアドレスを追加します。

1. ローカル にタッチします。
2. 削除する電子メール アドレスにタッチします。
3. ✖ にタッチします。

   以下の確認メッセージが表示されます。 **[選択したアドレスを削除してよろしいですか？]**
4. 電子メール アドレスを削除する場合は はい にタッチし、アドレス帳画面に戻るには いいえ にタッチします。

現在のジョブの電子メール設定を変更

現在の印刷ジョブについて、次の電子メール設定を変更するには、その他のオプション ボタンを使用します。

ボタン	説明
文書ファイル タイプ	文書のスキャン後に作成されたファイルのタイプを変更するには、このボタンにタッチします。
出力品質	スキャンするファイルの印刷品質を上下するには、このボタンにタッチします。 印刷品質を高くすると、ファイル サイズも大きくなります。
解像度	スキャン解像度を変更するには、このボタンにタッチします。 解像度を高くすると、ファイル サイズも大きくなります。
カラー/黒	文書をカラーとモノクロのどちらでスキャンするかを指定するには、このボタンにタッチします。
原稿の面数	原稿が片面か両面かを指定するには、このボタンにタッチします。
内容の向き	原稿の向きを縦または横に指定するには、このボタンにタッチします。
原稿のサイズ	このボタンにタッチして、文書のサイズをレター、A4、リーガル、またはレター/リーガル混合から選択します。
テキスト/画像の最適化	スキャンしている文書のタイプによって、スキャン手順を変更するには、このボタンにタッチします。
ジョブ作成	[ジョブ作成] モードを有効または無効にするには、このボタンにタッチします。有効にすると、小さいサイズのスキャン ジョブを複数スキャンして、1 つのファイルで送信できます。
イメージ調整	濃さと鮮明度の設定を変更するとき、または原稿にある背景のごみをクリーニングするには、このボタンにタッチします。

フォルダにスキャン

注記　このデバイス機能は、HP LaserJet M3035 MFP モデルのみが対応しています。

システム管理者がこの機能を有効にしている場合、ファイルをスキャンしてネットワーク上のフォルダに送信できます。 送信先フォルダの対応オペレーティング システムには、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Novell があります。

注記　このオプションを使用するときや、特定のフォルダに送信するときに、ユーザー名とパスワードの入力を求められることもあります。 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

1. 文書を下向きにしてガラスに上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の **[ネットワーク フォルダ]** をタッチします。
3. [クイック アクセス フォルダ] で文書を保存するフォルダを選択します。
4. **[ファイル名]** フィールドにタッチすると、キーボードのポップアップ画面が表示されます。この画面でファイル名を入力します。
5. **[ネットワーク フォルダに送信]** にタッチします。

ワークフローの排紙先にスキャン

注記　このデバイス機能は、オプションのデジタル送信ソフトウェア製品で使用できます。また、HP LaserJet M3035 MFP モデルでのみ対応しています。

システム管理者がワークフロー機能を有効にしている場合、文書をスキャンして、カスタムのワークフローの排紙先に送信できます。 ワークフローの排紙先を使用すると、指定したネットワークまたはファイル転送プロトコル (FTP) にスキャンした文書と共に追加情報を送信できます。 追加情報の入力を求めるメッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。 システム管理者もワークフローの排紙先にプリンタを指定することができます。この場合、ユーザーが文書をスキャンして、ネットワーク プリンタに直接送信して印刷できます。

1. 文書を下向きにしてガラスに上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の **[ワークフロー]** をタッチします。
3. スキャンの排紙先を選択します。
4. テキスト フィールドにファイルに追加するデータを入力し、**[送信ワークフロー]** にタッチします。

9 ファックス

HP LaserJet M3027x MFP モデルと HP LaserJet M3035xs MFP モデルにはファックス機能があります。

デバイスのファックス機能の設定方法と、ファックス機能の使用方法の詳細については、HP LaserJet M3027x MFP と HP LaserJet M3035xs MFP のデバイス CD に格納されている、このファックス ガイドを参照してください。

この章では、次の項目について説明します。

- アナログ ファックス機能
- デジタル ファックス

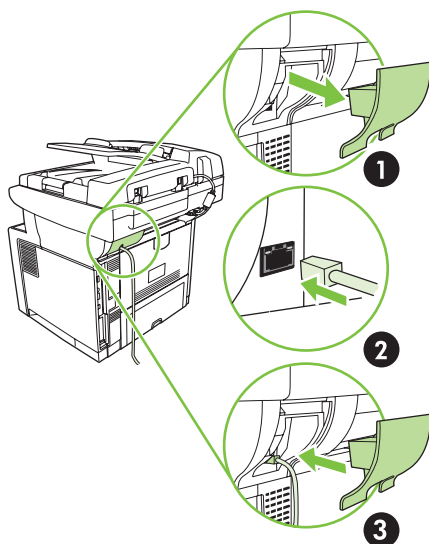
アナログ ファックス機能

HP LaserJet M3027x MFP モデルまたは HP LaserJet M3035xs MFP モデルは、スタンドアロンのファックス機として機能します。

ファックスを電話回線に接続

ファックスを電話回線に接続するときは、ファックスに使用する電話回線が他のデバイスに使用されないファックス専用の回線であることを確認します。 さらに、この回線がアナログ回線であることを確認します。デジタル PBX システムに接続すると、ファックス機能が正しく動作しません。 電話回線がアナログかデジタルかがわからない場合、電話会社に問い合わせてください。

注記 ファックスが正常に機能するように、このデバイスに付属する電話コードを使用することをお勧めします。

1. デバイスからファックスのジャック カバーを外し、ファックスのジャックに電話コードの一端を接続します。 カチッと音がするまだコネクタを差し込み、ファックスのジャック カバーを交換します。

2. 壁にある電話のジャックにコードのもう一端を接続します。 カチッと音がするか、適切に設置されるまで、コネクタを差し込みます。 国/地域によってコネクタのタイプは異なるため、コネクタを差し込んでもカチッと音がしないことがあります。

ファックス機能を設定および使用する

ファックス機能を使用する前に、[コントロール パネル] メニューで機能を設定する必要があります。たとえば、次の情報を指定する必要があります。

- 日時
- 場所
- ファックス ヘッダー

ファックス アクセサリの設定と使用、およびファックス アクセサリの問題のトラブルシューティングの詳細については、ファックス アクセサリに付属の『*HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザー ガイド*』を参照してください。

デジタル ファックス

HP Digital Sending Software (オプション) をインストールしている場合は、デジタル ファックスを使用できます。このソフトウェアの注文の詳細については、www.hp.com/go/LJM3027_software または www.hp.com/go/LJM3035_software にアクセスしてください。

デジタル ファックスでは、デバイスを電話線に直接接続する必要がありません。代わりに、デバイスは次の 3 つの方法のいずれかによってファックスを送信します。

- **LAN ファックス**：サードパーティーのファックス事業者を介してファックスを送信します。
- **Microsoft Windows 2000 ファックス**：簡便なゲートウェイ ファックスとしてコンピュータが使用するファックス モデムおよびデジタル送信モジュールです。
- **インターネット ファックス**：インターネット ファックス事業者を介してファックスを処理します。ファックスは従来のファックス機に配信されるか、またはユーザーの電子メールに送信されます。

デジタル ファックスの使用の詳細については、HP Digital Sending Software に付属のマニュアルを参照してください。

10 デバイスの管理と保守

この章では、デバイスの管理方法と保守方法について説明します。

[情報ページ] の使用

コントロール パネルから、デバイスとその現在の設定についての詳細を確認するページを印刷できます。 情報ページを印刷する手順は以下の表のとおりです。

ページの説明	ページの印刷方法
メニュー マップ コントロール パネルのメニューと利用可能な設定を表示します。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. 設定/ステータス ページ にタッチします。 4. 管理メニュー マップ にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。 メニュー マップの内容は、現在デバイスにインストールされているオプションによって異なります。 コントロール パネルのメニューおよび可能な値の完全なリストは、「コントロール パネル」を参照してください。
設定ページ デバイスの設定と取り付けられているアクセサリを表示します。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. 設定/ステータス ページ にタッチします。 4. 設定ページ にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。 **注記** デバイスに HP Jetdirect プリント サーバやオプションのハード ディスク ドライブが装着されている場合は、それらのデバイスに関する追加の設定ページが印刷されます。
サプライ品ステータス ページ プリント カートリッジのトナー残量を表示します。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. 設定/ステータス ページ にタッチします。 4. サプライ品ステータス ページ にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。 **注記** HP 以外のサプライ品を使用している場合は、サプライ品のステータス ページにそれらのサプライ品の残りの寿命が表示されません。 詳細については、「HP 製以外のプリント カートリッジに関する規定」を参照してください。
使用状況ページ 用紙サイズごとの印刷ページ数、片面印刷または両面印刷したページ数、および印刷範囲の平均パーセンテージが表示されます。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. 設定/ステータス ページ にタッチします。 4. 使用状況ページ にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。

ページの説明	ページの印刷方法
ファイル ディレクトリ デバイスにインストールされているフラッシュ ドライブ、メモリ カード、ハード ディスクなど、大容量ストレージ デバイスの情報を説明します。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. 設定/ステータス ページ にタッチします。 4. ファイル ディレクトリ にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。
ファックス レポート 5 つのレポートには、ファックス動作、ファックス コール、請求書コード、ブロックされたファックス番号、指定してた短縮ダイアル番号が記載されます。 注記　ファックス レポートは、ファックス機能を持つデバイス モデルの場合のみ使用できます。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. ファックス レポート にタッチします。 4. 対応するレポートを印刷するには、次のボタンをのいずれかをタッチします。 ● ファックス使用状況ログ ● ファックス コール レポート ● 請求書コード レポート ● ブロックするファックス リスト ● 短縮ダイアル リスト 5. 印刷 にタッチします。 詳細については、デバイスに付属のファックス ガイドを参照してください。
フォント リスト デバイスに現在インストールされているフォントを表示します。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. サンプル ページ/フォント にタッチします。 4. PCL フォント リスト または PS フォント リスト にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。 注記　フォント リストには、ハード ディスク アクセサリやフラッシュ DIMM に存在するフォントも表示されます。

電子メール警告の設定

注記　社内で電子メールを使用していない場合は、この機能を使用することはできません。

HP Web Jetadmin または内蔵 Web サーバを使用して、デバイスの問題を警告するようにシステムを設定することができます。 警告は、指定した電子メール アカウントへ電子メール メッセージの形式で送信されます。

次の項目を設定することができます。

- 監視するデバイス
- 受け取る警告の内容 (紙詰まり、用紙切れ、サプライ品ステータス、カバーが開いた状態といった警告など)
- 警告を送信する電子メール アカウント

ソフトウェア	参照情報
HP Web Jetadmin	HP Web Jetadmin の一般情報については、「HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用」を参照してください。 警告とその設定方法の詳細については、HP Web Jetadmin のヘルプ システムを参照してください。
内蔵 Web サーバ	内蔵 Web サーバの一般情報については、「内蔵 Web サーバの使用」を参照してください。 警告とその設定方法の詳細については、内蔵 Web サーバのヘルプ システムを参照してください。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア)の使用

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) は、次の作業を行うときに使用するプログラムです。

- ネットワークにあるデバイスを検出し、ステータスを追跡する。
- 同時に複数のプリンタについて警告の設定と表示を行う。
- 同時に複数のプリンタについてサプライ品の警告の設定と表示を行う。
- サプライ品のオンライン注文。
- HP のオンライン トラブルシューティングと保守ツールの使用

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) ソフトウェアは、デバイスをコンピュータに直接接続しているとき、またはデバイスをネットワークに接続しているときに使用できます。 HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) をダウンロードするには、www.hp.com/go/easyprintercare を参照してください。

注記 HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を使用するときは、インターネットに接続する必要はありません。 ただし、Web ベースのリンクをクリックしてリンク先のサイトにアクセスするには、インターネットに接続する必要があります。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を開く

以下のいずれかの方法で HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を起動します。

- **[スタート]** メニューで **[プログラム]** を選択し、**[Hewlett-Packard]**、**[HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア)]** の順に選択します。
- Windows のシステム トレイ (デスクトップの右下隅) にある HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) アイコンをダブルクリックします。
- デスクトップ アイコンをダブルクリックします。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) のセクション

セクション	オプション
[Device List (デバイス リスト) タブ] **[デバイス]** リストの各デバイスに関する情報を表示します。	● プリンタ名、製造元、モデルなどのデバイス情報 ● アイコン (**[View as (表示形式)]** ドロップダウン ボックスでデフォルト設定の **[Tiles (並べて表示)]** が設定されている場合) ● デバイスに関する現在の警告 リスト内のデバイスをクリックすると、HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を介して、選択したデバイスの **[概要]** タブが表示されます。
[サポート] タブ	● 注意すべき項目に関する警告などのデバイス情報を表示します。 ● トラブルシューティングおよび保守ツールへのリンクを表示します。

セクション	オプション
ヘルプ情報および各種のリンクを表示します。	
[サプライ品の注文] ウィンドウ サプライ品をオンラインまたは電子メールで注文できます。	● [注文] リスト： デバイスごとに注文可能なサプライ品を表示します。 特定のサプライ品を注文する場合は、サプライ品のリストで必要なサプライ品の **[注文]** チェック ボックスをオンにします。 ● **[Shop Online for Supplies (サプライ品のオンライン注文)]** ボタン： 新しいブラウザ ウィンドウに HP SureSupply Web サイトを開きます。 **[注文]** チェックボックスがオンのサプライ品がある場合は、それらのサプライ品に関する情報が Web サイトに転送され、選択したサプライ品を購入するためのオプションに関する情報が Web サイトに表示されます。 ● **[Print Shopping List (購入リストの印刷)]** ボタン： **[注文]** チェック ボックスをオンにしたサプライ品の情報を印刷します。
[警告の設定] ウィンドウ デバイスに関する問題を自動的に通知するように設定できます。	● 警告のオン/オフ： 警告機能を有効または無効にします。 ● 警告を表示するタイミング： 警告をいつ表示するかを設定します。特定のデバイスに印刷するとき、またはデバイス イベントが発生するたびに表示できます。 ● 警告のイベント タイプ： 重大なエラーのみ、または継続可能なエラーを含むすべてのエラーのどちらに対して警告を表示するかを設定します。 ● 通知方法： 表示する警告のタイプを設定します。タイプにはポップアップ メッセージまたはデスクトップ警報があります。
[概要] タブ デバイスの基本的なステータス情報を表示します。	● **[デバイス]** リスト： 選択可能なデバイスを表示します。 ● **[デバイスのステータス]** セクション： デバイスのステータス情報を表示します。 このセクションには、プリント カートリッジが空になったなど、デバイスの警告状態が表示されます。 また、デバイスの識別情報、コントロール パネル メッセージ、プリント カートリッジの残量も表示されます。 デバイスの問題を解消してから ボタンをクリックすると、このセクションが更新されます。 ● **[サプライ品のステータス]** セクション： プリント カートリッジのトナー残量のパーセンテージや各トレイにセットされているメディアのステータスなど、サプライ品の詳細なステータスを表示します。 ● **[サプライ品詳細]** リンク： デバイスのサプライ品、注文情報、リサイクル情報に関する詳細を表示するサプライ品ステータス ページを開きます。
[他のプリンタを検索] ウィンドウ プリンタ リストにプリンタを追加できます。	**[デバイス]** リストにある **[他のプリンタを検索]** リンクをクリックすると、**[他のプリンタを検索]** ウィンドウが開きます。 **[他のプリンタを検索]** ウィンドウには、その他のネットワーク プリンタを検出する機能があり、検出したプリンタを **[デバイス]** リストに追加してリスト内のデバイスをコンピュータから監視することができます。

内蔵 Web サーバの使用

注記　デバイスをコンピュータに直接接続しているときに、HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を使用すると、デバイスのステータスを表示できます。

- デバイスのコントロール ステータス情報の表示
- 各トレイにセットされている用紙タイプの設定
- すべてのサプライ品の寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイ設定の表示と変更
- デバイスのコントロール パネル メニューの設定の表示と変更
- 内部ページの表示と印刷
- デバイスとサプライ品のイベント通知の受信
- ネットワーク設定の表示と変更
- デバイスの現状に合わせたサポート コンテンツの表示

デバイスがネットワークに接続されている場合、内蔵 Web サーバを自動的に使用できます。

内蔵 Web サーバを使用するには、Microsoft Internet Explorer 4 以降または Netscape Navigator 4 以降を使用する必要があります。 内蔵 Web サーバが機能するのは、デバイスが IP 対応ネットワークに接続されている場合です。 内蔵 Web サーバは、IPX 対応ネットワークまたは AppleTalk プリンタ接続に対応していません。 内蔵 Web サーバを開いて使用するときは、インターネット アクセスは必要ありません。

ネットワーク接続を使用して、内蔵 Web サーバを開きます。

1. コンピュータ上の対応 Web ブラウザで、アドレスまたは URL フィールドにデバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。 IP アドレスまたはホスト名を確認するには、設定ページを印刷します。 「[情報ページ] の使用」を参照してください。

   注記　URL を開いたら、いつでもすぐに表示できるようにお気に入り (ブックマーク) に追加することができます。

2. 内蔵 Web サーバには、デバイスに関する設定や情報を確認するための **[情報]** タブ、**[設定]** タブ、**[ネットワーキング]** タブがあります。 表示するタブをクリックしてください。

   各タブの詳細については、「内蔵 Web サーバのセクション」を参照してください。

内蔵 Web サーバのセクション

タブまたはセクション	オプション
[情報] タブ デバイス、ステータス、および設定に関する情報を表示します。	• **[デバイスのステータス]**： デバイスのステータスと HP サプライ品の寿命を表示します。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を示します。 各トレイにセットされている印刷用紙のタイプとサイズも表示されます。 デフォルトの設定を変更する場合は、**[設定の変更]**をクリックします。 • **[設定ページ]**： 設定ページの情報を表示します。

タブまたはセクション	オプション
	● **[サプライ品のステータス]**： HP サプライ品の寿命を表示します。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を示します。 サプライ品のパーツ番号も表示されます。 新しいサプライ品を注文する場合は、ウィンドウの左側にある **[その他のリンク]** 領域の **[サプライ品の注文]** をクリックします。 ● **[イベント ログ]**： すべてのデバイス イベントとエラーの一覧を表示します。 ● **[使用状況ページ]**： 用紙のサイズとタイプ別にデバイスの印刷ページ数の概要を表示します。 ● **[デバイス情報]**： デバイスのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報を表示します。 これらのエントリを変更する場合は、**[設定]** タブの **[デバイス情報]** をクリックします。 ● **[コントロール パネル]**： **[印字可]**、**[スリープ モード オン]** など、デバイスのコントロール パネルからのメッセージを表示します。 ● **[印刷]**： 印刷ジョブをデバイスに送信することができます。
[設定] タブ コンピュータからデバイスを設定できます。	● **[デバイスの設定]**： デバイスを設定できます。 このページでは、コントロール パネルを使用して、デバイスの従来型のメニューを表示します。 ● **[電子メール サーバ]**： ネットワーク プリンタ専用です。 **[警告]** ページと合わせて使用し、受信および送信メールの設定の他に電子メール警告の設定も行います。 ● **[警報]**： ネットワーク プリンタ専用です。 さまざまなデバイスおよびサプライ品のイベントの電子メール警告を受信するように設定できます。 ● **[自動送信]**： デバイスの設定およびサプライ品に関する自動電子メールを特定の電子メール アドレスに送信するようにデバイスを設定できます。 ● **[セキュリティ]**： **[設定]** および **[ネットワーキング]** タブにアクセスするためのパスワードを設定します。 内蔵 Web サーバの任意の機能を有効または無効にします。 ● **[その他のリンクの編集]**： 別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズできます。 このリンクは、内蔵 Web サーバのすべてのページの **[その他のリンク]** 領域に表示されます。 ● **[デバイス情報]**： デバイスに名前を付け、アセット番号を割り当てることができます。 デバイスに関する情報を受信する主要な連絡先の名前と電子メールアドレスを入力できます。 ● **[言語]**： 内蔵 Web サーバの情報を表示する言語を指定します。 ● **[日付と時刻]**： ネットワーク タイム サーバと時間の同期をとります。 ● **[スリープ復帰時刻]**： デバイスのスリープ復帰時刻を設定または編集できます。 注記 **[設定]** タブはパスワードで保護できます。 デバイスがネットワークに接続されている場合は、このタブで設定を変更する前に必ずデバイスの管理者に相談してください。

タブまたはセクション	オプション
[ネットワーキング] タブ コンピュータからネットワーク設定を変更できます。	ネットワーク管理者は、このタブを使用して、デバイスが IP ベースのネットワークに接続されているときにデバイスのネットワーク関連の設定を制御することができます。 デバイスが直接コンピュータに接続されている場合、またはデバイスが HP Jetdirect プリント サーバ以外を使用してネットワークに接続されている場合、このタブは表示されません。 注記　**[ネットワーキング]** タブはパスワードで保護できます。
[その他のリンク] インターネットに接続するさまざまなリンクが表示されます。	● **[HP Instant Support™]**： トラブルの解決方法を参照するために HP の Web サイトに接続します。 このサービスは、デバイスのエラー ログと設定情報を分析して、そのデバイスに合った診断とサポート情報を提供するものです。 ● **[サプライ品の注文]**： HP SureSupply Web サイトに接続し、プリント カートリッジや用紙などの HP 純正サプライ品の購入オプションに関する情報を表示できます。 ● **[製品サポート]**： デバイスのサポート サイトに接続し、一般的なトピックに関するヘルプを検索することができます。 注記　これらのリンクを使用するには、インターネットにアクセスできる環境が必要です。 ダイヤルアップ接続を使用しており、内蔵 Web サーバを最初に起動したときにインターネットに接続しなかった場合は、これらの Web サイトにアクセスする前にインターネットに接続する必要があります。 インターネットに接続する場合は、内蔵 Web サーバをいったん閉じて再起動しなければならない場合があります。

HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用

HP Web Jetadmin は、ネットワークに接続された周辺装置のインストール、監視、およびトラブルの解決をリモートで実現する Web ベースのソフトウェア ソリューションです。 分かりやすいブラウザ インタフェースによって、HP 製プリンタと HP 製以外のデバイスを含む幅広いデバイスのクロスプラットフォーム管理が容易になります。 問題が発生する前に事前に管理できるので、ネットワーク管理者はユーザーに影響が及ぶ前に問題を解決することができます。 この無料の拡張管理ソフトウェアは、www.hp.com/go/webjetadmin_software からダウンロードしてください。

HP Web Jetadmin 用のプラグインを入手するには、**[プラグイン]** をクリックした後、必要なプラグインの名前の横にある **[ダウンロード]** リンクをクリックします。新しいプラグインが使用可能になると、HP Web Jetadmin ソフトウェアから自動的に通知されます。**[製品の更新]** ページの指示に従うと、HP Web サイトに自動的に接続されます。

HP Web Jetadmin をホスト サーバーにインストールすると、Windows 用の Microsoft Internet Explorer 6.0 や Linux 用の Netscape Navigator 7.1 など、対応している Web ブラウザを通じて任意のクライアントから使用することができます。HP Web Jetadmin ホストにアクセスしてください。

注記　ブラウザは Java 対応である必要があります。Apple PC からのアクセスには対応していません。

Macintosh 用 HP Printer ユーティリティの使用

HP Printer ユーティリティ を使って、Mac OS X 搭載コンピュータからプリンタの設定や管理を行います。

HP Printer ユーティリティを開く

Mac OS X バージョン 10.2.8 で HP Printer ユーティリティを開く

1. Finder を開いて **[アプリケーション]** をクリックします。
2. **[ライブラリ]** をクリックし、**[プリンタ]** をクリックします。
3. **[hp]** をクリックし、**[ユーティリティ]** をクリックします。
4. **[HP Printer Selector]** をダブルクリックして、HP Printer Selector を開きます。
5. 設定するデバイスを選択し、**[ユーティリティ]** をクリックします。

Mac OS X v10.3 または v10.4 以降で HP Printer ユーティリティを開く

1. Dock で、**[プリンタ設定ユーティリティ]** アイコンをクリックします。

注記　Dock に **[プリンタ設定ユーティリティ]**アイコンが表示されない場合は、Finder を開いて **[アプリケーション]**、**[ユーティリティ]** の順にクリックし、**[プリンタ設定ユーティリティ]** をダブルクリックします。

2. 設定するデバイスを選択し、**[ユーティリティ]** をクリックします。

HP Printer ユーティリティ機能

HP Printer ユーティリティは、**[構成設定]** リストでクリックして開くページで構成されています。 以下の表では、これらのページで実行できるタスクを説明します。

項目	説明
[設定ページ]	設定ページを印刷します。
[サプライ品のステータス]	デバイスのサプライ品のステータスを表示します。そこからサプライ品のオンライン注文リンクにアクセスできます。
[HP サポート]	技術的なサポート、サプライ品のオンライン注文、オンライン登録、リサイクルと返品についての情報にアクセスできます。
[ファイルのアップロード]	コンピュータからデバイスにファイルを転送します。
[フォントのアップロード]	コンピュータからデバイスにフォントを転送します。
[ファームウェアのアップデート]	コンピュータからデバイスにアップデートされたファームウェアを転送します。
[両面印刷モード]	自動両面印刷モードをオンにします。
[Economode とトナー密度]	[EconoMode] 設定をオンにしてプリンタのトナーを節約したり、トナー濃度を調節します。
[解像度]	REt 設定などの解像度設定を変更します。
[リソースのロック]	ハード ディスクなどの記憶装置をロックまたはロック解除します。
[保存ジョブ]	デバイスのハードディスクに保存されている印刷ジョブを管理します。

項目	説明
[トレイの設定]	デフォルトのトレイ設定を変更します。
[IP 設定]	デバイスのネットワーク設定を変更し、内蔵 Web サーバにアクセスできるようにします。
[Bonjour 設定]	Bonjour サポートのオンとオフの切り替え、またはネットワーク上にリストされたデバイス サービス名の変更ができます。
[その他の設定]	内蔵 Web サーバにアクセスできるようにします。
[電子メール警告]	デバイスを設定して、特定のイベントに対して電子メール通知を送信します。

サプライ品を管理

プリント カートリッジの使用、保管、および監視によって、高品質な出力を保証することができます。

サプライ品の寿命

カートリッジの平均寿命は、ISO/IEC 19752 に基づき 6,500 ページ (Q7551A カートリッジの場合) または 13,000 ページ (Q7551X カートリッジの場合) ですが、実際のカートリッジの寿命は使用方法によって異なります。

注意　EconoMode は、デバイスが使用するページ毎のトナーを節約できる機能です。 このオプションを選択すると、トナーの使用期限が延び、ページ毎のコストが削減されます。 ただし、印刷品質は低下します。 印刷イメージは薄くなりますが、試し刷りには適しています。EconoMode を常に使用することはお勧めしません EconoMode を常に使用すると、プリンタ カートリッジ内の機械部品の寿命よりもトナーの寿命の方が長くなる可能性があります。 この状況で印刷品質が低下し始めた場合は、カートリッジ内にトナーが残っていても新しいプリント カートリッジを取り付ける必要があります。

プリント カートリッジのおおよその交換間隔

プリント カートリッジ	ページ数	おおよその時期 [1]
黒 (Q7551A)	6,500 ページ [1]	3 か月
黒 (Q7551X)	13,000 ページ	6 か月

[1] 推定寿命は、2,000 ページ/月を基本とします。

オンラインでサプライ品を注文するには、www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp にアクセスしてください。

プリント カートリッジの管理

プリント カートリッジの保管

使用するまでは、プリント カートリッジをパッケージから出さないでください。

注意　損傷を防ぐために、プリント カートリッジを長時間 (2、3 分以上) 光に当てないでください。

HP 純正プリント カートリッジの使用

HP 純正の新しいプリント カートリッジを使用すると、以下のサプライ品情報が表示されます。

- サプライ品の残量パーセンテージ
- 予想される残りページ数
- 印刷済みページ数

HP 製以外のプリント カートリッジに関する規定

新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のプリント カートリッジの使用はお勧めできません。 HP 製品ではないため、HP がその設計を変更したり、その品質を管理することはできません。

注記 HP 製以外のプリント カートリッジが原因で故障が発生した場合、HP の保証やサービス契約は適用されません。

新しい HP 製プリント カートリッジを取り付けるには、「プリント カートリッジの変更」を参照してください。 使用済みカートリッジをリサイクルするには、新しいカートリッジに付属している以下の手順に従ってください。

プリント カートリッジの認証

デバイスは、取り付けられたプリント カートリッジを自動的に認証します。 認証時に、HP 純正のプリント カートリッジかどうかが表示されます。

HP 製プリント カートリッジを購入したはずなのに、デバイスのコントロール パネルには HP 純正のプリント カートリッジではないことを示すメッセージが表示された場合は、「HP の不正品ホットラインと Web サイト」を参照してください。

HP の不正品ホットラインと Web サイト

HP 製プリント カートリッジを取り付けたときに、HP 製ではないことを示すメッセージがコントロール パネルに表示された場合は、HP 不正品ホットラインに連絡するか (北米の場合はフリーダイヤル 1-877-219-3183)、www.hp.com/go/anticounterfeit にアクセスしてください。 弊社はそのカートリッジが純正品かどうかを調べ、問題を解決するための措置をとるお手伝いをします。

以下の点にお気付きの場合は、お使いのプリント カートリッジが HP 純正プリント カートリッジではない可能性があります。

- プリント カートリッジに問題が多発している。
- カートリッジの外観が通常の外観と異なる (たとえば、オレンジ色のプル タブがない、パッケージが HP 製のパッケージと異なるなど)。

サプライ品と部品の交換

デバイスのサプライ品を交換する場合は、このセクションのガイドラインに従ってください。

サプライ品交換のガイドライン

デバイスを最初に設置するときに、サプライ品の交換作業の便宜を考えて、次のガイドラインに従ってください。

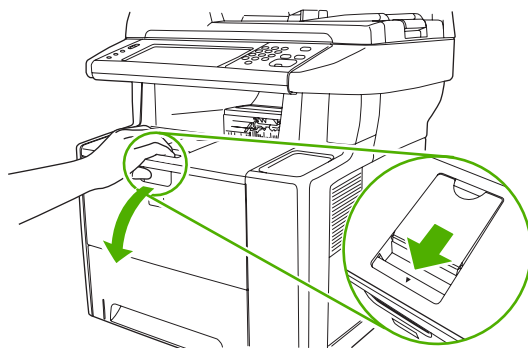
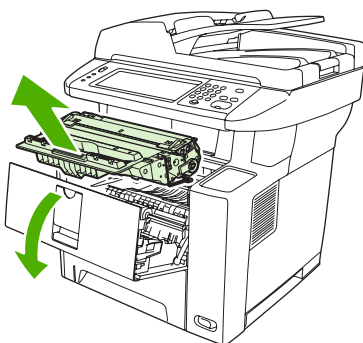
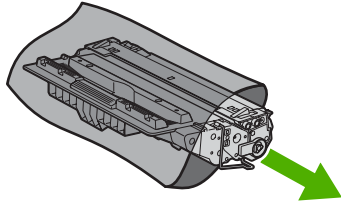
- サプライ品を取り外すには、デバイスの上および正面には十分な空きが必要です。
- デバイスは平らでしっかりした場所に設置する必要があります。

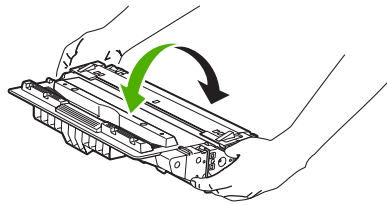
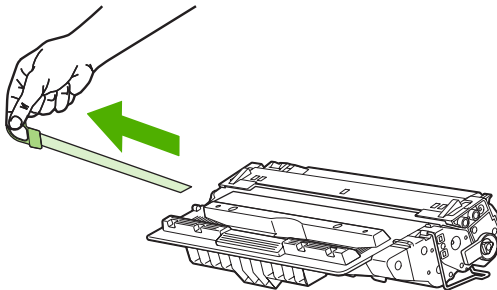
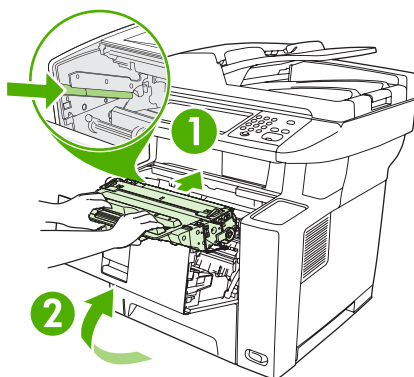
サプライ品の取り付け手順については、各サプライ品に付属のインストール ガイドを参照してください。詳細については、www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp にアクセスしてください。

注記 Hewlett-Packard では、このデバイスには HP 製品を使用することをお勧めします。 HP 製以外の製品を使用すると、HP の保証またはサービス契約の対象外のサービスを必要とする問題が発生する場合があります。

プリント カートリッジの変更

プリント カートリッジが寿命に達すると、コントロール パネルに交換品を注文するよう促すメッセージが表示されます。 コントロール パネルにカートリッジの交換を促すメッセージが表示されるまで、現在のプリント カートリッジを使用して印刷を継続することができます。

1. 正面カバーを開きます。

2. デバイスから使用済みプリント カートリッジを取り出します。

3. 袋から新しいプリント カートリッジを取り出します。 再利用のために、使用済みプリント カートリッジを袋に入れます。

4. プリント カートリッジの両側を持って、トナーがプリント カートリッジ全体に行きわたるよう水平方向に軽く振ります。

注意 シャッターまたはローラー表面に手を触れないでください。

5. 新しいプリント カートリッジから出荷テープを剥がします。 居住地区の条例に従って、出荷テープを破棄します。

6. ハンドルを掴んで、プリント カートリッジをプリンタ内部のトラックに沿わせてしっかり固定するまで挿入してから、正面ドアを閉じます。

   しばらくすると、コントロール パネルに **[印刷可]** と表示されます。

7. 設置が完了しました。 新しいカートリッジが梱包されていた箱に使用済みカートリッジを入れます。 リサイクル手順については、同梱されているリサイクル手順書を参照してください。

8. HP 製以外のプリント カートリッジを使用している場合の詳細な手順については、デバイスのコントロール パネルを確認してください。

さらにサポートが必要な場合は、www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp にアクセスしてください。

デバイスのクリーニング

印刷時には、用紙、トナー、ほこりなどの粒子がデバイス内に積もります。 時間が経つと、この堆積がトナーのしみや汚れなどの印刷品質の問題を引き起こす可能性があります (「印刷品質に関する問題の解決」を参照)。

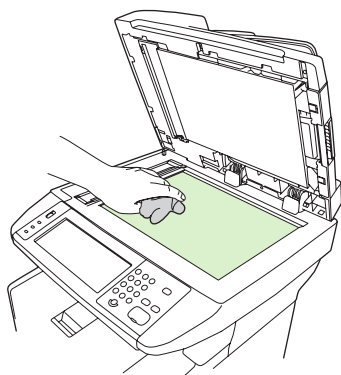
外装のクリーニング

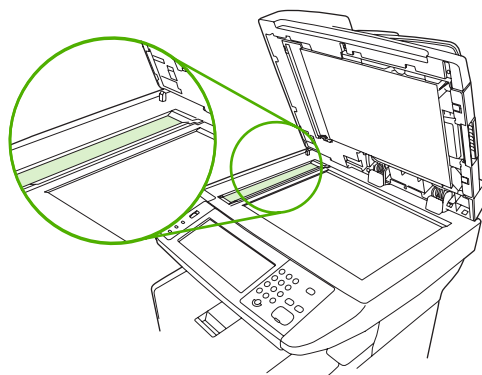
やわらかい湿った糸くずの出ない布を使用して、デバイスの外装からほこり、染み、汚れを拭き取ります。

スキャナのガラス面のクリーニング

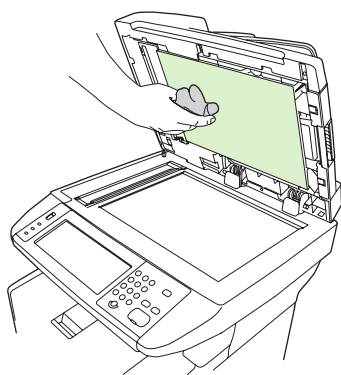
指紋、染み、髪の毛などでガラス面が汚れると、印刷速度が下がり、用紙の大きさに合わせてコピーなどの特殊機能の精度に影響があります。

注記　自動文書フィーダ (ADF) を使用してコピーを作成した場合にのみ線などの不具合が印刷される場合、スキャナのテープをクリーニングしてください (手順 3)。 スキャナのガラス面をクリーニングする必要はありません。

1. スキャナ カバーを開きます。
2. ガラスをクリーニングする場合は、糸くずのでない湿らせた布を使用します。

注意　研磨剤、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチル アルコール、または四塩化炭素は、デバイスのどの部分にも使用しないでください。デバイスが破損する可能性があります。 ガラス面に液体を直接流さないでください。 ガラス面の下に漏れてデバイスが破損する可能性があります。

3. スキャナのテープをクリーニングする場合は、糸くずのでない湿らせた布を使用します。

スキャナ カバーの原稿押さえのクリーニング

スキャナ カバーの裏側にある白いスキャナ カバーの原稿押さえの表面に、微小な塵がたまることがあります。

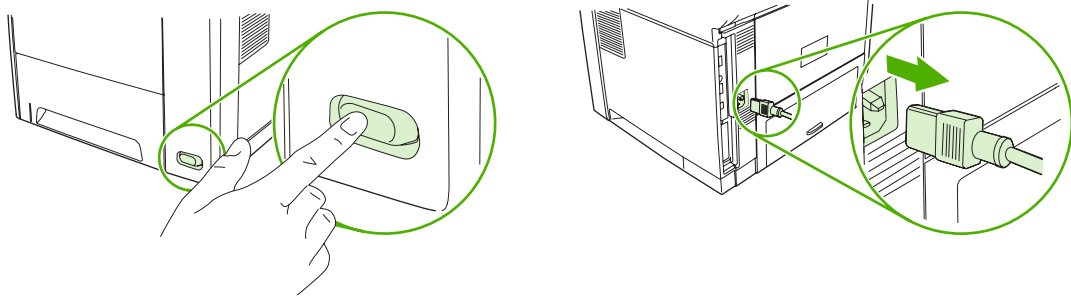
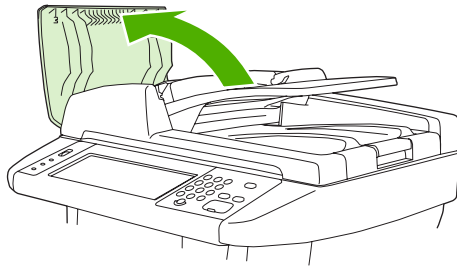
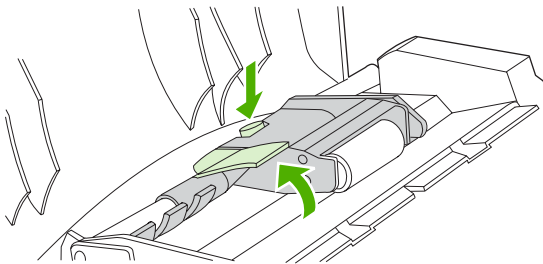
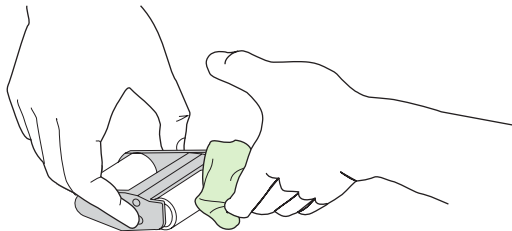
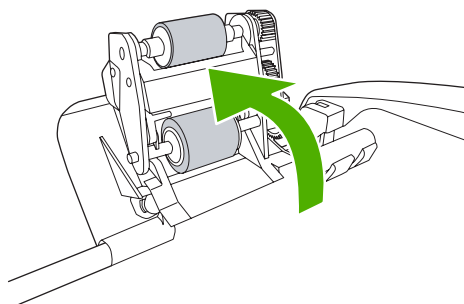
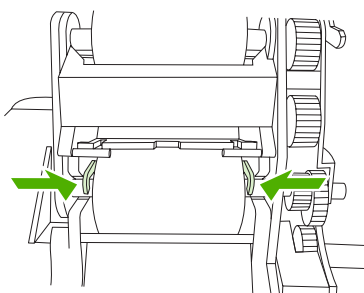
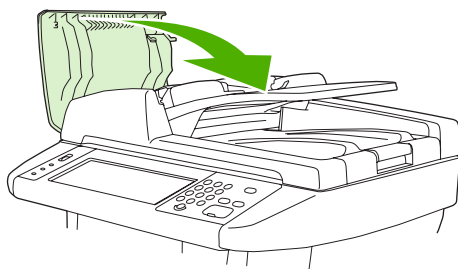
1. スキャナ カバーを開きます。
2. 中性洗剤とぬるま湯で軽く湿らせた柔らかい布かスポンジで、白い原稿押さえをクリーニングします。 また、ADF のスキャナ ガラス面の横にあるスキャナのテープもクリーニングします。

3. 原稿押さえはそっと拭いて塵を落とします。こすらないようにしてください。
4. セーム革または柔らかい布で原稿押さえを拭いて乾かします。

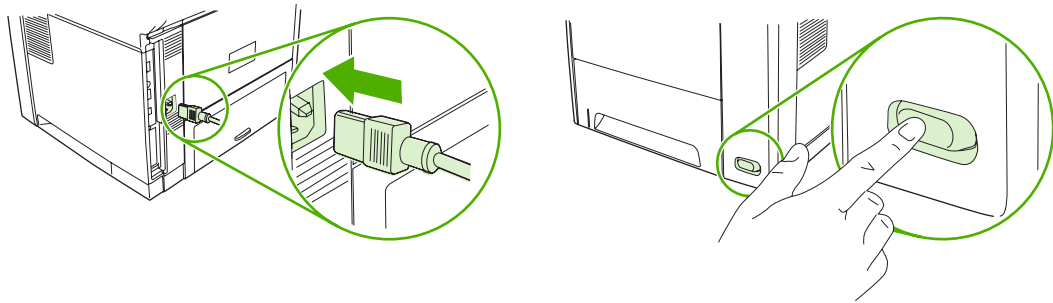
注意　原稿押さえを傷つける可能性があるため、紙製のクロスは使用しないでください。

5. 原稿押さえの汚れが十分に落ちない場合、布またはスポンジを湿らせるときに無水アルコールを使用して、上記の手順を繰り返します。その後、湿らせた布で残ったアルコールを拭き取ります。

ADF のクリーニング

ADF の給紙に問題がある場合、ADF のピックアップ ローラー装置をクリーニングします。

1. デバイスの電源を切り、電源コードを抜きます。

2. ADF カバーを開きます。

3. 緑色のレバーを持ち上げて丸い青色のボタンを押します。 開いた位置で停止するまで緑色のレバーを回転します。 ピックアップ ローラー装置は、表面に見えるようにします。

4. 装置を取り除き、糸くずのでない柔らかい乾いた布を使って装置を拭きます。

5. 縦置きのホルダに一番大きなローラーを下向きにして、装置を交換します。カチッと音がする位置まで装置を差し込みます。

6. 装置の両側を青いフックで保護されていることを確認します。

7. ローラー装置を下げ、ADF カバーを閉じます。

注記　ADF の詰まりが続く場合、お住まいの地域の HP 認定サービス プロバイダに問い合わせてください。「HP カスタマ ケア」を参照してください。

8. デバイスの電源コードをつなぎ、電源を入れます。

用紙経路のクリーニング

1. [ホーム] 画面の 管理 をタッチします。
2. 印刷品質 をタッチします。
3. 校正/クリーニング をタッチします。
4. クリーニング ページの作成 をタッチします。

   クリーニング ページが印刷されます。
5. クリーニング ページの説明に従ってください。

スキャナの校正

スキャナを校正して、ADF とスキャン機能のスキャナのイメージ システム (キャリッジ ヘッド) で、オフセットを補正します。 機械的な許容範囲なので、スキャナのキャリッジ ヘッダでイメージの位置を適切に読み取ることができないことがあります。 校正手順の間に、スキャナのオフセット値が計算され、保存されます。 文書の正しい範囲がスキャンされるようにスキャンを実行するときに、オフセット値が使用されます。

スキャナの校正は、スキャンしたイメージにオフセットの問題が発生した場合にのみ実行します。 スキャナは工場から出荷する前に校正されています。 再校正が必要な場合はまれです。

1. [ホーム] 画面の 管理 をタッチします。
2. トラブルシューティング にタッチします。
3. スキャナの校正 にタッチし、画面のダイアログボックスの指示に従います。

   校正処理が開始され、処理が完了するまで、タッチスクリーンのステータス行に**[校正中]** と表示されます。

11 問題の解決

ここでは、印刷の問題を解決する際に役立つ情報について説明します。 以下のリストから、問題の一般的なトピックまたはタイプを選択してください。

問題解決のチェックリスト

問題が発生した場合は、次のチェックリストを使用して問題の原因を特定してください。

- デバイスが電源に接続されていますか。
- デバイスの電源が入っていますか。
- デバイスが **[印字可時]** 状態になっていますか。
- 必要なケーブルがすべて接続されていますか。
- コントロール パネルにメッセージが表示されていますか。
- HP 社の純正サプライ品を取り付けていますか。
- 最近交換したプリント カートリッジが正しく取り付けられていて、カートリッジの引きつまみやテープが取り除かれていますか。

設置とセットアップの詳細については、『セットアップ ガイド』を参照してください。

このガイドに問題の解決方法が見つからない場合は、www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp をご覧ください。

パフォーマンスに影響する要因

印刷の所要時間は、次のような要因に影響されます。

- 特殊な用紙の使用 (OHP フィルム、厚手の用紙、カスタム サイズの用紙など)
- プリンタの処理時間とダウンロード時間
- グラフィックスの複雑さおよびサイズ
- 使用しているコンピュータの速度
- USB 接続
- I/O の構成
- 搭載メモリの容量
- ネットワーク オペレーティング システムおよび構成 (使用可能な場合)
- デバイスのパーソナリティ (PCL または PS)

注記　メモリを増設すればメモリの問題が解決し、複雑なグラフィックスの処理方法が向上し、ダウンロード時間が短縮されますが、最大印刷速度 (ppm) が高速になることはありません。

問題解決のフローチャート

デバイスが正常に反応しない場合は、以下のフローチャートを使用して問題を特定してください。 デバイスで任意の手順を実行できない場合は、対応するトラブルの解決手順に従ってください。

この手順を行っても問題を解決できなかった場合は、HP 正規サービス代理店までご連絡ください。「HP カスタマ ケア」を参照してください。

注記 **Macintosh ユーザーの場合**： トラブルの解決の詳細については、「Macintosh に関する一般的なトラブルの解決」を参照してください。

手順番号	検証手順	考えられる問題	解決方法
1	**電源は入っていますか。**	電源、ケーブル、スイッチ、またはヒューズの不具合で電源が入っていません。	1. デバイスが接続されていることを確認します。 2. 電源ケーブルが機能していること、スイッチがオンであることを確認します。 3. デバイスを壁のコンセントに直接つなぐか、別のコンセントにつないで電源を確認します。
2	**デバイスのコントロール パネルに[「印字可」]と表示されていますか。**	コントロール パネルにエラーが表示されます。	このエラーに対応するときに役立つ一般的なメッセージ リストについては、「コントロール パネルのメッセージ」を参照してください。 それでもエラーが表示されるときは、HP カスタマ ケアまでご連絡ください。 HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。
		タッチスクリーンに何も表示されません。	ディスプレイの明度調整ダイヤルが正しく設定されていません。 タッチスクリーンのコントロールとメッセージが表示されるように、明度調整ダイヤルを調節します。
3	**情報ページは印刷されますか。**	エラー メッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。	このエラーに対応するときに役立つ一般的なメッセージ リストについては、「コントロール パネルのメッセージ」を参照してください。
		メディアがデバイスの用紙経路をスムーズに通りません。	メディアが HP の仕様に合っていることを確認します。 「メディアについて」を参照してください。 用紙経路をクリーニングします。 「用紙経路のクリーニング」を参照してください。
		印刷品質が低い。	「印刷品質に関する問題の解決」を参照してください。 それでもエラーが続くときは、HP カスタマ ケアまでご連絡ください。 HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。

手順番号	検証手順	考えられる問題	解決方法
4	**コピーは使用できますか。**	ADF を使用するとコピー品質が低い。	1. 内部テストとスキャナからコピーしたときの印刷品質に問題がない場合、ADF のスキャン テープをクリーニングします。「スキャナのガラス面のクリーニング」を参照してください。 2. ADF が破損している場合は、HP カスタマ ケアまでご連絡ください。HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。
		メディアが ADF の経路をスムーズに通りません。	1. メディアが HP の仕様に合っていることを確認します。「メディアについて」を参照してください。 2. ADF のローラーと仕分けパッドをクリーニングします。「ADF のクリーニング」を参照してください。 3. それでも問題が続く場合は、ADF のローラーを交換してください。 HP カスタマ ケアにご連絡ください。HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。 4. それでも問題が続く場合は、ADF を交換してください。 HP カスタマ ケアにご連絡ください。HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。
		スキャナを使用するとコピー品質が低い。	1. 内部テストと ADF からコピーしたときの印刷品質に問題がない場合、スキャナのガラス面をクリーニングします。「スキャナのガラス面のクリーニング」を参照してください。 2. 保守を行った後も問題が続く場合、「コピーに関する問題の解決」を参照してください。
		それでもエラーが続くときは、HP カスタマ ケアまでご連絡ください。HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。	

手順番号	検証手順	考えられる問題	解決方法
5	**ファックスは送信されますか。**	電話回線が機能していません。またはデバイスが電話回線に接続されていません。	正常に機能している電話回線にデバイスが接続されていることを確認します。
		電話コードに問題があるか、接続しているコネクタが故障しています。	1. デバイスがアナログ ファックス回線に接続されていることを確認します。 2. 電話コードを別のコネクタに接続してみます。 3. 新しい電話コードを試します。
		ファックス番号が正しく入力されていません。	ファックス番号を確認し、正しいファックス番号を入力します。
		デバイスのファックス設定が正しく設定されていません。	デバイスのファックス設定を確認します。『*HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 User Guide*』を参照してください。 それでもエラーが続くときは、HP カスタマ ケアまでご連絡ください。 HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。
		文書が完全にファックス送信されません。または低い印刷品質です。	「ファックスに関する問題の解決」を参照してください。
6	**ファックスは受信されますか。**	デバイスに接続されている電話機の数が多すぎます。または、電話機が正しい順序で接続されていません。	このデバイスは、電話回線上にある唯一のデバイスであることを確認し、改めてファックスを受信します。
		電話コードが仕様に合っていません。	デバイスがアナログ ファックスに接続されていることを確認します。
		デバイスのファックス設定が正しくありません。	デバイスのファックス設定を確認します。最新の情報については、「ファックスに関する問題の解決」を参照してください。
		それでもエラーが続くときは、HP カスタマ ケアまでご連絡ください。 HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。	
7	**コンピュータから印刷されますか。**	ソフトウェアが正しくインストールされていません。またはソフトウェアのインストール時にエラーが発生しました。	デバイス ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールします。 正しいインストール手順で操作し、正しいポート設定を使用していることを確認します。
		ケーブルに問題があるか、正しく接続されていません。	別のケーブルを使用するか、ケーブルを接続し直します。
		不適切なドライバが選択されています。	適切なドライバを選択します。
		他のデバイスが USB ポートに接続されています。	その他のデバイスの接続を解除し、印刷し直します。
		Microsoft Windows のポート ドライバに問題があります。	デバイス ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールします。 正しいインストール手順で操作し、正しいポート設定を使用していることを確認します。
		それでもエラーが続くときは、HP カスタマ ケアまでご連絡ください。 HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。	

一般的なデバイスに関する問題の解決

デバイスが、設定していないトレイからメディアを選択します。

原因	解決方法
ソフトウェア プログラムによるトレイの選択が正しくない可能性があります。	多くのソフトウェア プログラムでは、用紙トレイの選択を **[ページ設定]** メニューで行います。 デバイスが正しいトレイを選択するように、他のトレイのメディアをすべて削除します。 Macintosh コンピュータの場合は、HP Printer ユーティリティを使ってトレイの優先度を変更します。
設定されているサイズが、トレイに給紙されているメディアのサイズと一致しません。	コントロール パネルから、トレイにセットされているメディアのサイズに合うように設定サイズを変更します。

トレイから給紙されません。

原因	解決方法
トレイが空です。	トレイに用紙をセットします。
用紙ガイドが正しくセットされていません。	ガイドを正しくセットするには、「メディアのセット」を参照してください。 トレイ 2 とトレイ 3 の場合は、用紙の束の先端がまっすぐ揃っていることを確認します。 端が揃っていないと、リフト プレートが上がらない場合があります。

デバイスから用紙が丸まって排紙されます。

原因	解決方法
用紙が上部排紙ビンから出るときにカールします。	後部排紙ビンを開き、用紙がデバイスからまっすぐ排紙されるようにします。 印刷している用紙を裏返してみます。 最高温度を下げて用紙が丸まるのを防ぎます 「正しいフューザ モードの選択」を参照してください。

印刷速度が極端に遅い。

原因	解決方法
ジョブが非常に複雑な可能性があります。 デバイスの最高速度は、メモリを増設しても上げることはできません。 カスタム サイズのメディアに印刷する場合は、印刷速度が自動的に遅くなる場合があります。 注記： 幅の狭い用紙を印刷する場合、トレイ 1 から印刷する場合、または **[HIGH 2 (高 2)]** フューザ モードを使用している場合は、印刷速度が低下することが予想されます。	印刷する内容を簡略化するか、印刷品質の設定を調整してみてください。 この問題が頻繁に発生する場合は、デバイスのメモリを増設します。
PCL デバイス ドライバを使用して、PDF ファイルまたは PostScript (PS) ファイルを印刷しています。	PS デバイス ドライバではなく、PCL デバイス ドライバを使用してみます (これは、ソフトウェア プログラムから実行できます)。

印刷ジョブが用紙の両面に印刷されます。

原因	解決方法
このデバイスは両面印刷用に設定されています。	設定の変更方法については、「プリンタ ドライバを開く」を参照してください。また、オンライン ヘルプも参考になります。

印刷ジョブに 1 ページしかない場合でも、ページの裏面も処理されます (ページが排紙方向に移動してから、デバイスに戻ります)。

原因	解決方法
このデバイスは両面印刷用に設定されています。 印刷ジョブに 1 ページしか含まれない場合でも、裏面も処理されます。	設定の変更方法については、「プリンタ ドライバを開く」を参照してください。また、オンライン ヘルプも参考になります。 両面印刷が完了する前にデバイスからページを抜き取らないでください。 紙詰まりの原因になる可能性があります。

ページは印刷されますが、すべてが白紙で排紙されます。

原因	解決方法
プリント カートリッジにガムテープが貼り付いたままになっている可能性があります。	プリント カートリッジにガムテープが貼り付いたままになっていないことを確認します。
ファイルに白紙のページが含まれていることがあります。	ファイルに白紙のページが含まれていないことを確認します。

間違ったテキストが印刷される、文字化けして印刷される、または一部だけしか印刷されません。

原因	解決方法
デバイス ケーブルが緩んでいるか、欠陥があります。	デバイス ケーブルを取り外し、接続し直します。 正常に印刷できることがわかっている印刷ジョブを印刷してみます。 可能であれば、ケーブルとデバイスを別のコンピュータに接続

間違ったテキストが印刷される、文字化けして印刷される、または一部だけしか印刷されません。

原因	解決方法
	して、正常に印刷できることがわかっている印刷ジョブを印刷してみます。 最後に、新しいケーブルを使用してみます。
ソフトウェアで誤ったドライバが選択されています。	ソフトウェアのデバイス選択メニューをチェックして、HP LaserJet M3027/M3035 デバイスが選択されていることを確認します。
ソフトウェア プログラムが正常に動作しません。	別のプログラムからジョブを印刷してみます。

ソフトウェアで 印刷 を選択してもデバイスが応答しません。

原因	解決方法
デバイスにメディアがセットされてません。	メディアを追加します。
デバイスが手差しモードになっている可能性があります。	プリンタを手差しモードから自動モードに変更します。
コンピュータとデバイス間のケーブルが正しく接続されていません。	ケーブルを一度取り外してから接続し直します。
デバイス ケーブルに欠陥があります。	可能であれば、ケーブルを別のコンピュータに接続して、正しく印刷されることがわかっているジョブを印刷します。別のケーブルで試してみます。
間違ったデバイスがソフトウェアで選択されています。	ソフトウェアのデバイス選択メニューをチェックして、HP LaserJet M3027/M3035 デバイスが選択されていることを確認します。
デバイスで紙詰まりが発生した可能性があります。	紙詰まりを取り除き、両面印刷ユニットに注意します (使用しているモデルが両面印刷ユニットの場合)。 「紙詰まりの解消」を参照してください。 梱包のテープ、カードボード、プラスティックの出荷ロックがデバイスから取り外されていることを確認します。 対応メディアを使用していることを確認します。 「印刷メディアの選択」を参照してください。 メディアが正しくセットされていることを確認します。 「メディアのセット」を参照してください。
デバイスのソフトウェアでデバイス ポートが正しく設定されていません。	ソフトウェアのデバイス選択メニューをチェックして、正しいポートが使用されていることを確認します。 コンピュータにポートが複数ある場合は、デバイスが正しいポートに接続されていることを確認します。
デバイスはネットワーク上にあり、信号を受信していません。	ケーブル接続を確認します。 印刷ソフトウェアを再インストールします。 正常に印刷できることがわかっている印刷ジョブを印刷してみます。 設定ページを印刷し、IP アドレスが正しいことを確認します。 停止しているジョブをプリント キューから削除します。
デバイスに電源が供給されません。	ランプが点灯しない場合は、電源コードの接続を確認します。電源スイッチを確認します。電源を確認します。
デバイスが正しく動作しません。	コントロール パネル ディスプレイのメッセージとランプを確認して、デバイスにエラーがあるかどうかを判断します。 メ

ソフトウェアで 印刷 を選択してもデバイスが応答しません。

原因	解決方法
	ッセージを書き留め、「コントロール パネルのメッセージ」を参照してください。

コントロール パネルのメッセージのタイプ

コントロール パネルに表示される 4 種類のメッセージによって、デバイスのステータスや問題が示されます。

メッセージの種類	説明
ステータス メッセージ	ステータス メッセージはデバイスの現在のステータスを表します。デバイスが正常に動作していて、メッセージをクリアする操作が必要ないことを示しています。デバイスの状態が変化すると、メッセージも変化します。デバイスの準備が整い、ビジー状態でなく、保留中の警告メッセージがない場合、デバイスがオンラインのときには常にステータス メッセージ **[印字可時]** が表示されます。
警告メッセージ	警告メッセージはデータ エラーと印刷エラーを示します。これらのメッセージは通常、**[印字可時]** またはステータス メッセージと交互に表示され、OK を選択するまで表示されたままになります。一部の警告メッセージはクリアすることができます。**[クリア可能な警告]** が **[ジョブ]** に設定されている (デバイスの デバイス動作 メニュー) 場合は、次の印刷ジョブによってメッセージがクリアされます。
エラー メッセージ	エラー メッセージは、用紙の補給や紙詰まりの解消など、何らかの処置が必要なことを通知します。 一部のエラー メッセージの場合は自動続行可能です。メニューで **[自動継続]** が設定されている場合は、自動継続のエラー メッセージが 10 秒間表示された後で、プリンタが通常の動作を続行します。 注記　自動継続可能なエラー メッセージが 10 秒間表示されている間にいずれかのボタンを押すと、自動継続機能は無効になり、押したボタンの機能が優先されます。 たとえば、[停止] ボタンを押すと印刷が停止し、ジョブをキャンセルするためのオプションが表示されます。
重大なエラー メッセージ	重大なエラー メッセージはデバイスのエラーを示します。一部の重大なエラー メッセージは、デバイスの電源を切って再度電源を入れることでクリアできます。これらのメッセージには、**[自動継続]** 設定は影響しません。重大なエラーが解決しない場合は、修理が必要です。

コントロール パネルのメッセージ

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[<IP アドレス> のデジタル送信サービスではこの MFP をサービスしません。 管理者に問い合わせてください。]	この IP アドレスとは通信できません。	IP アドレスを確認します。 ネットワーク管理者に問い合わせてください。
[10.32.00 純正品でないサプライ品]	HP 純正サプライ品の認証テストに合格していないサプライ品が設置されています。	サプライ品を HP 純正品として購入した場合は、www.hp.com/go/anticounterfeit をご覧ください。 HP サプライ品以外 (認証されていないサプライ品) のご使用による修理については、HP の保証の対象とはなりません。 HP は、一部の機能の正常動作や有効性を保証しかねます。 印刷を続けるには、**[OK]** をタッチします。
[10.XX.YY サプライ品のメモリ エラー]	プリント カートリッジ e-ラベルの読み取りまたは書き込みができません。または e-ラベルがプリント カートリッジに見つかりません。	プリント カートリッジを再インストールするか、新しい HP プリント カートリッジをインストールします。
[11.XX 内部クロック エラー 続けるには、[OK] をタッチします]	デバイスの実時間のクロックにエラーが発生しました。	デバイスの電源を切って、入れ直したときは、必ずコントロール パネルで日時を設定してください。 「[時刻/スケジューリング] メニュー」を参照してください。 エラーが続くときは、フォーマッタの交換が必要な場合もあります。
[13.XX.YY トレイ 1 の紙詰まり]	トレイ 1 で紙詰まりが発生しています。	トレイ 1 の紙詰まりを取り除きます。画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作するか、「給紙トレイ付近からの紙詰まりの解除」を参照してください。
[13.XX.YY トレイ X の紙詰まり 詰まった用紙を取り除いて [OK] をタッチします]	このトレイで紙詰まりが発生しました。	画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作するか、「給紙トレイ付近からの紙詰まりの解除」を参照してください。
[13.XX.YY - フューザ回りの紙の巻き込みです]	用紙がフューザに巻きついたため、紙詰まりが発生しました。	画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作します。
[13.XX.YY 後部ドア内部での紙詰まり]	排紙ビンで紙詰まりが発生しました。	後部排紙ビンを開いて、詰まったメディアを少しずつ引き出します 画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作するか、「排紙ビン付近からの紙詰まりの解除」を参照してください。
[13.XX.YY 正面ドア内部での紙詰まり プリント カートリッジを取り外します]	プリント カートリッジ領域で紙詰まりが発生しました。	画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作するか、「紙詰まりの解消」を参照してください。
[13.XX.YY 両面印刷ユニット内部での紙詰まり]	両面印刷ユニットで紙詰まりが発生しました。	画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作するか、「両面印刷ユニットの紙詰まりの解消」を参照してください。
[20 メモリ不足 続けるには、[OK] をタッチします]	空きメモリで対応できない量のデータを受信しました。 マクロ、ソフト フォント、複雑な画像の数が多すぎる可能性があります。	送信済みデータを印刷するには、OK をタッチし (一部のデータが失われることがあります)、印刷ジョブを単純にするか、追加メモリをインストールします。
[21 ページが複雑すぎます 続けるには、[OK] をタッチします]	ページ フォーマット処理がデバイスの処理に間に合いませんでした。	送信済みデータを印刷するには、OK をタッチします (一部のデータは失われる可能性が

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		あります)。このメッセージがひんぱんに表示される場合は、印刷ジョブを単純にしてください。
[22 EIO <X> バッファ オーバーフロー 続けるには、[OK] をタッチします]	このスロット (X) の EIO カードに送信されたデータ量が多すぎます。 不適切な通信プロトコルが使用されている可能性があります。	送信済みデータを印刷するには、OK をタッチします (一部のデータが失われる可能性があります)。 ホスト構成を確認します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[22 USB I/O バッファ オーバーフロー 続けるには、[OK] をタッチします]	USB バッファに送信されたデータ量が多すぎます。	エラー メッセージを消去するには、OK をタッチします (データは失われます)。
[22 パラレル I/O バッファ オーバーフロー続けるには、[OK] をタッチします]	パラレル ポートに送信されたデータ量が多すぎます。	エラー メッセージを消去するには、OK をタッチします (データは失われます)。 ケーブルの接続がゆるんでいないか確認し、高品質のケーブルを使用するようにします。 一部の HP 製以外のパラレル ケーブルは、ピン接続がなかったり、IEEE-1284 仕様に準拠していないことがあります。「www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp」に進みます。
[22 内蔵 I/O バッファ オーバーフロー 続けるには、[OK] をタッチします]	内蔵 HP Jetdirect 印刷サーバに送信されたデータ量が多すぎます。	送信済みデータを印刷するには、OK をタッチします (一部のデータが失われる可能性があります)。
[30.1.YY スキャナ故障]	スキャナでエラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[40 EIO <X> 伝送不良エラー 続けるには、[OK] をタッチします]	デバイスとこのスロットの EIO カード間が正常に接続されていません。	エラー メッセージを消去し、印刷を続けるには、OK をタッチします
[40 シリアルの通信が不良です 続けるには、[OK] をタッチします]	コンピュータからデータが送信されているときに、シリアル データ エラー (パリティまたはライン オーバーラン) が発生しました。	エラー メッセージを消去するには、OK をタッチします (データは失われます)。
[40 内蔵 I/O 伝送不良 続けるには、[OK] をタッチします]	一時的な印刷エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください。 HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください。

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[41.3 - トレイ <XX> にセットする用紙 別のトレイを使用するには、[OK] をタッチします]	このトレイには指定されたサイズのメデイアがセットされていません。	正しいサイズのメディアがセットされたトレイを使用するには、OK をタッチします。
[41.3 - トレイ <XX> にｾｯﾄする用紙： <タイプ>、<サイズ>]	トレイに設定されたサイズより、給紙方向に対して長いまたは短いメディアがセットされています。	**[トレイ <X> サイズ]** を表示するには、OK をタッチします。 印刷ジョブに必要なメディア サイズがセットされているトレイを使用するように、トレイのサイズを設定し直します。 コントロール パネルのディスプレイからメッセージが自動的に消えない場合、デバイスの電源をいったん切り入れ直します。
[41.X エラー 続けるには、[OK] をタッチします]	一時的な印刷エラーが発生しました。	エラー メッセージを消去するには、OK をタッチします エラー メッセージが消去されない場合、デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[49.XXXXX エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	重大なファームウェア エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[50.X FUSER エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	フューザ エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[51.XY エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[52.XY エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[53.XY.ZZ RAM DIMM スロット <X> を確認 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	デバイスのメモリに問題があります。 エラーが発生した DIMM は使用されません。 次に、**[X]** に入る値を示します。 **[X]** = デバイスの位置 **[0]** = オンボード メモリ **[1]** = スロット 1	この DIMM の再インストールまたは交換が必要な場合もあります。 デバイスの電源を切り、エラーが発生した DIMM を交換します。 「メモリのインストール」を参照してください。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[54.XX エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[55.XX.YY DC CONTROLLER ERROR 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	印刷エンジンがフォーマッタと通信していません。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[56.XX エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[57.X エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[58.XX エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[59.XY エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[60.XX エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	トレイ **[X]** の持ち上げに失敗しています。	画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作します。
[62 システムなし 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	デバイスのファームウェアに問題があります。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[64 エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	スキャン バッファのエラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[68.X 永久記憶装置が一杯です]	デバイスの NVRAM が一杯です。 NVRAM のに保存されている一部の設定が工場出荷時のデフォルト設定に戻された可能性があります。 印刷は続行できますが、永久記憶装置にエラーが発生した場合、予期しない機能が実行される可能性があります。	エラー メッセージを消去するには、OK をタッチします エラー メッセージが消去されない場合、デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[68.X 永久記憶装置の書き込みに失敗]	デバイスの NVRAM が書き込みに失敗しています。 印刷は続行できますが、永久記憶装置にエラーが発生した場合、予期しない機能が実行される可能性があります。	エラー メッセージを消去するには、OK をタッチします エラー メッセージが消去されない場合、デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[68.X 記憶装置エラー：設定が変更されました 続けるには、[OK] をタッチします]	1 つ以上のデバイス設定が無効で、出荷時のデフォルト設定にリセットされました。 印刷は続行できますが、永久記憶装置にエラーが発生した場合、予期しない機能が実行される可能性があります。	エラー メッセージを消去するには、OK をタッチします エラー メッセージが消去されない場合、デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		わせください (HP のサポート パンフレット または www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[69.X エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレット または www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[79.XXXX エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	重大なハードウェア エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレット または www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[8X.YYYY EIO エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	EIO アクセサリに **[YYYY]** で示された重大なエラーが発生しました。	エラー メッセージを消去するには、次の操作を試します。 **1.** デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 **2.** デバイスの電源をいったん切り、EIO アクセサリを再インストールし、電源を入れ直します。 **3.** EIO アクセサリを交換します。
[8X.YYYY 内蔵 JETDIRECT エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します]	内蔵 HP Jetdirect プリント サーバに **[YYYY]** で示された重大なエラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレット または www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[HP デジタル送信 : 配信エラー]	デジタル送信ジョブは失敗しました。配信できません。	ジョブを再送信してください。
[HP 製以外のサプライ品が取り付けられた Economode が無効です]	HP 製以外のサプライ品または再充填 (リフィル) した HP のサプライ品が使用されています。	画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作します。
[LDAP サーバが応答していません。 管理者に問い合わせてください。]	LDAP サーバはアドレス リクエストのタイムアウト値を過ぎました。	LDAP サーバ アドレスを確認します。 「電子メールに関する問題の解決」を参照してください。 ネットワーク管理者に問い合わせてください。
[Novell のログインが必要です]	この排紙先には、Novell の認証が設定されています。	コピー機能やファックス機能にアクセスするには、Novell ネットワークの認証情報を入力します。

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[PIN が正しくありません。 4 桁の PIN を入力してください。]	PIN の形式が正しくありません。	4 桁 の PIN を入力します。
[PIN が正しくありません。 PIN を入力し直してください。]	PIN が正しくありません。	PIN を入力し直してください。
[SMTP ゲートウェイが応答していません]	SMTP ゲートウェイがタイムアウト値を過ぎました。	電子メール サーバ アドレスを確認します。 「電子メールに関する問題の解決」を参照してください。 ネットワーク管理者に問い合わせてください。
[アクセスできません メニューがロック状態]	使用しようとしたコントロール パネル機能は、不正アクセスを防ぐためにロックされました。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
[アドレス情報が原因で電子メールのゲートウェイがジョブを拒否しました。 ジョブは失敗しました。]	1 つまたは複数の電子メール アドレスが正しくありません。	正しいアドレスでジョブを送信します。
[ガラス面をチェックして用紙を取り除きます 続けるには、[スタート] を押します]	デジタル送信ジョブまたはコピー ジョブがスキャナのガラス面から実行されましたが、原稿を取り除く必要があります。	スキャナのガラス面から原稿を取り除き、スタート を押します。
[このバージョンの MFP ファームウェアに対応するには、デジタル送信サービスをアップグレードする必要があります。 管理者に問い合わせてください。]	現在インストールされているデバイスのファームウェア バージョンで、デジタル送信サービスが対応されていません。	ファームウェアのバージョンを確認してください。 ネットワーク管理者に問い合わせてください。
[この機能を使用するには認証が必要]	ユーザー名とパスワードが必要です。	ユーザー名とパスワードを入力するか、ネットワーク管理者にご連絡ください。
[コピーできません]	文書をコピーできません。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。	ファックスするか電子メールに送信するためにこのメッセージを一時的に隠す場合は、非表示 をタッチします。
[ジョブを送信できません]	ジョブを送信できません。	電子メールに送信するためにこのメッセージを一時的に隠す場合は、非表示 をタッチします。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[ジョブを保存できません]	ジョブを保存できません。	ファックスするか電子メールに送信するためにこのメッセージを一時的に隠す場合は、非表示 をタッチします。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください)。
[スキャン障害 [スタート] を押すと再スキャンされます]	スキャンが正常に実行されなかったため、文書をもう一度スキャンする必要があります。	必要に応じて、文書の位置をずらして再スキャンし、スタート を押します。
[ディスク <X>% のフォーマット完了 電源を切らないでください]	ハード ディスクのデータを消去しています。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[デジタル送信ジョブの実行エラーです。 ジョブは失敗しました。]	デジタル送信ジョブは失敗しました。配信できません。	ジョブを再送信してください。
[デジタル送信にはネットワーク接続が必要です。 管理者に問い合わせてください。]	デジタル送信機能が設定されていますが、ネットワーク接続が検出されません。	ネットワーク接続を確認します。 「ネットワーク印刷に関するトラブルの解決」を参照してください。 ネットワーク管理者に問い合わせてください。
[デジタル送信の通信エラー]	デジタル送信タスク中にエラーが発生しました。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
[デバイスの電源を切り、ハード ディスクを取り付けてください。]	要求されたジョブにはハード ディスクが必要ですが、デバイスにハード ディスクが取り付けられていません。	デバイスの電源を切り、ハード ディスクを取り付けてください。
[トレイ <X> への操作は現在使用できません トレイ サイズに任意サイズ/任意カスタムは使用不可]	**[任意のサイズ]** または **[任意のカスタム]** に設定されているトレイから、両面の文書が要求されました。 **[任意のサイズ]** または **[任意のカスタム]** に設定されているトレイから両面印刷は実行できません。	別のトレイを選択するか、トレイを設定し直します。
[トレイ 1 にセットする用紙 : <タイプ>、<サイズ>]	トレイが空か、要求されたサイズとは異なるサイズに設定されています。	画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作します。
[トレイ XX が開いているか空です]	このトレイが開いているか空です。	トレイに用紙をセットするか、トレイを閉じます。 別のトレイから印刷を続行できます。
[パスワードまたはユーザー名が正しくありません。 正しいログイン情報を入力してください。]	ユーザー名またはパスワードが正しく入力されませんでした。	ユーザー名とパスワードを入力し直してください。
[ファックスを送信できません ファックスの設定を確認します。]	ファックス ジョブを送信できません。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
[フォルダ リストが一杯です。 フォルダを追加するには、まずフォルダを削除します。]	作成できるフォルダ数の制限に達しました。	使用していないフォルダを削除して新規フォルダを追加します。
[フォント/データをロードするにはメモリが足りません <デバイス> 続けるには、[OK] をタッチします]	デバイスのメモリが足りないため、この位置からデータ (フォント、マクロなど) をロードできません。	この情報を表示せずに続行するには、OK をタッチします。 このエラー メッセージが続く場合は、メモリを増設します。
[ユーザー名またはパスワードが正しくありません。 もう一度入力してください。]	ユーザー名またはパスワードが正しく入力されませんでした。	ユーザー名とパスワードを入力し直してください。
[ユーザー名、ジョブ名、または PIN が見つかりません。]	必須項目の 1 つ以上が未選択か未入力です。	正しいユーザー名とジョブ名を選択し、正しい PIN を入力してください。
[黒カートリッジの注文]	プリント カートリッジに残っているページ数は残量低下のしきい値に達しました。 デバイスは新しいサプライ品が必要になると印刷を中止するように設定されています。	プリント カートリッジのトナーがなくなるまで印刷を続行するには、OK をタッチします。 新しいプリント カートリッジを発注するには、「パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文」を参照してください。
[黒カートリッジを交換してください]	プリント カートリッジのトナーがなくなりました。 注記 デバイスの設定方法によっては、新しいプリント カートリッジを注文するタイミングでこのメッセージが表示されます。 この場合、**[OK]** をタッチすると、印刷が続行されます。	プリント カートリッジを交換します。 (「プリント カートリッジの変更」を参照)。

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[黒カートリッジを取り付けてください]	プリント カートリッジが外されました。または正しく設置されていません。	印刷を続行するには、プリント カートリッジを交換し、正しく取り付けます。
[手差し： <タイプ>、<サイズ>]	このジョブには、トレイ 1 から手差しする必要があります。	必要なメディアをトレイ 1 にセットします。 エラー メッセージを消去するには、OK をタッチし、別のトレイにセットされているメディアのタイプとサイズを使用します。
[正面のドアを閉じます]	正面左下のドアが開いています。	正面ドアを閉じます。
[接続できません]	ネットワーク接続が検出されません。	ネットワーク接続を確認します。 ネットワーク管理者に問い合わせてください。
[選択したパーソナリティは使用できません 続けるには、[OK] をタッチします]	印刷ジョブには、このデバイスで使用できない言語 (パーソナリティ) が必要です。 このジョブは印刷されません。またメモリからクリアされます。	異なるプリンタ言語のプリンタ ドライバを使用してジョブを印刷するか、(可能であれば) 必要な言語をデバイスに追加します。 使用できるパーソナリティ リストを参照するには、設定ページを印刷してください。「[情報ページ] の使用」を参照してください。
[送信できません]	ネットワーク接続が検出されません。	ネットワーク接続を確認します。 ネットワーク管理者に問い合わせてください。
[添付ファイルのサイズが大きすぎるため、電子メールのゲートウェイがジョブを拒否しました。]	スキャンした文書はサーバのサイズ制限を超えています。	解像度を低くするか、ファイル サイズ設定を小さくするか、ページ数を減らして、ジョブを再送信します。 添付ファイルのサイズを小さくする方法についていは、「内蔵 Web サーバの使用」を参照してください。 スキャンした文書を複数の電子メールを使用して送信する方法については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
[電子メールのゲートウェイが応答しませんでした。 ジョブは失敗しました。]	ゲートウェイのタイム アウト値を過ぎました。	SMTP の IP アドレスを確認します。「電子メールに関する問題の解決」を参照してください。
[入力したフォルダは有効なフォルダではありません。]	フォルダ名の入力を間違ったか、フォルダが存在しません。	フォルダ名を正しく入力し直すか、フォルダを追加します。
[認証が必要]	この機能または排紙先には認証が設定されています。 ユーザー名とパスワードが必要です。	ユーザー名とパスワードを入力するか、ネットワーク管理者にご連絡ください。
[排紙ビン <X> が一杯です]	この排紙ビンが一杯なので、印刷を続行できません。	印刷を続行するにはビンを空にします。
[表面の光学システム エラー]	スキャナにエラーが発生しました。	ファックスや電子メールを送信するために一時的にエラー メッセージを消去するには、非表示 をタッチします。 このメッセージが続く場合、HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください。
[文書フィーダが空です]	文書フィーダ (ADF) に用紙がセットされていません。	文書フィーダ (ADF) の給紙トレイに用紙をセットします。
[文書フィーダのカバーが開いています]	文書フィーダ (ADF) のカバーが開いています。	文書フィーダ (ADF) のカバーを閉じます。 画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作します。

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[文書フィーダのピック エラー]	文書フィーダ (ADF) のメディアの取り込み中にエラーが発生しました。	原稿の枚数が 50 ページ未満であることを確認します。 画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作します。
[文書フィーダの紙詰まり]	文書フィーダ (ADF) で紙詰まりが発生しました。	画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作します。 「給紙トレイ付近からの紙詰まりの解除」を参照してください。
[文書フィーダの紙詰まり]	文書フィーダ (ADF) で紙詰まりが発生しました。	文書フィーダ (ADF) から紙詰まりを取り除きます。 画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作するか、「給紙トレイ付近からの紙詰まりの解除」を参照してください。 すべての紙詰まりを取り除いてもこのエラー メッセージが続く場合、センサーが詰まっているか破損しています。 HP の正規サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください HP のサポート パンフレットまたは www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp を参照してください。
[両面印刷ができません後部ビンを閉じます]	後部ビンが開いていると、両面印刷を実行できません。	後部排紙ビンを閉じます。

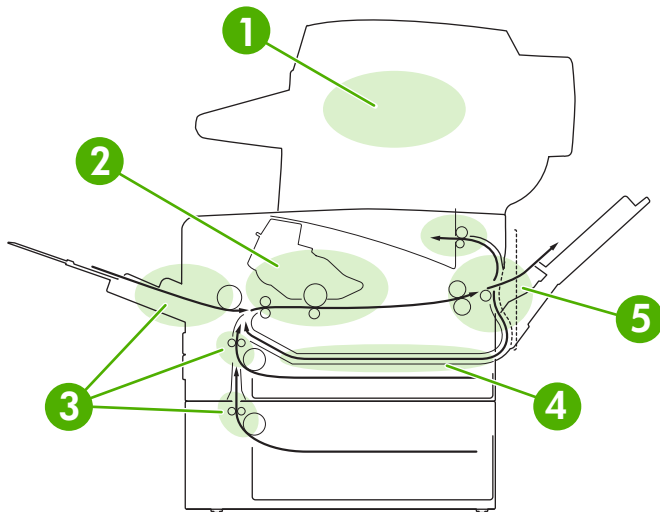
紙詰まりの一般的な原因

デバイスが紙詰まりを起こしています。[1]

原因	解決方法
メディアがプリンタの仕様を満たしていない	HP の仕様を満たすメディアのみを使用します。 「メディアについて」を参照してください。
コンポーネントが正しく取り付けられていない	プリント カートリッジが所定の位置に取り付けられていることを確認します。
デバイスやコピー機で使用したメディアを再使用した	印刷済みまたはコピーしたメディアは使用しないでください。
給紙トレイが正しくセットされていない	給紙トレイから余分なメディアを取り出します。 メディアの量がトレイの上限線を超えないようにしてください。 「メディアのセット」を参照してください。
メディアがずれる	給紙トレイのガイドが正しく調整されていません。 メディアが曲がらない程度に、適切な位置にしっかりと固定されるようにガイドを調整します。
メディアがくっついたり貼り付く	メディアを取り出し、よくさばくか、180 度回転させるか、あるいは裏返しにします。 メディアを給紙トレイにセットし直します。
排紙ビンに入る前にメディアを取り出した	デバイスをリセットします。 用紙を取り出さずに完全に排紙ビンに入るまで待ちます。
両面印刷の実行中、文書の裏面の印刷が終了する前に用紙を取り出した	デバイスをリセットし、文書を印刷し直します。 用紙を取り出さずに完全に排紙ビンに入るまで待ちます。
メディアの状態がよくない	メディアを交換してください。
内部トレイ ローラーがメディアを取り込みません。	120g/m^2 よりも重いメディアは、トレイから給紙されないことがあります。
メディアの端がギザギザになっている	メディアを交換してください。
メディアに穴が空いているか、またはエンボス加工されている	穴が空いていたり、エンボス加工されているメディアは 1 枚ずつ取りにくいことがあります。 トレイ 1 から 1 枚ずつ給紙してください。
デバイスのサプライ品の耐用寿命が切れています。	サプライ品を交換するように促すメッセージが表示されるかどうか、デバイスのコントロール パネルを確認します。あるいは、サプライ品のステータス ページを印刷して、サプライ品の残量を確認します。 「[情報ページ] の使用」を参照してください。
用紙が正しく保管されていなかった	トレイにセットされている用紙を交換してください。 用紙は、管理された環境で元のパッケージに入れて保管する必要があります。
デバイスの梱包材がすべて取り外されていませんでした。	梱包のテープ、カードボード、プラスティックの出荷ロックがデバイスから取り外されていることを確認します。

[1] デバイスの紙詰まりが解消されない場合は、HP カスタマ・サポートまたは HP 認定サービス プロバイダまでお問い合わせください。

紙詰まりの場所

この図を使用して、デバイスの紙詰まり場所を確認します。 紙詰まりの解除方法については、「紙詰まりの解消」を参照してください。

1	自動文書フィーダ (ADF)
2	プリント カートリッジ
3	給紙トレイ
4	両面印刷の経路 (両面印刷用)
5	排紙ビン

紙詰まりの除去

このデバイスには、紙詰まりが解消された後に紙詰まりを起こしたページを再印刷するときに、紙詰まり解除機能があります。

- **[自動]** に設定すると、デバイスのメモリが十分にあれば、紙詰まり解除が自動的に有効になります。
- **[オフ]** にすると、詰まったページを印刷し直しません。 オフにするとデバイス メモリを節約できます。
- **[オン]** にすると、紙詰まりを解消した後に紙詰まりを起こしたページが再印刷されます。

注記　紙詰まりを解除する際、紙詰まりが発生する前に印刷されたページが再印刷されることがあります。 重複するページがある場合はそのページを必ず除去してください。

印刷速度を向上させたり、メモリ リソースを増やす場合は、紙詰まり解除機能を無効にします。

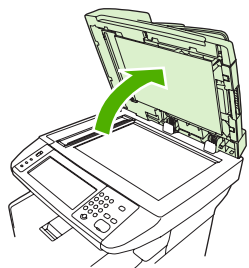
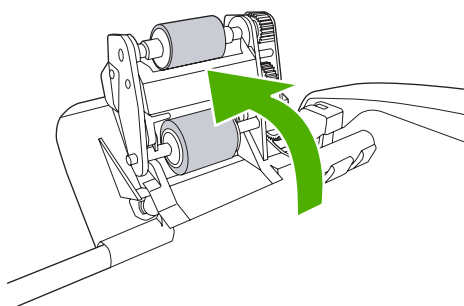
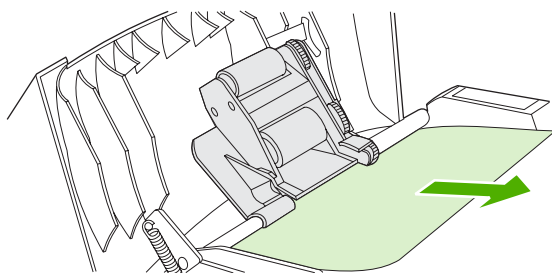
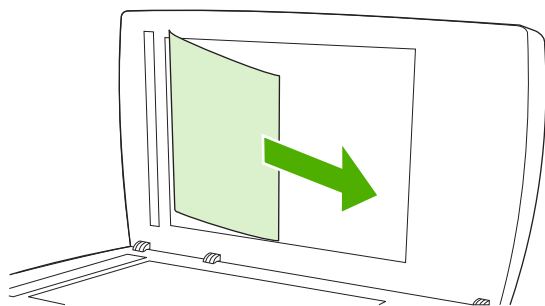
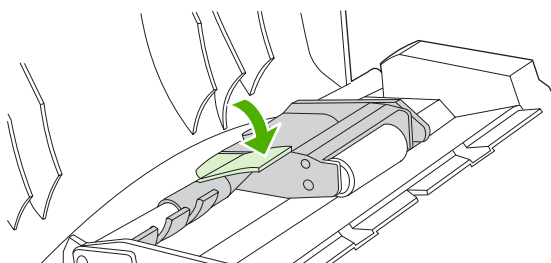
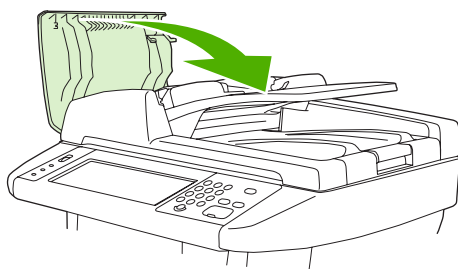
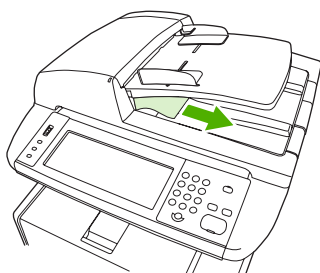
紙詰まり解除機能を無効にする

1. [ホーム] 画面の 管理 をタッチします。
2. デバイス動作 にタッチします。
3. 警告/エラー動作 にタッチします。
4. 紙詰まり解除 にタッチします。
5. オフ にタッチします。
6. 保存 にタッチします。

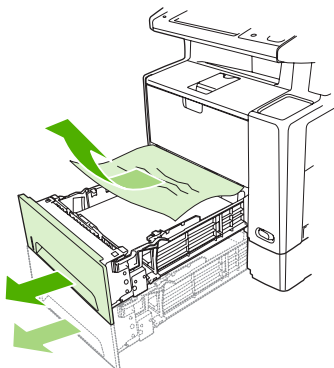
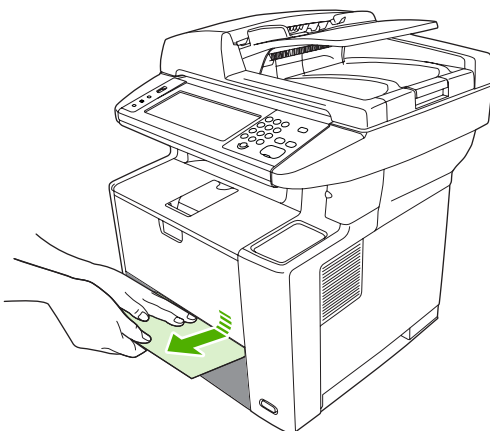
紙詰まりの解消

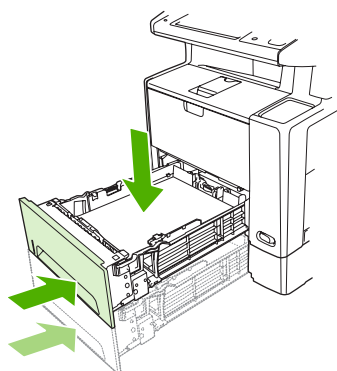
紙詰まりを解除するときに、メディアが破れないように十分に注意してください。 デバイス内にメディアの一部が残っていると、再び紙詰まりが発生する可能性があります。

ADF の紙詰まりの解消

1. ADF のカバーを開けます。

2. 緑色のレバーを持ち上げ、開いたままになるまでピックを回転します。

3. 裂けないようにそっとメディアを取り除きます。 取り除くときに抵抗を感じる場合は、次の手順に進みます。

4. スキャナ カバーを開き、両手を使ってメディアをそっとゆるめます。 メディアが自由に動くようになったら、次の方向でゆっくりと引き出します。

5. スキャナ カバーを閉じ、ローラー装置を下げます。

6. ADF のカバーを閉じます。

7. 排紙ビン周辺にメディアが見える場合は、そっと引き出します。

給紙トレイ付近からの紙詰まりの解除

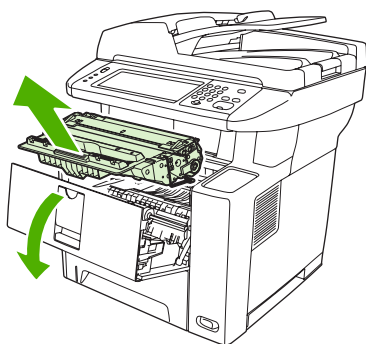
注記　トレイ 1 付近からメディアを取り除くには、デバイスからメディアをゆっくり引き出します。 その他のトレイの場合は、以下の手順を実行します。

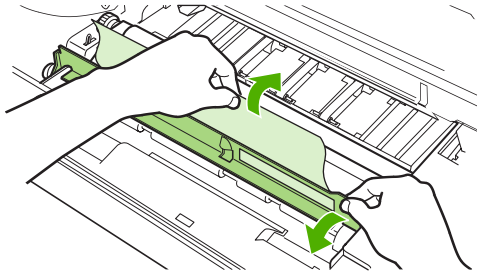
1. デバイスからトレイを引き出し、傷んだ用紙があれば取り除きます。

2. 紙送り付近で用紙の端が見えている場合は、ゆっくり丁寧に紙を引っ張り出します。 用紙が見えない場合は、前面カバー付近を確認してください。

注記　紙が引き出しにくい場合でも、力を入れすぎないようにしてください。 用紙がトレイに詰まっている場合は、トレイの上から取り除くか、前面カバーを開けて取り除きます。

3. トレイを戻す前に、用紙の四隅が折れたり丸まっていないことと、用紙がガイドのタブの下に収まっていることを確認します。

4. 前面ドアを開いてから閉じ、タッチスクリーンの OK にタッチすると、紙詰まりメッセージはクリアされます。

紙詰まりメッセージが消えない場合は、デバイス内にまだ用紙が残っています。 他の場所でメディアが詰まっていないか探してください。

プリント カートリッジ付近からの紙詰まりの解除

1. 前面カバーを開けてプリント カートリッジを取り出します。

注意　損傷を防ぐために、プリント カートリッジを長時間 (2、3 分以上) 光に当てないでください。

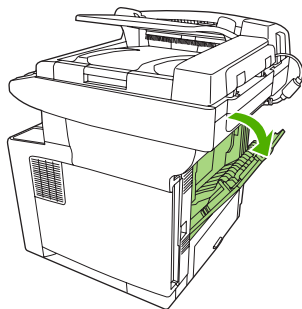
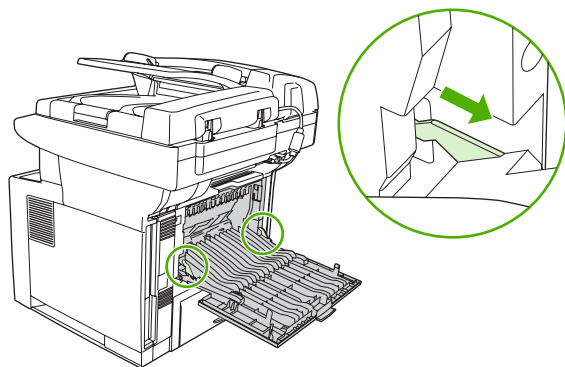
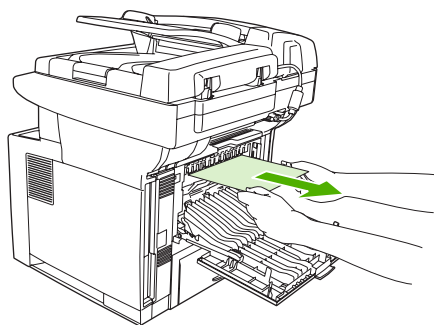
2. プレートを開き、メディアをゆっくりデバイスから引き出します。 メディアが破れないように注意してください。

注意 トナーの粉がこぼれないないようにしてください。 糸くずのでない、乾いた布を使って、デバイス内にこぼれたトナーを拭き取ります。 トナーの粉がデバイス内に落ちると、一時的に印刷品質が問題になる可能性があります。 数ページ印刷してから、用紙経路にあるトナーの粉を取り除く必要があります。 トナーが衣服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗濯してください。 お湯を使うと、トナーが布に染み着きます。

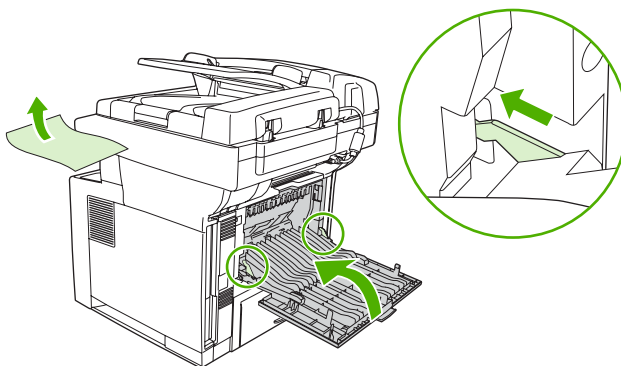
3. プリント カートリッジを取り付けてから、前面カバーを閉じます。

紙詰まりメッセージが消えない場合は、デバイス内にまだ用紙が残っています。 他の場所でメディアが詰まっていないか探してください。

排紙ビン付近からの紙詰まりの解除

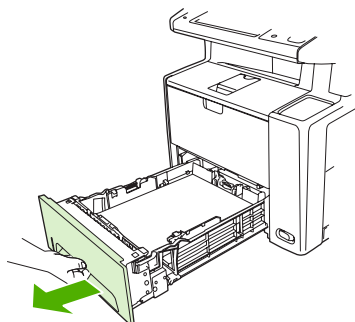
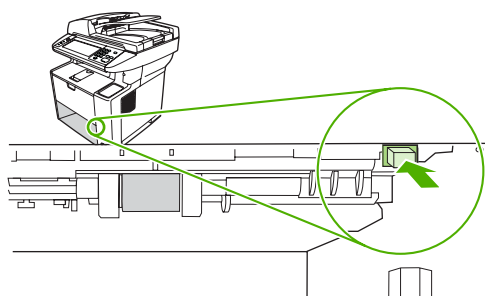
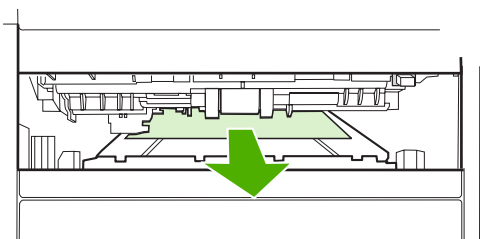
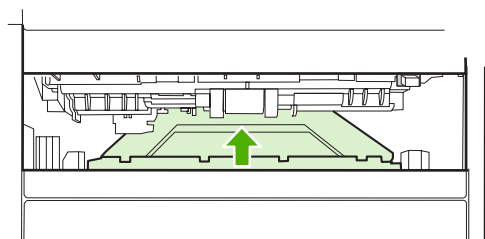
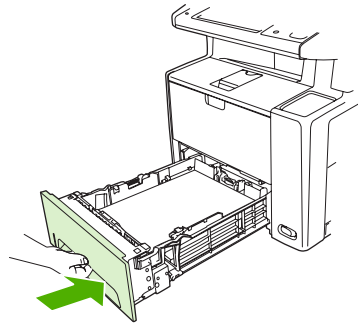
注記 上部排紙ビン付近で紙詰まりが発生し、用紙のほとんどがまだデバイス内に残っている場合は、後部ドアから取り除くことをお勧めします。

1. 後部排紙ビンを開きます。

2. ドア ストップが外れるまでビンのドアを押し下げて、ドアを開きます。

3. 用紙の両端をしっかり持って、メディアをゆっくりデバイスから引き出します (メディアにトナーの粉が付いている可能性があります。 この場合、衣服や身体に付かないように、またデバイス内部に落ちないように注意してください)。

注記 メディアが引き出しにくい場合は、前面カバーを開けてプリント カートリッジを取り外し、メディアをスムーズに取り除けるようにします。

4. 後部ビンを閉じます。

5. 前部カバーを開け閉めすると、紙詰まりメッセージが消えます。

紙詰まりメッセージが消えない場合は、デバイス内にまだ用紙が残っています。 他の場所でメディアが詰まっていないか探してください。

両面印刷ユニットの紙詰まりの解消

1. デバイスからトレイ 2 を外します。

2. トレイ 2 の右上にある緑色のボタンを押すと、両面印刷の用紙経路が開きます。

3. 詰まった紙を見つけて引き出します。

4. 両側がカチッと音がするまで、両面印刷ユニットのアクセス プレートの裏にある底部分を押します。

5. トレイ 2 をセットしなおします。

頻繁に発生する紙詰まりの対策

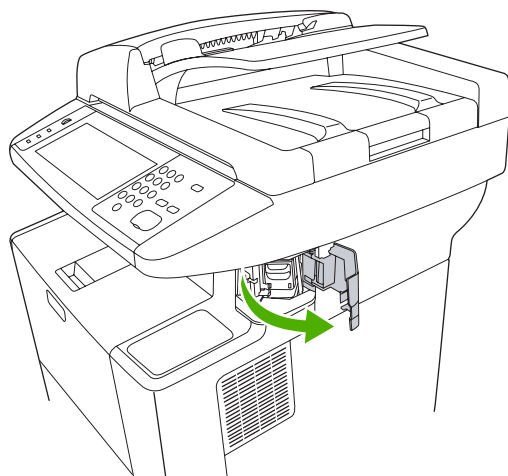
紙詰まりが頻繁に発生する場合は、以下を試してください。

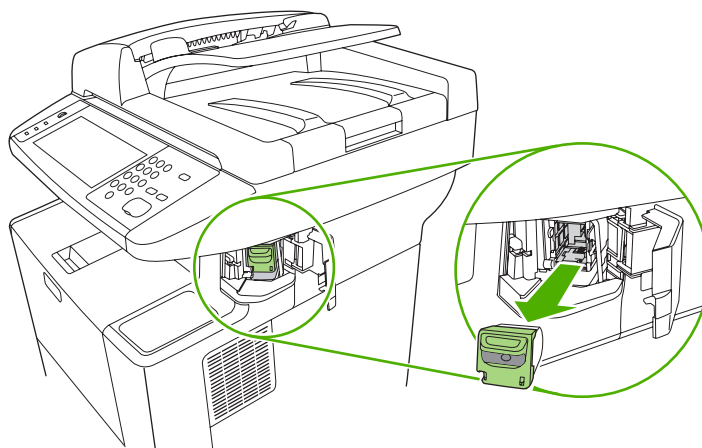
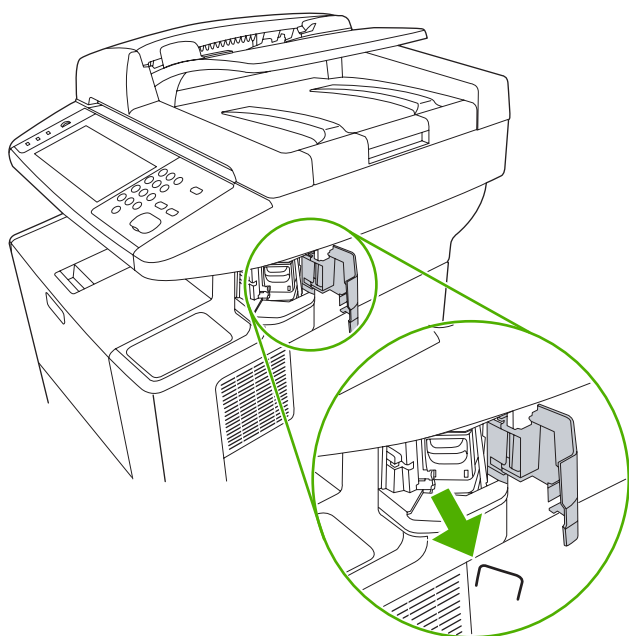
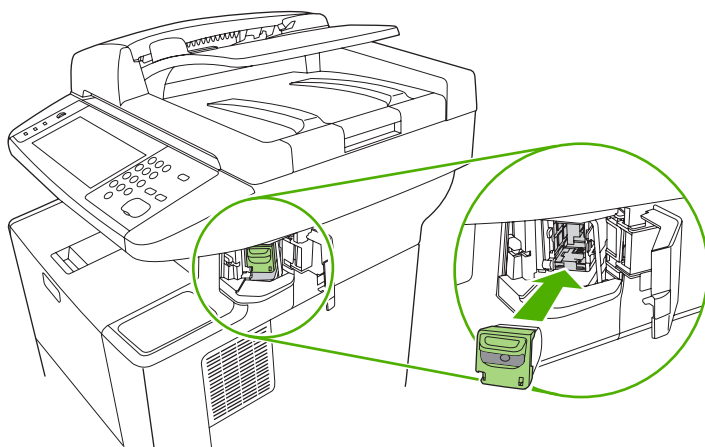
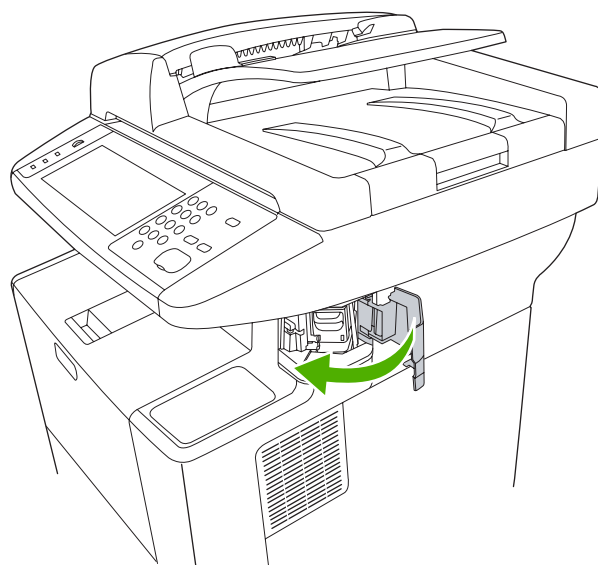
- 紙詰まりが発生する場所をすべて点検します。 デバイスのどこかにメディアの断片が詰まっている可能性があります。
- メディアがトレイに正しくセットされているか、セットされたメディア サイズに合わせてトレイが調整されているか、トレイに制限以上の用紙の枚数をセットしていないかを確認します。
- すべてのトレイと用紙処理アクセサリが、デバイスにしっかり取り付けられていることを確認します (印刷ジョブ中にトレイが開いていると、紙詰まりの原因になる場合があります)。
- すべてのカバーとドアが閉じていることを確認します。 (印刷ジョブ中にカバーやトレイが開いていると、紙詰まりの原因になる場合があります)。
- 別の排紙ビンへ印刷してみてください。
- 用紙が互いに付着している可能性があります。 用紙が分離するように、用紙の束を曲げてみます。 用紙の束は扇状に広げないようにしてください。
- トレイ 1 から印刷する場合は、一度にセットするメディアの枚数を減らしてみてください。
- インデックス カードなどの小さめのメディアに印刷する場合は、トレイ内のメディアの向きが正しいことを確認します。
- トレイ内のメディアの束を裏返し、 180 度回転させます。
- 回転させたメディアを別の方向からデバイスに給紙します。
- メディアの品質をチェックします。 破れたり変形したメディアは、*使用しないでください*。
- HP の仕様を満たすメディアのみを使用します。 「メディアについて」を参照してください。
- デバイスやコピー機で一度使用した用紙は使用しないでください。 封筒、OHP フィルム、ベラム紙、またはラベル紙の両面には印刷しないでください。
- ステイプルが付いたメディアやステイプルを外したメディアは使用しないでください。 ステイプルによってデバイスが損傷しても保証できない場合があります。
- デバイスに供給されている電源が安定していて、デバイスの仕様を満たしていることを確認します。 「仕様」を参照してください。

- デバイスのクリーニングを行ってください。 「デバイスのクリーニング」を参照してください。
- デバイスの定期保守を行うには、HP 正規サービス代理店までご連絡ください。 デバイスに付属のサポート パンフレットを参照するか、「www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp」を参照してください。

ステイプラ詰まりの解消

ステイプルが詰まる危険性を低くするには、同時にステイプル留めするメディア (80 g/m^2 または 20 ポンド) は 20 ページ以下にします。

1. ステイプラ ドアを開きます。

注記 ステイプラ ドアを開くとステイプラは無効になります。

2. ステイプル カートリッジをデバイスから外します。

3. ステイプラとステイプル カートリッジから、ゆるいステイプルを取り除きます。

4. ステイプル カートリッジを交換します。

5. ステイプラ ドアを閉じます。

6. メディアを挿入してステイプラをテストします。

必要に応じて 1 ～ 6 の手順を繰り返します。

印刷品質に関する問題の解決

ここでは、印刷品質問題の定義とその解決方法について説明します。 よく起こる印刷品質の問題は、デバイスが正しく保守されていることを確認する、HP 仕様を満たしている印刷メディアを使用する、またはクリーニング ページを実行するといった方法で簡単に解決することができます。

メディアに関連する印刷品質の問題

不適切なメディアを使用すると、印刷品質に問題が発生することがあります。

- HP 仕様を満たしているメディアを使用します。 「メディアについて」を参照してください。
- メディアの表面がなめらかすぎます。 HP 仕様を満たしているメディアを使用します。 「メディアについて」を参照してください。
- 水分含有率にばらつきがあるか、高すぎるまたは低すぎます。 別のトレイの用紙または未開封の用紙を使用します。
- メディアにトナーをはじく部分があります。 別のトレイの用紙または未開封の用紙を使用します。
- 使用しているレターヘッドが、粗いメディアに印刷されています。 より滑らかで乾燥印刷用のメディアを使用してください。 これで問題が解決した場合は、レターヘッドのサプライヤに連絡して、このデバイスの仕様に合う用紙を使用するように依頼してください。 「メディアについて」を参照してください。
- メディアが粗すぎます。 より滑らかで乾燥印刷用のメディアを使用してください。
- ドライバが正しく設定されていません。 メディア タイプの設定を変更するには、「印刷ジョブの制御」を参照してください。
- 使用しているメディアが、設定されているメディア タイプより厚すぎるため、トナーがメディアに定着していません。

環境に関連する印刷品質の問題

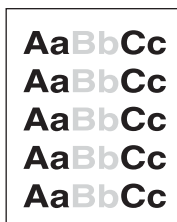
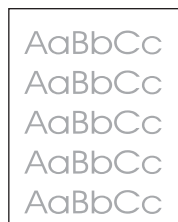
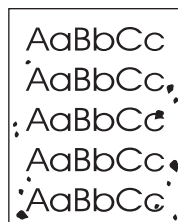
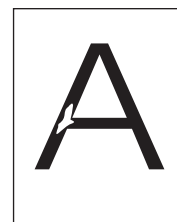
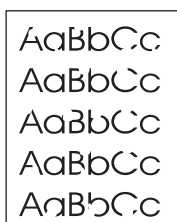
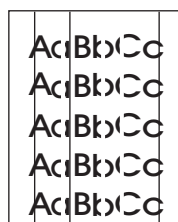
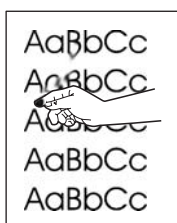
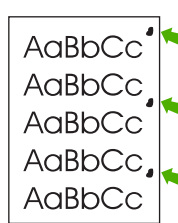
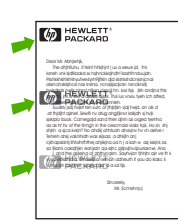
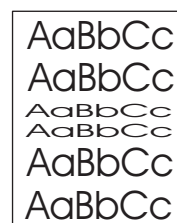
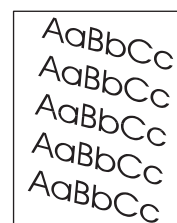
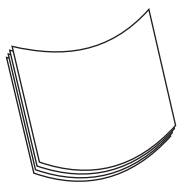
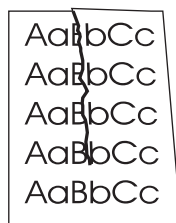
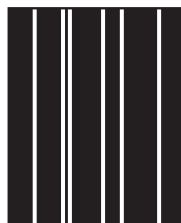
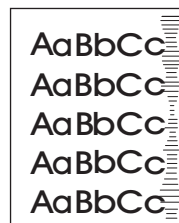
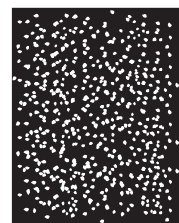
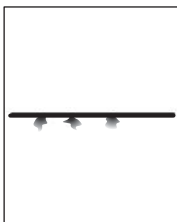
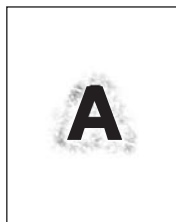
デバイスの動作環境の湿度が非常に高いか、または乾燥している場合は、印刷環境が仕様範囲内かどうかを確認してください。 「動作環境」を参照してください。

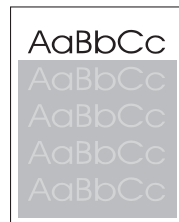
紙詰まりに関連する印刷品質の問題

詰まった用紙が用紙経路からすべて取り除かれていることを確認します。 「紙詰まりの解消」を参照してください。

- 紙詰まりの発生直後は、デバイスをクリーニングするために用紙を 2 ～ 3 枚印刷してください。
- 用紙がフューザを通過しなかったために、後続の文書のイメージが印刷されない場合は、3 ページ分印刷してデバイスをクリーニングします。 問題が解決しない場合は、クリーニング ページを印刷して対処します。 「デバイスのクリーニング」を参照してください。

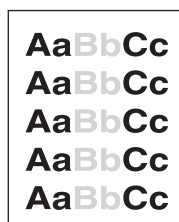
不良イメージの例

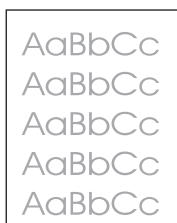
以下の不良イメージの例を参考にして、発生している印刷品質の問題を特定し、次にその問題を解決するための参照ページを参照してください。 これらの例は、印刷品質に関する最も一般的な問題です。 推奨されている解決策を試しても問題を解決できない場合は、HP カスタマ サポートまでお問い合わせください。

最新の情報については、「薄い印字 (ページの一部分)」を参照してください	最新の情報については、「薄い印字 (ページ全体)」を参照してください	最新の情報については、「斑点」を参照してください	最新の情報については、「斑点」を参照してください	最新の情報については、「文字等が欠落する」を参照してください
最新の情報については、「文字等が欠落する」を参照してください	最新の情報については、「文字等が欠落する」を参照してください	最新の情報については、「線が印刷される」を参照してください	最新の情報については、「背景が灰色になる」を参照してください	最新の情報については、「トナーのにじみ」を参照してください
最新の情報については、「トナーが落ちやすい」を参照してください	最新の情報については、「不正な印刷が繰り返される」を参照してください	最新の情報については、「イメージが繰り返し印刷される」を参照してください	最新の情報については、「文字が歪んで印刷される」を参照してください	最新の情報については、「ページの歪み」を参照してください

最新の情報については、「用紙が丸まったり波打つ」を参照してください

最新の情報については、「しわや折れ目が入る」を参照してください

最新の情報については、「縦に白い線が入る」を参照してください

最新の情報については、「タイヤの跡のような模様が印刷される」を参照してください

最新の情報については、「黒い部分に白い点が入る」を参照してください

「トナーが飛び散って線が印刷される」を参照してください。

「ぼやけて印刷される」を参照してください。

「ランダムなイメージが繰り返し印刷される」を参照してください (濃い場合)。

「ランダムなイメージが繰り返し印刷される」を参照してください (薄い場合)。

注記 これらの例は、デバイスから給紙されたレター サイズのメディアを示しています。

薄い印字 (ページの一部分)

AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc

1. プリント カートリッジが完全に取り付けられていることを確認します。
2. プリント カートリッジのトナー残量が少ない可能性があります。プリント カートリッジを交換します。
3. メディアが HP 仕様を満たしていない可能性があります (たとえば、メディアが非常に湿っている、または非常に粗い場合)。「メディアについて」を参照してください。

薄い印字 (ページ全体)

1. プリント カートリッジが完全に取り付けられていることを確認します。
2. コントロール パネルとプリンタ ドライバで、Economode 設定がオフになっていることを確認します。
3. デバイスのコントロール パネルで、管理 メニューを開きます。 印刷品質 メニューを開き、トナー濃度 設定を増やします。 「印刷品質 メニュー」を参照してください。
4. 他の種類のメディアを使用してください。
5. プリント カートリッジがほとんど空の可能性があります。プリント カートリッジを交換します。

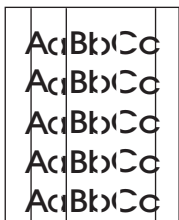
斑点

斑点は、紙詰まりを除去した後に発生することがあります。

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. デバイスの内部をクリーニングし、クリーニング ページを実行します。 「デバイスのクリーニング」を参照してください。
3. 他の種類のメディアを使用してください。
4. プリント カートリッジのトナー漏れがないか確認します。プリント カートリッジの漏れがある場合は、カートリッジを交換してください。

文字等が欠落する

1. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。「動作環境」を参照してください。
2. メディアが粗く、こするとトナーが簡単に落ちる場合は、デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 メニューを開き、フューザ モード を選択し、使用している メディア タイプを選択します。「印刷品質 メニュー」を参照してください。
3. より滑らかなメディアを使用してください。

線が印刷される

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. デバイスの内部をクリーニングし、クリーニング ページを実行します。「デバイスのクリーニング」を参照してください。
3. プリント カートリッジを交換します。

背景が灰色になる

1. 一度デバイスを通したメディアは再度使用しないでください。
2. 他の種類のメディアを使用してください。
3. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
4. トレイ内の束を裏返し、 180 度回転させます。

5. デバイスのコントロール パネルで、管理 メニューを開きます。 印刷品質 メニューを開き、トナー濃度 設定を増やします。 「印刷品質 メニュー」を参照してください。

6. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「動作環境」を参照してください。

7. プリント カートリッジを交換します。

トナーのにじみ

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。

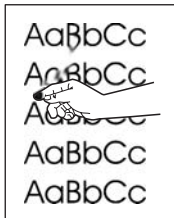
2. 他の種類のメディアを使用してください。

3. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「動作環境」を参照してください。

4. デバイスの内部をクリーニングし、クリーニング ページを実行します。 「デバイスのクリーニング」を参照してください。

5. プリント カートリッジを交換します。

「トナーが落ちやすい 」も参照してください。

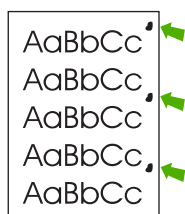
トナーが落ちやすい

ここでは、「トナーが落ちやすい」とは、印刷されたページをこするとトナーが落ちる状態を指します。

1. メディアが厚手または粗い場合は、デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューを開き、フューザ モード を選択し、使用しているメディア タイプを選択します。

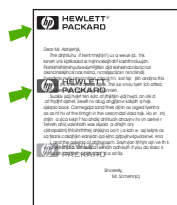
2. メディアの両面の粗さに違いがあることが分かっている場合は、滑らかなほうの面に印刷してください。

3. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「動作環境」を参照してください。

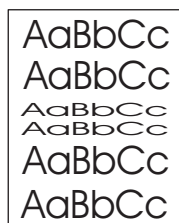
4. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「メディアについて」を参照してください。

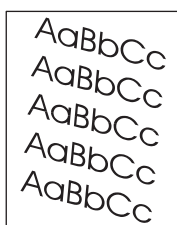
不正な印刷が繰り返される

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. 不良箇所の間隔が 47 mm (1.9 インチ)、62 mm (2.4 インチ)、または 96 mm (3.8 インチ) の場合は、プリント カートリッジを交換する必要があります。
3. デバイスの内部をクリーニングし、クリーニング ページを実行します。 「デバイスのクリーニング」を参照してください。

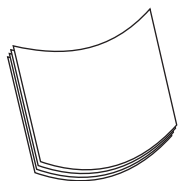
「イメージが繰り返し印刷される」も参照してください。

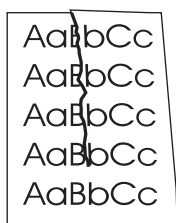
イメージが繰り返し印刷される

この種の問題は、印刷済みの用紙または大量の幅の狭いメディアを使用したときに発生する可能性があります。

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「メディアについて」を参照してください。
3. 不良箇所の間隔が 47 mm (1.9 インチ)、62 mm (2.4 インチ)、または 96 mm (3.8 インチ) の場合は、プリント カートリッジを交換する必要があります。

文字が歪んで印刷される

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「動作環境」を参照してください。

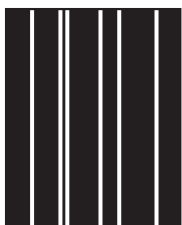
ページの歪み

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. メディアの破片がデバイス内に残っていないことを確認します。
3. メディアが正しくセットされ、すべての調整が完了していることを確認します 「メディアのセット」を参照してください。 トレイ内のガイドがメディアに対してきつすぎたり緩すぎたりしないことを確認します。
4. トレイ内の束を裏返し、 180 度回転させます。
5. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「メディアについて」を参照してください。
6. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します (「動作環境」を参照)。
7. デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開くことで、トレイを調整します。 印刷品質 サブメニューで、設定の登録 をタッチします。 ソース の下にあるトレイを選択し、テスト ページを実行します。 詳細については、「印刷品質 メニュー」を参照してください。

用紙が丸まったり波打つ

1. トレイ内の束を裏返します。 180 度回転させます。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください (「メディアについて」を参照)。
3. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します (「動作環境」を参照)。
4. 別の排紙ビンへ印刷してみます。
5. メディアが薄手または滑らかな場合は、デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューを開き、フューザ モード をタッチし、使用しているメディア タイプを選択します。 その設定を LOW (低) に変更して、フューザでの処理時の温度を下げます。

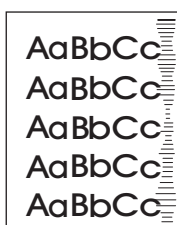
しわや折れ目が入る

AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「動作環境」を参照してください。
3. トレイ内の束を裏返します。 180 度回転させます。
4. メディアが正しくセットされ、すべての調整が完了していることを確認します 「メディアのセット」を参照してください。
5. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「メディアについて」を参照してください。
6. 封筒に折り目がある場合は、平らにしてから保存してください。

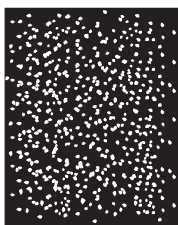
上記の操作を実行してもしわや折り目が改善されない場合、デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューを開き、フューザ モード を選択し、使用しているメディア タイプを選択します。 その設定を LOW (低) に変更して、フューザでの処理時の温度を下げます。

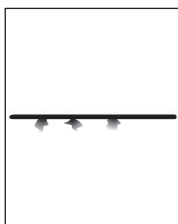
縦に白い線が入る

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「メディアについて」を参照してください。
3. プリント カートリッジを交換します。

タイヤの跡のような模様が印刷される

AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc

通常、この不具合は、プリント カートリッジが定格寿命を超過しているときに発生します。 たとえば、残り少ないトナーで大量の用紙を印刷する場合などです。

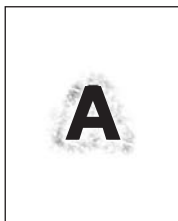
1. プリント カートリッジを交換します。
2. 印刷部分の少ないページの印刷枚数を減らしてください。

黒い部分に白い点が入る

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「メディアについて」を参照してください。
3. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「動作環境」を参照してください。
4. プリント カートリッジを交換します。

トナーが飛び散って線が印刷される

1. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「メディアについて」を参照してください。
2. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「動作環境」を参照してください。
3. トレイ内の束を裏返します。 180 度回転させます。

4. デバイスのコントロール パネルで、管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューを開き、トナー濃度 設定を変更します。 「印刷品質 メニュー」を参照してください。

5. デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューで、最適化 を開いて 細部を重視=オン に設定します。

ぼやけて印刷される

1. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「メディアについて」を参照してください。

2. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「動作環境」を参照してください。

3. トレイ内の束を裏返します。 180 度回転させます。

4. 一度デバイスをを通したメディアは再度使用しないでください。

5. トナー濃度の値を下げます。 デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューを開き、トナー濃度 設定を変更します。 「印刷品質 メニュー」を参照してください。

6. デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューで、最適化 を開いて 高転写=オン に設定します。 「印刷品質 メニュー」を参照してください。

ランダムなイメージが繰り返し印刷される

ページの上部に黒色で印刷されるイメージがページの下部に (グレーの範囲内に) 繰り返し印刷される場合、トナーが前回のジョブから完全に消されていない可能性があります (繰り返し印刷されるイメージが、印刷されるフィールドより薄いまた濃い場合があります)。

- イメージが繰り返し印刷される範囲のトーン (濃さ) を変更します。
- イメージが印刷される順序を変更します。たとえば、ページの上部に薄いイメージ、ページの下部に濃いイメージを印刷します。
- ソフトウェア プログラムで、ページ全体を 180 度回転して最初に薄めのイメージを印刷します。
- 印刷ジョブ中に不具合が発生した場合は、デバイスの電源を切り、10 分後に入れ直して印刷ジョブを再開します。

ネットワーク印刷に関するトラブルの解決

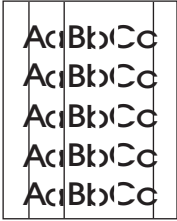
注記 デバイスの CD-ROM を使って、ネットワーク上にデバイスをインストールしてセットアップすることをお勧めします。

- 設定ページを印刷します (「[情報ページ] の使用」を参照)。 HP Jetdirect プリント サーバがインストールされている場合、設定ページを印刷すると、2 ページ目にネットワーク設定とステータスが印刷されます。
- Jetdirect 設定ページのヘルプと詳細については、デバイスの CD-ROM に収録されている『*HP Jetdirect 内蔵プリント サーバ管理者用ガイド*』を参照してください。 このガイドを開くには、CD-ROM を起動して、**[プリンタのマニュアル]**、**[HP Jetdirect Guide (HP Jetdirect ガイド)]**、**[Troubleshooting the HP Jetdirect Print Server (HP Jetdirect プリント サーバのトラブル解決)]** を順にクリックします。
- 別のコンピュータからジョブを印刷してみます。
- デバイスとコンピュータの動作を確認するには、USB ケーブルを使用して、デバイスとコンピュータを直接接続し、プリント ソフトウェアを再インストールします。 プログラムから、以前に正常に印刷された文書を印刷します。 この方法で正常に印刷された場合、問題の原因はネットワークの可能性があります。
- この問題を解決するには、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

コピーに関する問題の解決

コピーに関する問題の防止

ここでは、コピー品質を簡単に改善できる手順を説明します。

- スキャナからコピーします。 スキャナを使用すると、自動文書フィーダ (ADF) からコピーするよりも品質が高くなります。
- 高い品質の原稿を使用します。
- メディアを正しくセットします。 メディアが正しくセットされていないと、メディアが歪んで、イメージが不明瞭になり、OCR プログラムで適切に読み取れない可能性があります。 操作方法については、「メディアのセット」を参照してください。
- 原稿を保護するために、適切な用紙を使用します。

注記　メディアが HP の仕様に合っていることを確認します。 メディアが HP の仕様に合っているのに給紙の問題が繰り返し起こる場合は、ピックアップ ローラーまたは仕分けパッドが摩耗していることを示します。 HP カスタマ ケアにご連絡ください。 HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。

イメージの問題

問題	原因	解決方法
イメージが印刷されません。または薄い色です。	プリント カートリッジのトナー レベルが低い可能性があります。	プリント カートリッジを交換します。「プリント カートリッジの変更」を参照してください。
	原稿の品質が低いこともあります。	原稿が明るすぎたり破損している場合、濃さを調整しても、補正できない場合があります。 可能であれば、状態のよい原稿を使用してください。
	原稿の背景に色が付いていることがあります。	コピー、イメージ調整 の順にタッチします。 背景色を少なくするには、背景のクリーンアップ スライダを右に調整します。
コピーに白または薄い色の縦線が表示されます。 AaBbCc AaBbCc AaBbCc AaBbCc AaBbCc	メディアがプリンタの仕様を満たしていない可能性があります。	HP 仕様を満たしているメディアを使用します。 「メディアについて」を参照してください。
	プリント カートリッジのトナー レベルが低い可能性があります。	プリント カートリッジを交換します。「プリント カートリッジの変更」を参照してください。

問題	原因	解決方法
不要な線がコピーに表示されます。	トレイ 1 またはトレイ 2 が正しく設置されていません。	トレイが設置されていることを確認します。
	スキャナまたは ADF のガラス面が汚れている可能性があります。	スキャナまたは ADF のガラス面をクリーニングします。「デバイスのクリーニング」を参照してください。
	プリント カートリッジ内部の写真感知ドラムに傷が付いた可能性があります。	新品の HP 製プリント カートリッジを取り付けます。「プリント カートリッジの変更」を参照してください。
黒いドットまたは線がコピーに表示されます。	インク、のり、修正液などの望ましくない物質が、自動文書フィーダ (ADF) またはスキャナに付着しています。	デバイスをクリーニングしてください。「デバイスのクリーニング」を参照してください。
コピーが明るすぎるか濃すぎます。	濃さの設定を調整します。	コピー、イメージ調整の順にタッチします。 濃さ スライダを調整して、色の濃淡を設定します。
テキストが不明瞭です。	鮮明度の設定を調整します。 イメージをテキストに合わせて最適化する必要があります。	鮮明度を調整するには、コピー、イメージ調整 の順にタッチします。 鮮明度を高めるには、鮮明度 スライダを右に調整します。 テキストに合わせてイメージを最適化するには、コピー、テキスト/画像の最適化 の順にタッチします。 テキスト を選択します。

メディア処理に関する問題

問題	原因	解決方法
印刷品質やトナー定着性が低下する	用紙が湿りすぎている、粒子が粗すぎる、滑らかすぎる、エンボス加工されている、または不良品である可能性があります。	100 ～ 250 平滑度 (Sheffield) で水分含有量 4 ～ 6% の別の用紙を使用してください。
文字の欠落、紙詰まり、または丸まり	用紙が正しく保管されていませんでした。	防湿性の包装材で包み、平らな状態で保管してください。
	用紙が丸まります。	用紙を裏返します。
極端な丸まり	用紙が湿りすぎている、グレイン方向が間違っている、ショートグレイン用紙を使用している可能性があります。	後部排紙ビンを開くか、ロンググレイン用紙を使用してください。
	用紙が丸まります。	用紙を裏返します。
紙詰まりが発生してデバイスが損傷する	用紙に切り取り線やミシン目があります。	切り取り線やミシン目のない用紙を使用してください。

問題	原因	解決方法
給紙に関する問題	用紙の端が折れています。	レーザー プリンタ用の上質の用紙を使用してください。
	用紙が丸まります。	用紙を裏返します。
	用紙が湿りすぎている、荒すぎる、重すぎる、または滑らかすぎる、グレイン方向が間違っている、ショート グレイン用紙を使用している、エンボス加工されている、または不良品である可能性があります。	● 100 ～ 250 平滑度 (Sheffield) で水分含有量 4 ～ 6% の別の用紙を使用してください。 ● ロング グレイン用紙を使用してください。
ページの印刷が歪んだり、位置がずれます。	メディア ガイドの調整が不適切な可能性があります。	給紙トレイからすべてのメディアを取り除き、用紙の束を揃えて、給紙トレイにセットし直します。 使用するメディアの幅と長さに合わせてメディア ガイドを調整し、もう一度印刷します。
	スキャナの校正が必要な可能性があります。	トレイを調整し、スキャナを校正します。 ● デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開き、トレイを調整します。 印刷品質 サブメニューで、設定の登録 をタッチします。 ソース の下にあるトレイを選択し、テスト ページを実行します。 詳細については、「印刷品質 メニュー」を参照してください。 ● スキャナの校正方法については、「スキャナの校正」を参照してください。
同時に複数枚の用紙が送られました。	メディア トレイが重すぎる可能性があります。	トレイからメディアの一部を取り除きます。 「メディアのセット」を参照してください。
	メディアにしわが入る、折れている、または破損している可能性があります。	メディアにしわ、折れ、破損がないことを確認します。 新規または異なるパッケージのメディアの印刷を試してください。
デバイスがメディア トレイからメディアを引き出せません。	デバイスが手差しモードになっている可能性があります。	● **[手差し]** がコントロール パネルのディスプレイに表示される場合、**[OK]** を押してジョブを印刷します。 ● デバイスが手差しモードではないことを確認し、ジョブを印刷し直します。
	ピックアップ ローラーが汚れているか破損している可能性があります。	HP カスタマ ケアにご連絡ください。 HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。
	トレイの用紙長の調整コントロールが、メディアのサイズよりも長い位置に設定されています。	用紙長の調整コントロールを調整し、正しい長さにします。

性能に関する問題

問題	原因	解決方法
コピーが出てきませんでした。	給紙トレイが空になっている可能性があります。	デバイスにメディアをセットしてください。 詳細については、「メディアのセット」を参照してください。
	原稿が正しくセットされていない可能性があります。	ADF またはスキャナに原稿を正しくセットします。 「メディアのセット」を参照してください。
コピーが白紙です。	プリント カートリッジにガムテープが貼り付いたままになっている可能性があります。	プリント カートリッジを取り出し、ガムテープを剥がしてから、プリント カートリッジを取り付けます。
	原稿が正しくセットされていない可能性があります。	ADF またはスキャナに原稿を正しくセットします。 「メディアのセット」を参照してください。
	メディアがプリンタの仕様を満たしていない可能性があります。	HP 仕様を満たしているメディアを使用します。 「メディアについて」を参照してください。
	プリント カートリッジのトナー レベルが低い可能性があります。	プリント カートリッジを交換します。「プリント カートリッジの変更」を参照してください。
違う原稿がコピーされました。	ADF に原稿がセットされている可能性があります。	ADF が空であることを確認します。
コピーのサイズが小さくなります。	デバイス ソフトウェアでスキャンしたイメージのサイズを縮小する設定になっている可能性があります。	設定の変更方法については、デバイス ソフトウェアの [ヘルプ] を参照してください。

ファックスに関する問題の解決

注記　ファックスに関する問題の解決方法については、『*HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 User Guide*』を参照してください。

送信に関する問題の解決

送信中にファックスが中断します。

原因	解決方法
受信側のファックス機が機能していない可能性があります。	受信者に連絡して、受信するファックス機の電源を入れ、ファックスを受信できるように準備を依頼します。または別のファックス機に送信します。
電話回線が機能していないか、回線が干渉を受けている可能性があります。	ファックス ケーブルを電話用ジャックから外し、電話に接続します。 発信してみて、電話回線が機能していることを確認します。 [管理] メニューの [最大ボー レート] を調整して、低いボー レートで試します。 「[初期セットアップ] メニュー」を参照してください。

ファックスの受信はできますが、送信できません。

原因	解決方法
デバイスが PBX システムに設置されている場合、PBX システムからファックスが検出できないダイアル トーンが生成されている可能性があります。	ダイヤル トーンの検出設定を無効にします。 設定の変更方法については、ファックス ガイドを参照してください。
電話がつながりにくくなっている可能性があります。	ファックスを後で送り直してください。
受信側のファックス機が機能していない可能性があります。	受信者に連絡して、受信するファックス機の電源が入りファックスを受信する準備ができていることを確認してもらうか、別のファックス機に送信します。
電話回線が機能していない可能性があります。	ファックス ケーブルを電話用ジャックから外し、電話に接続します。 発信してみて、電話回線が機能していることを確認します。

ファックスを送信すると、発信音が鳴り続けます。

原因	解決方法
[通話中の場合のリダイアル] または [応答がない場合のリダイアル] が有効な場合、自動的にファックス番号がリダイアルされます。	[通話中の場合のリダイアル] または [応答がない場合のリダイアル] を無効にします。 設定の変更方法については、ファックス ガイドを参照してください。

送信したファックスが受信側のファックス機に届きません。

原因	解決方法
受信側のファックス機の電源が入っていないか、用紙切れなどのエラーが発生している可能性があります。	受信者に連絡して、ファックス機の電源を入れ、ファックスを受信できるように準備を依頼します。
通話中でリダイアルを待機しているとき、または送信したファックスよりも前のジョブが待機しているとき、ファックスはメモリに保存されている可能性があります。	このような状況でメモリにファックス ジョブが保存されている場合、ジョブ項目がファックス ログに表示されます。 ファックスの動作ログを印刷し (ファックス ガイドを参照)、**[結果]** 列に **[保留]** の宛先があるジョブを確認します。

注記　ファックスの送信速度が遅い場合、「[初期セットアップ] メニュー」の「ファックスの送信速度または受信速度がとても低速です」を参照してください。

受信に関する問題の解決

ファックスが送られてきても、ファックスが応答しません (ファックスが検出されません)。

原因	解決方法
応答するまでの呼び出し回数が正しく設定されていない可能性があります。	応答するまでの呼び出し回数の設定を確認します。 設定の変更方法については、ファックス ガイドを参照してください。
電話線が正しく接続されていない可能性があります。または電話線が機能していない可能性があります。	接続を確認してください。 デバイスに付属の電話線を使用していることを確認します。
電話回線が機能していない可能性があります。	ファックス ケーブルを電話用ジャックから外し、電話に接続します。 発信してみて、電話回線が機能していることを確認します。
音声メッセージ サービスが応答機能に干渉している可能性があります。	次のいずれかを実行します。 ● メッセージング サービスの接続を解除します。 ● 電話回線をファックス通話専用にします。 ● ファックスの応答するまでの呼び出し回数設定を減らし、音声メールの応答するまでの呼び出し回数設定より少なくします。 設定の変更方法については、ファックス ガイドを参照してください。

ファックスの送信速度または受信速度がとても低速です。

原因	解決方法
画像が多い原稿など、複雑なファックスを送受信しようとしている可能性があります。	原稿が複雑な場合、ファックスの送受信には時間がかかります。
受信側のファックス機のモデム速度が低速な可能性があります。	このデバイスでは、受信側のファックス機が対応できる最速のモデム速度でしかファックスを送信しません。

ファックスの送信速度または受信速度がとても低速です。

原因	解決方法
ファックスを送受信時に高い解像度を指定しました。 一般的に、解像度を高くすると品質は改善されますが、伝送時間が長くかかります。	ファックスを受信する側の場合、相手側に解像度を減らしてからファックスを再送信するように依頼してください。 送信側の場合、解像度を減らすか Page Content mode ([ページの内容] モード) の設定を変更します。 設定の変更方法については、ファックス ガイドを参照してください。
電話回線の接続速度が遅いため、デバイスのファックス機能と送受信するファックス機でエラーに対応するために伝送速度が遅くなります。	受信をキャンセルし、ファックスを再送信します。 電話会社に電話回線の調査を依頼してください。

ファックスが印刷されません。

原因	解決方法
メディアが給紙トレイにありません。	メディアをセットします。 給紙トレイが空のときに受信したファックスは、トレイにメディアがセットされると印刷されます。
Schedule Printing of Faxes mode ([ファックス印刷スケジュール] モード) が有効です。 このモードを無効にしないとファックスは印刷されません。	Schedule Printing of Faxes mode ([ファックス印刷スケジュール] モード) を無効にします。 設定の変更方法については、ファックス ガイドを参照してください。
トナー レベルが低いか、トナーがなくなりました。 トナー レベルが低くなるか、トナーがなくなると、印刷は停止されます。 受信したファックスはメモリに保存され、トナーが交換されると印刷されます。	プリント カートリッジを交換します。

電子メールに関する問題の解決

デジタル送信機能で電子メールを送信できないときは、SMTP ゲートウェイのアドレスまたは LDAP ゲートウェイのアドレスの再設定が必要な場合もあります。 現在の SMTP ゲートウェイと LDAP ゲートウェイの各アドレスを検索するには、設定ページを印刷します。 「[情報ページ] の使用」を参照してください。 SMTP ゲートウェイと LDAP ゲートウェイの各アドレスが有効かどうかを確認するには、次の手順を実行します。

SMTP ゲートウェイ アドレスの検証

注記　この手順は Windows オペレーティング システム用です。

1. MS-DOS コマンド プロンプトを開きます。 **[スタート]** をクリックし、**[ファイル名を指定して実行]** をクリックし、cmd と入力します。
2. telnet に続けて SMTP ゲートウェイ アドレスを入力し、MFP が通信するポートである数値 25 を入力します。 たとえば、telnet 123.123.123.123 25 と入力します。この「123.123.123.123」は SMTP ゲートウェイ アドレスを示します。
3. Enter を押します。SMTP ゲートウェイ アドレスが有効では*ない*場合、Could not open connection to the host on port 25: Connect Failed (ポート 25 でホストへの接続を開くことができませんでした: 接続は失敗しました) というメッセージが応答に含まれます。
4. SMTP ゲートウェイ アドレスが有効ではない場合、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

LDAP ゲートウェイ アドレスの検証

注記　この手順は Windows オペレーティング システム用です。

1. Windows エクスプローラを開きます。 アドレス バーに LDAP:// に続けて LDAP ゲートウェイ アドレスを入力します。 たとえば、LDAP://12.12.12.12 と入力します。この「12.12.12.12」は LDAP ゲートウェイ アドレスを示します。
2. Enter を押します。 LDAP ゲートウェイ アドレスが有効な場合、**[Find People (ユーザー検索)]** ダイアログボックスが表示されます。
3. LDAP ゲートウェイ アドレスが有効ではない場合、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

Windows に関する一般的なトラブルの解決

エラー メッセージ :

「一般保護違反 例外 OE」

「Spool32」

「Illegal Operation」

原因	解決方法
	すべてのソフトウェア プログラムを閉じ、Windows を再起動してからやり直してください。 別のプリンタ ドライバを選択します。 デバイスの PCL 6 プリンタ ドライバが選択されている場合、PCL 5 または HP PostScript Level 3 エミュレーション プリンタ ドライバに切り替えます。ドライバは、ソフトウェア プログラムから切り替えることができます。 すべての一時ファイルを Temp サブディレクトリから削除します。 ディレクトリ名は、AUTOEXEC.BAT ファイルを開き、ステートメント「Set Temp =」を検索して判別できます。 このステートメントの後に表示される名前が Temp ディレクトリです。 通常は C:\TEMP がデフォルトですが、これは定義し直すこともできます。 Windows のエラー メッセージについては、コンピュータに同梱されている Microsoft Windows のマニュアルを参照してください。

Macintosh に関する一般的なトラブルの解決

「一般的なデバイスに関する問題の解決」に一覧されている問題に加えて、このセクションでは、Mac OS X を使用している場合の問題について説明します。

注記　USB と IP 印刷のセットアップは、**[デスクトップの Printer ユーティリティ]**を使って実施します。 この場合、デバイスはセレクタには*表示されません*。

プリンタ ドライバが、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されません。

原因	解決方法
デバイス ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	PPD ファイルがハードディスクの以下の場所にあることを確認します。 Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。<lang> には、使用する言語を表す 2 文字の言語コードを入れます。 必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。 手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。
PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスク ドライブの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。<lang> には、使用する言語を表す 2 文字の言語コードを入れます。 ソフトウェアを再インストールします。 手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。

デバイス名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティのプリンタ リストに表示されません。

原因	解決方法
デバイスが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、デバイスの電源がオンになっていること、そして印字可ランプが点灯していることを確認してください。 USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。
間違った接続タイプが選択されている可能性があります。	デバイスとコンピュータの接続方法に応じて、USB、IP 印刷、または Rendezvous が選択されていることを確認します。
間違ったデバイス名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名が使用されています。	設定ページを印刷して、デバイス名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名を確認します。 「[情報ページ] の使用」を参照してください。 設定ページのデバイス名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されたプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名と同じであることを確認します。
インタフェース ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インタフェース ケーブルを交換します。 品質の良いケーブルを使用していることを確認します。

プリンタ ドライバが、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したデバイスを自動的に設定しません。

原因	解決方法
デバイスが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、デバイスの電源がオンになっていること、そして印字可ランプが点灯していることを確認してください。 USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。

プリンタ ドライバが、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したデバイスを自動的に設定しません。

原因	解決方法
デバイス ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	PPD ファイルがハードディスクの以下の場所にあることを確認します。 Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。<lang> には、使用する言語を表す 2 文字の言語コードを入れます。 必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。 手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。
PPD ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスク ドライブの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。<lang> には、使用する言語を表す 2 文字の言語コードを入れます。 ソフトウェアを再インストールします。 手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。
デバイスが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、デバイスの電源がオンになっていること、そして印字可ランプが点灯していることを確認してください。 USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。
インタフェース ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インタフェース ケーブルを交換します。 品質の良いケーブルを使用していることを確認します。

印刷ジョブが選択したデバイスに送られませんでした。

原因	解決方法
プリント キューが停止している可能性があります。	プリント キューを再起動します。 **[プリントモニタ]** を開き、**[ジョブを開始]** を選択します。
間違ったデバイス名または IP アドレスが使用されています。 まったく同じか、似たようなデバイス名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を持つ別のプリンタが、印刷ジョブを受信した可能性があります。	設定ページを印刷して、デバイス名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名を確認します。「[情報ページ] の使用」を参照してください。 設定ページのデバイス名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されたプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名と同じであることを確認します。

Encapsulated PostScript (EPS) ファイルが正しいフォントで印刷されません。

原因	解決方法
この問題は一部のプログラムで発生します。	● EPS ファイル内に格納されているフォントを、印刷する前にデバイスにダウンロードしてみてください。 ● ファイルをバイナリ エンコードではなく ASCII フォーマットで送信してください。

サードパーティ製 USB カードから印刷できません。

原因	解決方法
このエラーは、USB プリンタ用のソフトウェアがインストールされていない場合に発生します。	サードパーティ製 USB カードを追加するときに Apple USB Adapter Card Support ソフトウェアが必要となる場合があります。 このソフトウェアの最新版は Apple の Web サイトから入手できます。

USB ケーブルで接続しているときに、ドライブを選択した後にプリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティにデバイスが表示されません。

原因	解決方法
この問題は、ソフトウェアとハードウェア コンポーネントのいずれかが原因で発生します。	**ソフトウェアで発生するトラブルの解決** ● お使いの Macintosh で USB がサポートされていることを確認します。 ● Macintosh のオペレーティング システムが Mac OS X バージョン 10.2.8 以降であることを確認します。 ● お使いの Macintosh に Apple 製の適切な USB ソフトウェアがインストールされていることを確認します。 **ハードウェアで発生するトラブルの解決** ● デバイスの電源がオンになっていることを確認します。 ● USB ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 ● 適切なハイスピード USB 2.0 ケーブルが使用されていることを確認します。 ● チェーンにつながっている、電力を消費する USB デバイスが多すぎないことを確認します。 チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 ● チェーンにおいて、バスパワー動作の USB ハブが 3 つ以上連続して接続されていないかを確認します。 チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 **注記**　iMac のキーボードはバスパワー動作の USB ハブです。

Linux に関する問題の解決

Linux に関する問題の解決方法については、HP Linux サポート Web サイト (hp.sourceforge.net/) にアクセスしてください。

PostScript に関する問題の解決

以下の状況は、PostScript (PS) 言語特有であり、複数のプリンタ言語が使用されているときに発生する可能性があります。 コントロール パネルで、問題解決のヒントになるメッセージを確認してください。

注記　PS エラーが発生したときにメッセージを印刷する、あるいは画面に表示するには、**[印刷オプション]** ダイアログ ボックスを開き、メッセージを表示したい PS Errors セクションの横にある選択項目をクリックします。

一般的な問題

ジョブは、指定した書体ではなく Courier (デフォルトの書体) で印刷されます。

原因	解決方法
指定の書体がダウンロードされていません。	必要なフォントをダウンロードし、印刷ジョブを再送信します。 フォントの種類と場所を確認します。 必要に応じて、フォントをデバイスにダウンロードします。 詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

リーガル ページのマージンが切り詰められて印刷されます。

原因	解決方法
印刷ジョブが複雑すぎます。	ジョブを 600dpi で印刷したり、ページの複雑さを削減したり、またはメモリを増設する必要があります。

PS エラー ページが印刷されます。

原因	解決方法
印刷ジョブが PS ジョブでない可能性があります。	印刷ジョブが PS ジョブであることを確認します。 ソフトウェア プログラムが、セットアップまたは PS ヘッダー ファイルがデバイスに送信されることを予期していたかどうかを確認します。

A サプライ品とアクセサリ

このセクションでは、部品やサプライ品、アクセサリの注文に関する情報が説明されています。部品やアクセサリは、このプリンタ専用に設計されたものだけを使用してください。

パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文

パーツ、サプライ品、アクセサリを注文する方法はいくつかあります :

- HP から直接注文
- サービス プロバイダまたはサポート プロバイダを通じて注文
- 埋め込み Web サーバーを通じて直接注文 (ネットワーク接続されたプリンタ向け)
- HP Easy Printer Care ソフトウェアを使って直接注文します。

HP から直接注文

以下のアイテムは HP から直接注文できます :

- **交換パーツ :** 米国で交換パーツを注文するには、http://www.hp.com/go/hpparts をご覧ください。米国以外では、お近くの HP 認定サービス センターにお問い合わせのうえ、パーツをご注文ください。
- **サプライ品およびアクセサリ :** 米国でサプライ品を注文するには、http://www.hp.com/go/ljsupplies をご覧ください。米国以外でサプライ品を注文するには、http://www.hp.com/ghp/buyonline.html をご覧ください。アクセサリを注文するには、www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp をご覧ください。

サービス プロバイダまたはサポート プロバイダを通じて注文

パーツまたはアクセサリを注文するには、HP 認定のサービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。

埋め込み Web サーバーを通じて直接注文 (ネットワーク接続されたプリンタ向け)

次の手順で、埋め込み Web サーバーから直接印刷用のサプライ品を注文してください。

1. コンピュータ上の Web ブラウザで、デバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。ステータス ウィンドウが表示されます。
2. **[[その他のリンク]]** 領域で **[[サプライ品の注文]]** をダブルクリックします。消耗品を購入するサイトの URL が提供されます。
3. 注文する商品のパーツ番号を選択し、画面の指示に従います。

HP Easy Printer Care ソフトウェアを使って直接注文します。

HP Easy Printer Care ソフトウェアは、プリンタの設定や監視、プリンタ用サプライ品の注文、トラブルシューティング、およびアップデートを簡単かつ効率的に行うためのプリンタ管理ツールです。HP Easy Printer Care ソフトウェアの詳細については、http://www.hp.com/go/easyprintercare を参照してください。

製品番号

以下のアクセサリ リストは、このガイドの印刷時点で最新だったものです。 アクセサリの注文に関する情報と入手の可能性は、プリンタの製品寿命期間に変更される可能性があります。

給紙アクセサリ

項目	説明	製品番号
オプションの 500 枚収納トレイとフィーダ ユニット (トレイ 3)	収容できる用紙の枚数を増やすためのオプションのトレイ。 レター、A4、リーガル、A5、B5 (JIS)、エグゼクティブ、および 8.5 x 13 の用紙サイズに対応しています。	Q7817A

プリント カートリッジ

項目	説明	製品番号
HP LaserJet プリント カートリッジ	6,500 ページ カートリッジ	Q7551A
	13,000 ページ カートリッジ	Q7551X

メモリ

項目	説明	製品番号
100 ピン 133MHz DDR DIMM 大量の、あるいは複雑な印刷ジョブの処理能力が向上します。	64MB	Q7715A
	128MB	Q7718A
	256MB	Q7719A
	512MB	Q7720A

ケーブルおよびインタフェース

項目	説明	製品番号
拡張 I/O (EIO) カード マルチプロトコル対応 EIO ネットワーク カード型 HP Jetdirect プリント サーバー	HP Jetdirect 620n Fast Ethernet (10/100Base-TX) プリント サーバ	J7934A
	HP Jetdirect 625n GB Fast Ethernet (10/100Base-TX) プリント サーバ	J7960A
	HP Jetdirect 680n 802.11b ワイヤレス内蔵型プリント サーバ	J6058A
	HP bt1300 Bluetooth ワイヤレス プリンタ アダプタ	J6072A
	HP Jetdirect 635n IPv6/IPsec プリント サーバ	J7961A
USB ケーブル	A タイプ - B タイプのケーブル (2 m)	C6518A

ステイプラ アクセサリ

項目	説明	製品番号
ステイプル カセット	1,500 の未整形ステイプルがセットされたカセット	Q7432A

印刷メディア

メディア サプライ品の詳細については、http://www.hp.com/go/ljsupplies を参照してください。

項目	説明	製品番号
HP ソフト光沢紙	レター (220 x 280mm)、50 枚/箱	C4179A/アジア太平洋諸国/地域
HP LaserJet プリンタ用です。 この用紙は、パンフレットや販売促進資料などのインパクトが必要なビジネス文書や、グラフィックや写真を多用した文書に適したコート紙です。 仕様：32 ポンド (120 g/m^2)。	A4 (210 x 297mm)、50 枚/箱	C4179B/アジア太平洋諸国/地域、およびヨーロッパ
HP LaserJet 耐久紙	レター (8.5 x 11 インチ)、50 枚入りカートン	Q1298A/北米
HP LaserJet プリンタ用です。この用紙はサテン仕上げで、耐水性があり破れにくく、印字品質や印刷パフォーマンスも変わりません。看板、地図、メニューなどのビジネス用途に使用できます。	A4 (210 x 297mm)、50 枚入りカートン	Q1298B/アジア太平洋諸国/地域、およびヨーロッパ
HP Premium Choice LaserJet 用紙	レター (8.5 x 11 インチ)、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン	HPU1132/北米
HP LaserJet 用紙の中で白色度が最高です。 平滑度、白色度がともに高いこの用紙を使用すれば、色が鮮明に再現され、黒もくっきりと表現できます。 プレゼンテーション、ビジネス プラン、社外提出文書、およびその他の重要な文書に最適です。 仕様：98 白色度、32 ポンド (75g/m^2)。	レター (8.5 x 11 インチ)、250 枚/リーム、6 リーム入りカートン	HPU1732/北米
	A4 (210 x 297mm)、5 リーム入りカートン	Q2397A/アジア太平洋諸国/地域
	A4 (210 x 297mm)、250 枚/リーム、5 リーム入りカートン	CHP412/ヨーロッパ
	A4 (210 x 297mm)、500 枚/リーム、5 リーム入りカートン	CHP410/ヨーロッパ
	A4 (210 x 297mm)、160g/m^2、500 枚/リーム、5 リーム入りカートン	CHP413/ヨーロッパ
HP LaserJet 用紙	レター (8.5 x 11 インチ)、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン	HPJ1124/北米
HP LaserJet プリンタ用です。 この用紙は、レターヘッド、重要文書、法律文書、ダイレクト メール、および通信文書に適しています。 仕様：96 白色度、24 ポンド (90g/m^2)。	リーガル (8.5 x 14 インチ)、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン	HPJ1424/北米
	レター (220 x 280mm)、500 枚/リーム、5 リーム入りカートン	Q2398A/アジア太平洋諸国/地域
	A4 (210 x 297mm)、500 枚/リーム、5 リーム入りカートン	Q2400A/アジア太平洋諸国/地域
	A4 (210 x 297mm)、500 枚/リーム	CHP310/ヨーロッパ

項目	説明	製品番号
HP 印刷用紙 HP LaserJet プリンタとインクジェット プリンタ用です。 小規模オフィスやホーム オフィス用として開発されました。 コピー用紙よりも厚く光沢があります。 仕様：92 白色度、22 ポンド。	レター (8.5 x 11 インチ)、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン	HPP1122/北米およびメキシコ
	レター (8.5 x 11 インチ)、500 枚/リーム、3 リーム入りカートン	HPP113R/北米
	A4 (210 x 297mm)、500 枚/リーム、5 リーム入りカートン	CHP210/ヨーロッパ
	A4 (210 x 297mm)、300 枚/リーム、5 リーム入りカートン	CHP213/ヨーロッパ
HP 多目的用紙 レーザー プリンタ、インクジェット プリンタ、コピー、ファックスなど、すべてのオフィス機器に対応します。 オフィスのすべてのニーズを 1 種類の用紙で賄いたいビジネス用として開発されました。 他のオフィス用紙よりも光沢があって滑らかです。 仕様：90 白色度、20 ポンド (75g/m²)。	レター (8.5 x 11 インチ)、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン レター (8.5 x 11 インチ)、500 枚/リーム、5 リーム入りカートン レター (8.5 x 11 インチ)、250 枚/リーム、12 リーム入りカートン レター (8.5 x 11 インチ)、3 箇所の穴あき、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン リーガル (8.5 x 14 インチ)、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン	HPM1120/北米 HPM115R/北米 HP25011/北米 HPM113H/北米 HPM1420/北米
HP オフィス用紙 レーザー プリンタ、インクジェット プリンタ、コピー、ファックスなど、すべてのオフィス機器に対応します。 大量印刷に適しています。 仕様：84 白色度、20 ポンド (75g/m²)。	レター (8.5 x 11 インチ)、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン	HPC8511/北米およびメキシコ
	レター (8.5 x 11 インチ)、3 箇所の穴あき、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン	HPC3HP/北米
	リーガル (8.5 x 14 インチ)、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン	HPC8514/北米
	レター (8.5 x 11 インチ)、クイック パック、2,500 枚入りカートン	HP2500S/北米およびメキシコ
	レター (8.5 x 11 インチ)、クイック パック、3 箇所の穴あき、2,500 枚入りカートン	HP2500P/北米
	レター (220 x 280mm)、500 枚/リーム、5 リーム入りカートン	Q2408A/アジア太平洋諸国/地域
	A4 (210 x 297mm)、500 枚/リーム、5 リーム入りカートン	Q2407A/アジア太平洋諸国/地域
	A4 (210 x 297mm)、500 枚/リーム、5 リーム入りカートン	CHP110/ヨーロッパ
	A4 (210 x 297mm)、クイック パック、2,500 枚/リーム、5 リーム入りカートン	CHP113/ヨーロッパ

項目	説明	製品番号
HP オフィス用再生紙 レーザー プリンタ、インクジェット プリンタ、コピー、ファックスなど、すべてのオフィス機器に対応します。 大量印刷に適しています。 環境に優しい製品として U.S. Executive Order 13101 に準拠しています。 仕様：84 白色度、20 ポンド、古紙使用率 30%。	レター (8.5 x 11 インチ)、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン	HPE1120/北米
	レター (8.5 x 11 インチ)、3 箇所の穴あき、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン	HPE113H/北米
	リーガル (8.5 x 14 インチ)、500 枚/リーム、10 リーム入りカートン	HPE1420/北米
HP LaserJet OHP フィルム HP LaserJet モノクロ プリンタ専用です。テキストとグラフィックスが鮮明に印刷されます。モノクロ HP LaserJet プリンタ向けに特別に開発されテストされた唯一の OHP フィルムです。 仕様：4.3 ミル厚 (1 ミルは 1000/1 インチ)。	レター (8.5 x 11 インチ)、50 枚入りカートン	92296T/北米、アジア太平洋諸国/地域、およびヨーロッパ
	A4 (210 x 297mm)、50 枚入りカートン	922296U/アジア太平洋諸国/地域、およびヨーロッパ

B サービスおよびサポート

Hewlett-Packard 社製品限定保証

HP 製品	限定保障期間
HP LaserJet M3027、M3027x、M3035、および M3035xs	1 年間のオンサイト保証期間

HP は、エンドユーザーに対して、購入日から上記の期間中、HP ハードウェアとアクセサリに材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。 HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、自らの判断に基づき不具合があると証明された製品の修理または交換を行います。 交換製品は新品か、または新品と同様の機能を有する製品のいずれかになります。

HP は、HP ソフトウェアを正しくインストールして使用した場合に、購入日から上記の期間中、材料および製造上の瑕疵が原因でプログラミング命令の実行が妨げられないことを保証します。 HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、当該不具合によりプログラミング インストラクションが実行できないソフトウェアメディアの交換を行います。

HP は、HP の製品の動作が中断されないものであったり、エラーが皆無であることは保証しません。 なお、HP が HP の製品を相当期間内に修理または交換できなかった場合、お客様は、当該製品を返却することで、当該製品の購入金額を HP に請求できます。

HP 製品には、新品と同等の性能を発揮する再生部品が無作為に使用されることがあります。

本保証は、以下に起因する不具合に対しては適用されません。(a)不適当または不完全な保守、校正に因るとき。(b) HP が供給しないソフトウェア、インタフェース、または消耗品に因るとき。(c) HP が認めない改造または誤用に因るとき。(d) 表示した環境仕様の範囲外での動作に因るとき。(e) 据付場所の不備または保全の不適合に因るとき。

特定目的のための適合性や市場商品力についての暗黙の保証は、上記で明記された保証の保証期間に限定されます。 一部の国/地域では、暗黙の保証の保証期間を制限できない場合があるため、上記の制限や責任の排除はお客様に適用されない場合があります。 本保証は特定の法律上の権利をお客様に認めるものです。また、お客様は、その国/地域の法律によっては、他の権利も認められる場合があります。 HP の限定保証は、HP が製品のサポートを提供し、かつ製品を販売している国/地域で有効です。 お客様の受け取る保証サービスは、国/地域の標準規定によって異なる場合があります。 HP は、法律または規制上の理由で製品を機能させる意図のなかった国/地域で動作するように製品の形態、整合性、または機能を変更しません。

現地の法律で許容されている範囲内において、本保証書の責任が、HP の唯一で排他的な責任です。 現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびそのサプライヤは一切責任を負いません。 一部の国/地域では、付帯的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があり、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

カスタマ自己修理の保証サービス

HP 製品には多くのカスタマ自己修理 (CSR) 部品が使用されているため、修理時間が最小限に抑えられ、欠陥部品の交換にも柔軟に対応できます。 診断期間中に、CSR 部品を使用した修理が可能であると HP が判断した場合は、HP からお客様に直接その交換部品が発送されます。 CSR 部品は、次の 2 つのカテゴリに分類されます。 1) お客様ご自身が修理する義務のある部品。 これらの部品交換を HP に依頼した場合は、このサービスに対する交通費および人件費はお客様が負担するものとします。 2) お客様による修理がオプションである部品。 これらの部品もカスタマ自己修理に含まれています。 ただし、HP に交換を依頼しても、製品に指定されている保証サービスによっては、その一部とみなされ、無料で行われます。

部品の在庫状況および配達地域により、CSR 部品は翌営業日に届くように発送されます。 配達地域によっては、当日配達または 4 時間以内の配達を指定できる場合がありますが、当日または 4 時間以内の配達には追加料金がかかります。 サポートが必要な場合は、HP テクニカル サポート センターに電話でお問い合わせください。技術者がお客様の質問にお答えします。 交換用の CSR 部品に同梱の資料には、欠陥部品を HP に返却いただく必要があるかどうかが指定されています。 欠陥部品を HP に返却いただく必要がある場合は、定められた期間内 (通常、5 営業日以内) に欠陥部品を HP に発送しなければなりません。 欠陥部品は、提供された梱包物に付属する文書とともに返却する必要があります。 欠陥部品を返却されない場合は、交換部品の代金が HP から請求されます。 カスタマ自己修理を利用した場合は、送料と部品返却料を HP が全額負担し、使用する宅配業者/運送業者は HP が決めるものとします。

プリント カートリッジの限定保証書条項

この HP 製品は、材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

この限定保証は、(a) 補充、改変、再製または改ざんを施された製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはデバイス製品の公開されている環境仕様以外で操作した製品、(c) 通常の使用による疲弊した製品には適用されません。

限定保証サービスを受けるには、製品を (不具合に関する書面と印刷サンプルを添付して) 購入店に返品するか HP カスタマ サポートまでお問い合わせください。 HP の裁量で、HP は、瑕疵があることが判明した製品を交換するか、またはお客様に購入代金を返金します。

現地の法律で許容されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示または黙示されることはありません。HP 社は、商品性、品質に対するお客様の満足、または特定目的に対する整合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびその代理店は一切責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

HP カスタマ ケア

オンライン サービス

最新の HP デバイス固有のソフトウェア、製品情報、およびサポート情報には、インターネット経由で 24 時間アクセス可能です。次の Web サイトを参照してください。 www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp :

HP Jetdirect 外付けプリント サーバの情報については、www.hp.com/support/net_printing を参照してください。

HP Instant Support Professional Edition (ISPE) は、デスクトップ コンピューティングおよび印刷製品のための Web 対応トラブルシューティング ツール セットです。 instantsupport.hp.com を参照してください。

電話サポート

HP では保証期間中に無料電話サポートを提供しています。 お客様がお住まいの国/地域のサポート電話番号については、デバイスに同梱のリーフレット、または www.hp.com/support/ をご覧ください。 電話でお問い合わせいただく前に、 製品名およびシリアル番号、購入日、問題の発生状況などの情報をご用意ください。

ソフトウェア ユーティリティ、ドライバ、およびオンライン情報

www.hp.com/go/LJM3027mfp_software または www.hp.com/go/LJM3035mfp_software

ドライバが公開されている Web ページは英語ですが、各言語のドライバをダウンロードすることができます。

アクセサリおよびサプライ品の HP へのご注文

- 米国 : www.hp.com/sbso/product/supplies
- カナダ : www.hp.ca/catalog/supplies
- ヨーロッパ : www.hp.com/supplies
- アジア太平洋地域 : www.hp.com/paper/

HP 純正の部品またはアクセサリを注文するには、HP Parts Store (www.hp.com/buy/parts) (米国とカナダのみ) にアクセスするか、1-800-538-8787 (米国) または 1-800-387-3154 (カナダ) までお問い合わせください。

HP サービス情報

HP 認定販売店情報については、1-800-243-9816 (米国) または 1-800-387-3867 (カナダ) にお問い合わせください。

米国およびカナダ以外の場合は、お客様の居住する国/地域のカスタマ サポート窓口までお問い合わせください。 電話番号については、デバイスに同梱のリーフレットをご覧ください。

HP サービス契約

1-800-HPINVENT (1-800-474-6836 (米国)) または 1-800-268-1221 (カナダ) までお問い合わせください。 または、HP サポートパックおよび Carepaq™ サービスの Web サイト www.hpexpress-services.com/10467a を参照してください。

延長サービスについては、1-800-446-0522 までお問い合わせください。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア)

デバイスのステータスおよび設定を確認したり、トラブル解決情報およびオンライン マニュアルを表示したりするには、HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を使用します。 HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア)を使用するには、ソフトウェアをフルインストールする必要があります。 「内蔵 Web サーバの使用」を参照してください。

Macintosh コンピュータに関する HP のサポートおよび情報

Macintosh OS X サポート情報と、ドライバの更新に関する HP 購読サービスについては、www.hp.com/go/macosx を参照してください。

Macintosh ユーザー用の製品については、www.hp.com/go/mac-connect を参照してください。

HP 保守契約

HP 社では、幅広いサポートの需要を満たすため複数のタイプの保守契約をご用意しています。 保守契約は標準保証に含まれていません。 サポート サービスは地域によって異なります。 ご利用可能なサービスについては、最寄りの HP 販売店にお問い合わせください。

オンサイト サービス契約

お客様のニーズに合ったサポートを提供するため、HP 社ではいくつかのオンサイト サービス契約を用意しています。

翌日オンサイト サービス

この契約では、サービスを申し込まれた次の営業日までにサポートを提供します。 対象時間の延長および HP 社が規定するサービス エリア外への出張は、ほとんどのオンサイト契約で可能です (追加料金)。

週間 (ボリューム) オンサイト サービス

この契約では、多数の HP 社製品をお持ちの企業を毎週定期的に訪問します。 この契約は、デバイス、プロッタ、コンピュータ、およびディスク ドライブを含む、25 台以上のワークステーション製品を使用している企業を対象としています。

デバイスの再梱包

HP カスタマ ケアが、お客様のデバイスを HP に返却していただいて修理する必要があると判断した場合は、以下の手順に従ってデバイスを梱包して発送してください。

注意　梱包の不備が原因で輸送中にプリンタが破損した場合は、お客様の責任になります。

デバイスを再梱包するには

1. 追加購入してデバイスにインストールした DIMM カードは、取り外して保管してください。 デバイスに標準として付属している DIMM は取り外さないでください。

   注意　静電気は DIMM に損傷を与えます。 DIMM の取り扱い時には、静電気防止用リスト ストラップを着用するか、頻繁に DIMM の静電気防止パッケージに触れてから、デバイスの露出した金属部に触れるようにしてください。 DIMM の取り外しについては、「メモリのインストール」を参照してください。

2. プリント カートリッジを取り外して保管します。

   注意　プリント カートリッジを*必ず取り外してから*デバイスを発送してください。 プリント カートリッジを取り付けたままデバイスを搬送すると、トナーの漏れがデバイス エンジンやその他の部品全体に及ぶ可能性があります。

   プリント カートリッジの損傷を防ぐために、カートリッジのローラーには触れず、元の梱包材に入れて保管するか光の当たらない場所に保管してください。

3. 電源ケーブル、インタフェース ケーブル、そしてオプションのアクセサリを取り外して保管します。

4. 可能であれば、印刷サンプルと、正しく印刷できない用紙または他の印刷メディアを 50 ～ 100 枚ほど同梱してください。

5. 米国内の場合は、HP カスタマ ケアに連絡して、新しい梱包材を要求することができます。 その他の地域の場合は、可能であれば、元の梱包材を使用してください。 発送する機器には保険をかけることをお勧めします。

保証期間の延長

HP サポートは、HP ハードウェア製品とすべての HP 提供の内部部品に適用されます。 ハードウェア保守は、HP 製品の購入日から 1 ～ 3 年間有効です。 ただし、製造元保証書に記述されている期間内に、HP サポートを購入する必要があります。 詳細は、HP カスタマ ケア サービスおよびサポート グループまでお問い合わせください。

C 仕様

物理的仕様

表 C-1 プリンタの寸法

プリンタ モデル	高さ	奥行	幅	重量 [1]
HP LaserJet M3027、M3027x、および M3035 MFP	530 mm (20.9 インチ)	400 mm (15.7 インチ)	464 mm (19.3 インチ)	27.6 kg (60.6 ポンド)
HP LaserJet M3035xs MFP	670 mm (26.4 インチ)			33.4 kg (73.5 ポンド)

[1] プリント カートリッジあり

表 C-2 すべてのドアとトレイを完全に開いた状態でのプリンタの寸法

プリンタ モデル	高さ	奥行	幅
HP LaserJet M3027、M3027x、および M3035 MFP	870 mm (34.3 インチ)	978 mm (38.4 インチ)	464 mm (19.3 インチ)
HP LaserJet M3035xs MFP	1,010 mm (39.8 インチ)		

電気的仕様

警告！ 電源条件は、販売された国/地域によって異なります。 動作電圧は変更しないでください。 デバイスに損傷を与えても保証ができない場合があります。

表 C-3 電源条件

仕様	110 ボルト モデル	220 ボルト対応モデル
電源要件	100 ～ 127 ボルト (± 10%)	220 ～ 240 ボルト (± 10%)
	50/60 Hz (± 2 Hz)	50/60 Hz (± 2 Hz)
標準の電流	7.5 A	4.0 A

表 C-4 消費電力 (平均値、単位は W)[1]

プリンタ モデル	印刷時 [2]	印字可 [3][4]	スリープ時 [5]	オフ
HP LaserJet M3027	560W[6]	35W	23.6W	0.2W
HP LaserJet M3027x	560W[6]	35W	23.6W	0.2W
HP LaserJet M3035	590W[6]	34.5W	24W	0.2W
HP LaserJet M3035xs	610W[6]	34.5W	24W	0.2W

1 数値は変更される場合があります。 最新の情報については、「www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp」を参照してください。
2 電力の数値は、すべての標準電圧を使用して測定した結果得られた最高値です。
3 印字可モードからスリープ モードに移行するデフォルト時間は 30 分です。
4 HP LaserJet M3027 モデルの印字可モードでの発熱量は 119.5 BTU/時。HP LaserJet M3035 モデルの印字可モードでの発熱量は 117.5 BTU/時。
5 スリープ モードから印刷開始までのリカバリ時間は 8.5 秒以下です。
6 印刷速度は 27 または 35 ppm です。

AE (acoustic emissions：アコースティック エミッション)

表 C-5 音量と音圧のレベル [1],[2]

音量レベル	ISO 9296 に準拠
印刷時 [3]	L_{WAd}= 6.5 ベル (A) [65 dB(A)]
印刷可	ほぼ無音
音圧レベル	**ISO 9296 に準拠**
印刷時 [3]	L_{pAm}=56 dB (A)
印刷可	ほぼ無音

1 数値は変更される場合があります。 最新の情報については、「www.hp.com/support/LJM3027mfp または www.hp.com/support/LJM3035mfp」を参照してください。

2 テスト時の構成： 基本モデルによる A4 用紙の単純印刷。

3 印刷速度は 27 または 35 ppm です。

動作環境

表 C-6 必要条件

環境条件	印刷時	保管時/スタンバイ時
温度 (プリンタおよびプリント カートリッジ)	15° 〜 32.5℃ (59° 〜 89°F)	0 〜 40°C (32 〜 104°F)
相対湿度	10% 〜 80%	0 〜 95%

D　規制に関する情報

このセクションでは、規制に関する次の情報について説明します。

- FCC 規格
- 環境に関するプロダクト スチュワードシップ プログラム
- 電気通信に関する宣言
- 適合宣言書
- 安全規定

FCC 規格

本装置をテストした結果、Class A デジタル デバイスの基準に達し、FCC 規則の Part 15 に準拠していることが確認されました。 これらの基準は、居住空間に装置を設置した場合の受信障害に対するしかるべき防止策を提供することを目的としています。 本装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があります。 指示に従って本装置を設置し使用していない場合、無線通信に支障をきたす場合があります。 しかし、特定の設置条件で障害が発生しないことを保証するものではありません。 本装置の電源の投入時および切断時に、ラジオやテレビの電波受信に支障がある場合、次の処置の 1 つまたは複数を試すことをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、または設置場所を変える
- 装置と受信機の距離を広げる
- 受信機が接続されている電気回路とは別の回路上のコンセントに本装置を接続する
- 本装置の販売店、またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する

注記 HP が明示的に認めていないプリンタへの変更や改造を行うと、本装置を操作するユーザーの権利が無効になる場合があります。

FCC 規則の Part 15 の Class A 基準に準拠するには、シールド付きインターフェース ケーブルを使用してください。

環境に関するプロダクト スチュワードシップ プログラム

環境の保護

Hewlett-Packard 社は環境保全を考慮した上で、高品質の製品をお届けしています。 この製品は、いくつかの点で環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

オゾン放出

この製品はオゾン ガス (O_3) をほとんど発生しません。

消費電力

印刷可能およびスリープ モードでは電力消費量がかなり低下します。このモードでは天然資源を節約し、コストを削減しますが、この製品の高いパフォーマンスには影響を与えません。 この製品は、ENERGY STAR® (国際エネルギー スター プログラム バージョン 3.0) の認定を受けています。このプログラムは、省エネルギーのオフィス機器の開発を奨励する自主的なプログラムです。

ENERGY STAR® および ENERGY STAR のロゴは、米国における登録商標です。 Hewlett-Packard 社は、ENERGY STAR® のパートナーとして、この製品がエネルギー効率に関する ENERGY STAR® の基準に適合していると判断しました。 詳細については、www.energystar.gov を参照してください。

トナーの消費

Economode ではトナーの使用量が大幅に低減し、プリント カートリッジの耐用性が高まることが期待できます。

用紙の使用

この製品の手動またはオプションの自動両面印刷機能 (両面印刷については、「用紙の両面への印刷」(Windows) または「用紙の両面印刷」 (Mac) を参照) および N-UP 印刷機能 (1 枚の用紙に複数のページを印刷する機能) を使用すると、用紙の使用量を削減し、その結果天然資源への需要を減らすことができます。

プラスチック

25g を超えるプラスチック部品には、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

HP LaserJet 用サプライ品

HP LaserJet の使用済みプリント カートリッジは、HP Planet Partners (HP プラネット パートナー) を通じて無料で簡単に回収とリサイクルが行われます。 HP では、製品の設計および製造から販売、運用、リサイクル処理に至るまで、環境保全を考慮した上で、創意工夫に満ちた高品質の製品およびサービスの提供に努めています。 回収した HP LaserJet プリント カートリッジは弊社が責任を持っ

て適切にリサイクルを行い、新製品に利用できるプラスチックおよび金属に再生することにより、大量の廃棄物が埋め立てられるのを回避します。 回収したカートリッジはリサイクルされ、新しい材料として利用されるため、お客様に返却されることはありません。 HP Planet Partners (HP プラネット パートナー) プログラムに参加すると、HP LaserJet の使用済みプリント カートリッジは責任を持ってリサイクルされます。 環境保護にご協力お願いいたします。

多くの国/地域で、この製品の印刷用のサプライ品 (プリント カートリッジなど) を HP 印刷サプライ品回収およびリサイクル プログラムを通じて HP に返却できます。 利用しやすい無料の回収プログラムを、35 を超える国/地域で利用できます。 新しい HP LaserJet プリント カートリッジおよびサプライ品の箱には多言語によるプログラムの説明が同梱されています。

HP 印刷サプライ品回収およびリサイクル プログラムの説明

1992 年から、HP は、HP LaserJet 用サプライ品の無料回収およびリサイクルに取り組んでいます。 2004 年には、HP LaserJet 用サプライ品が販売されている世界の市場の 85% で、LaserJet 用サプライ品の HP Planet Partners (HP プラネット パートナー) が利用可能になりました。 宛先記入済み郵送料前払いのラベルが使用説明書に添付されて、HP LaserJet プリント カートリッジ ボックスに同梱されています。 ラベルと段ボールは、Web サイト (www.hp.com/recycle) からも入手できます。

このラベルは、使用済みの HP LaserJet 純正プリント カートリッジの回収専用です。 HP 純正品以外のカートリッジ、再充填 (リフィル) したカートリッジや再生品カートリッジ、または保証に基づく返品には使用しないでください。 誤って HP Planet Partners (HP プラネット パートナー) プログラムに送られた印刷サプライ品またはその他の物品は、返却されません。

2004 年には世界中で 1,000 万個以上の HP LaserJet プリント カートリッジが HP Planet Partners (HP プラネット パートナー) 印刷用サプライ品リサイクル プログラムを通じてリサイクルされました。 この記録的な数字は、11,793 トン以上のプリント カートリッジ材料が埋め立てられずに済んだことを示します。 HP は、2004 年には世界中で、主にプラスチックと金属で構成されるプリント カートリッジのうち、重量で換算すると平均 59% に相当する部分をリサイクルしました。 プラスチックと金属は、HP 製品、プラスチック トレイやスプールなどの新製品を製造する際に使用されます。 残りの物質は、環境保全に役立つような方法で廃棄されます。

- **米国におけるリサイクル品の回収** : 使用済みトナー カートリッジとサプライ品の環境保全に役立つようなリサイクルを目指し、HP 社は一括回収を推奨しています。 複数のカートリッジをまとめて、カートリッジのパッケージに同封されている宛先記入済み郵送料前払いの UPS ラベルを 1 枚貼って送付してください。 米国内における詳細については、1-800-340-2445 にお問い合わせいただくか、HP の Web サイト (www.hp.com/recycle) にアクセスしてください。
- **米国以外からの返却** 米国以外の HP サプライ品回収およびリサイクル プログラムについては、Web サイト (www.hp.com/recycle) にアクセスしてください。

用紙

この製品では、用紙が『『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide (HP LaserJet プリンタ ファミリー印刷メディアガイド)*』』に記載されている基準に適合している場合に限り、再生紙を使用することができます。 この製品には、EN12281:2002 に準拠する再生紙を使用することができます。

材料の制限

この HP 製品には、スキャナとコントロール パネルの液晶ディスプレイの蛍光灯に水銀が使用されているため、耐用期間経過後に特別な取扱いが必要になる場合があります。

この HP 製品には電池が使用されているため、回収時に特別な取扱いが必要になる場合があります。 この製品に Hewlett-Packard が使用している電池を以下に示します。

HP LaserJet M3027/M3035 デバイス	
タイプ	フッ化黒鉛リチウム電池 BR1632
重量	1.5g
実装位置	フォーマッタ ボード
ユーザーによる取り外し	不可

廢電池請回收

リサイクル情報については、www.hp.com/recycle にアクセスするか、最寄りの代理店または米国電子工業会 (www.eiae.org) にお問い合わせください。

EU (欧州連合) が定める一般家庭の使用済み機器の廃棄

製品または製品のパッケージにこのマークが付いている場合、この製品を家庭廃棄物と一緒に捨てることは禁止されています。 使用済み機器の廃棄は消費者が責任を負うものとし、電気・電子機器廃棄物のリサイクルを行うための指定された回収拠点に持って行く必要があります。 使用済み機器の廃棄に分別収集およびリサイクルを実行することより、天然資源を保護し、人間の健康と環境を守るリサイクルを実現します。 使用済み機器のリサイクルを行う回収拠点については、居住地区の市役所、家庭廃棄物の収集業者、または製品を購入した販売店にお問い合わせください。

化学物質安全データ シート (MSDS)

トナーなどの化学物質を含んでいるサプライ品の化学物質安全データ シート (MSDS) については、HP の Web サイト www.hp.com/go/msds または www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety にアクセスしてください。

詳細について

これらの環境に関するトピック

- この製品やこの製品に関連する多くの HP 製品についての製品環境プロファイル
- HP 社の環境への貢献
- HP 社の環境管理システム
- HP 社の製品回収およびリサイクル プログラム
- 化学物質安全データシート (MSDS)

http://www.hp.com/go/environment または http://www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety にアクセスしてください。

電気通信に関する宣言

HP LaserJet M3027x と HP LaserJet M3035xs モデルには HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 がすでに取り付けてあり、公衆交換電話網 (PSTN) と通信してファックス機能を使用することができます。ファックス機能とファックス装置に関する規制当局の許可および規制に関する通知については、『*HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザー ガイド*』を参照してください。

適合宣言書

適合宣言書

ISO/IEC Guide 22 および EN 45014 に準拠

製造者名：	Hewlett-Packard Company
製造者住所：	11311 Chinden Boulevard, Boise, Idaho 83714-1021, USA

宣言対象製品

製品名：	HP LaserJet M3027 / M3035 シリーズ
アクセサリ [5] **:**	Q7817A - オプションの 1x500 枚トレイ BOISB-0308-00 ファックス モジュール
規制モデル番号 [3] **:**	BOISB-0406-01
製品オプション：	すべて
プリント カートリッジ：	Q7551A, Q7551X

下記の製品仕様に適合：

安全性：	IEC 60950-1:2001 / EN60950-1: 2001 +A11 IEC 60825-1:1993 +A1 +A2 / EN 60825-1:1994 +A1 +A2 (Class 1 レーザー/LED 製品) GB4943-2001
EMC:	CISPR 22：1993 +A1 +A2 / EN55022:1994 +A1 +A2 - Class A[1,4] EN 61000-3-2:2000 EN 61000-3-3:1995 +A1 EN 55024:1998 +A1 +A2 FCC Title 47 CFR, Part 15 Class A[2] / ICES-003, Issue 4
TELECOM :	TBR-21:1998; EG 201 121:1998

補足情報：

本製品は EMC Directive 89/336/EEC、Low Voltage Directive 73/23/EEC、R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) の要件に準拠し、それに基づいて CE マーキングを貼付しています。

1) 本製品は、Hewlett-Packard パーソナル コンピュータ システムを使用して典型的な設定条件で検査済みです。

2) 本デバイスは FCC 規定 Part 15 に準拠しています。 動作は次の 2 つの条件を前提とします。 (1) 本デバイスによって有害な干渉が発生することはありません。(2) 本デバイスは予期しない動作の原因となる干渉も含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

3) 規制の対象として、この製品には規制モデル番号が割り当てられています。 この番号を製品名または製品番号と混同しないでください。

4) 本製品は、以下が適用される場合、EN55022 と CNS13438 Class A の要件に適合します。 「警告：本製品はクラス A 製品です。 屋内の環境下で、本製品が電波障害の原因になる場合もあります。このような問題が発生するときは、ユーザーが適切な処置を講じることが必要になる場合があります。」

5) 規制モデル番号 BOISB-0308-00 で Hewlett-Packard が取得したアナログ ファックス アクセサリとして各国で承認されているすべてのモジュラーは、Multi-Tech Systems MT5634SMI Socket Modem Module を組み込んでいます。

Boise, Idaho , USA

2006 年 4 月 19 日

規定に関する情報のお問い合わせ先：

オーストラリアのお問い合わせ先：	Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Australia Ltd., 31-41 Joseph Street,, Blackburn, Victoria 3130, Australia
ヨーロッパのお問い合わせ先：	最寄りの Hewlett-Packard 販売およびサービス事務所または Hewlett-Packard Gmbh, Department HQ-TRE / Standards Europe, Herrenberger Strasse 140, , D-71034, Bőblingen, (ファックス： +49-7031-14-3143)
米国のお問い合わせ先：	Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, PO Box 15, Mail Stop 160,, Boise, ID 83707-0015, , (電話： 208-396-6000)

安全規定

レーザー製品の安全性

米国食品医薬品局の医療機器・放射線製品センタ (CDRH) では、1976 年 8 月 1 日以降に生産されたレーザ製品の規定を定めています。米国で販売される製品では規定への準拠が必須です。 このデバイスは、1968 年の放射線規制法に基づく米国保健社会福祉省 (DHHS) の放射線性能基準のもと、「クラス 1」のレーザ製品に認定されています。このデバイス内で放射される放射線は保護用の筐体および外部カバー内に密封されているので、ユーザーの通常の使用状況ではレーザ ビームが漏れることはありません。

警告！ このユーザーズ ガイドに指定されていない制御を使用したり、調整を行ったり、手順を実行したりすると、危険な放射線が漏れる場合があります。

Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)

Complies with Canadian EMC Class A requirements.

« Conforme à la classe A des normes canadiennes de compatibilité électromagnétiques. « CEM ». »

VCCI 規格（日本）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源コード規格 (日本)

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

EMI 規格 (韓国)

사용자 안내문 (A급 기기)

이 기기는 업무용으로 전자파장해검정을 받은 기기이오니,만약 잘못 구입하셨을 때에는 구입한 곳에서 비업무용으로 교환하시기 바랍니다.

EMI 規格 (台湾)

<table><tr><td>

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

</td></tr></table>

レーザー製品に関する規定 (フィンランド)

Luokan 1 laserlaite

Klass 1 Laser Apparat

HP LaserJet M3027, M3027x, M3035, M3035xs, laserkirjoitin on käyttäjän kannalta turvallinen luokan 1 laserlaite. Normaalissa käytössä kirjoittimen suojakotelointi estää lasersäteen pääsyn laitteen ulkopuolelle. Laitteen turvallisuusluokka on määritetty standardin EN 60825-1 (1994) mukaisesti.

VAROITUS !

Laitteen käyttäminen muulla kuin käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.

VARNING !

Om apparaten används på annat sätt än i bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstrålning, som överskrider gränsen för laserklass 1.

HUOLTO

HP LaserJet M3027, M3027x, M3035, M3035xs - kirjoittimen sisällä ei ole käyttäjän huollettavissa olevia kohteita. Laitteen saa avata ja huoltaa ainoastaan sen huoltamiseen koulutettu henkilö. Tällaiseksi huoltotoimenpiteeksi ei katsota väriainekasetin vaihtamista, paperiradan puhdistusta tai muita käyttäjän käsikirjassa lueteltuja, käyttäjän tehtäväksi tarkoitettuja ylläpitotoimia, jotka voidaan suorittaa ilman erikoistyökaluja.

VARO !

Mikäli kirjoittimen suojakotelo avataan, olet alttiina näkymättömällelasersäteilylle laitteen ollessa toiminnassa. Älä katso säteeseen.

VARNING !

Om laserprinterns skyddshölje öppnas då apparaten är i funktion, utsättas användaren för osynlig laserstrålning. Betrakta ej strålen. Tiedot laitteessa käytettävän laserdiodin säteilyominaisuuksista: Aallonpituus 775-795 nm Teho 5 m W Luokan 3B laser.

E　メモリ カードとプリント サーバ カードの取り扱い

このセクションでは、デバイスのメモリ機能とその拡張手順について説明します。

概要

デュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) スロット 1 個を使えば、以下のようにデバイスをアップグレードすることができます。

- メモリの増設：64MB、128MB、256MB、および 512MB の DIMM が使用できます。
- その他の DIMM ベースのプリンタ言語およびプリンタ オプション。

デバイスは、100 ピン 133MHz DDR メモリ モジュールを使用しています。 拡張データ出力 (EDO) DIMM はサポートされていません。

注文については、「パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文」を参照してください。

注記　以前の HP LaserJet プリンタで使用されていたシングル インライン メモリ モジュール (SIMM) は、このデバイスでは使用できません。

また、デバイスには、ネットワーク機能を拡張するための EIO スロットが 1 個装備されています。 この EIO スロットは、ワイヤレス プリント サーバ、ネットワーク カード、シリアル接続または AppleTalk 接続対応の接続カードなどのネットワーク接続を追加してデバイスをアップグレードするために使用することができます。

デバイスにインストールされているメモリ容量や EIO スロットにインストールされているカードを確認するには、設定ページを印刷します。 「[情報ページ] の使用」を参照してください。

注記　複雑なグラフィックスを印刷する際にメモリに問題が発生した場合は、ダウンロードしたフォント、スタイル シート、マクロをデバイスのメモリから削除することによってメモリを増やすことができます。 プログラムから複雑な印刷ジョブを減らすことによって、メモリ問題を解決することができます。

メモリのインストール

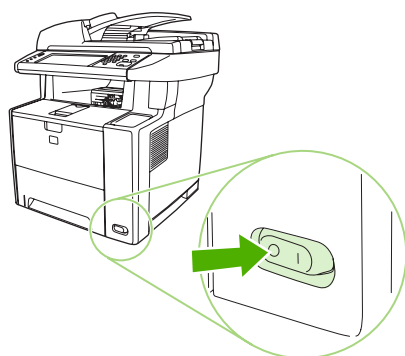
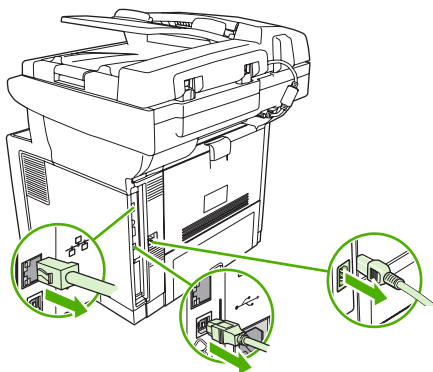
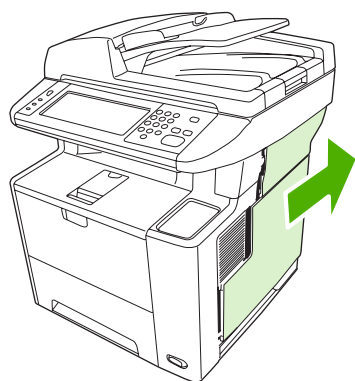
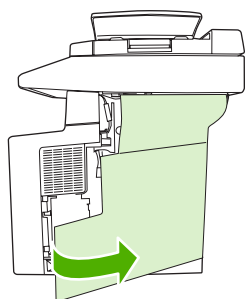
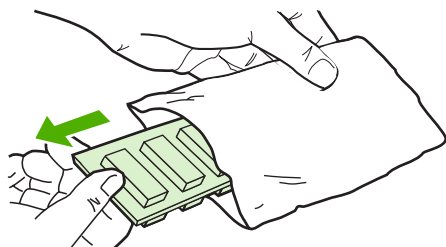
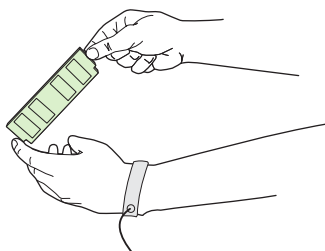
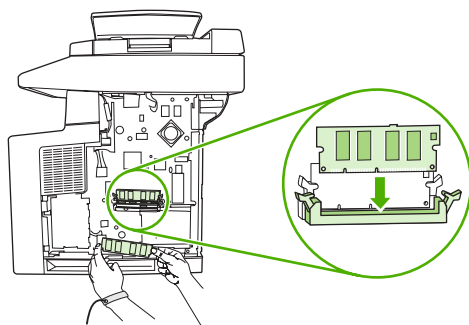
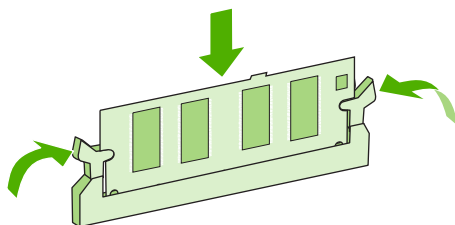
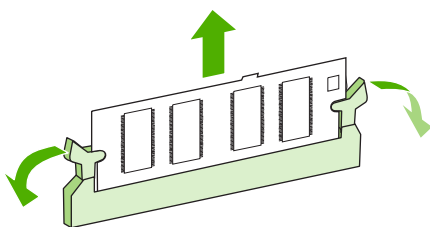
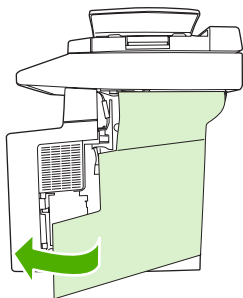
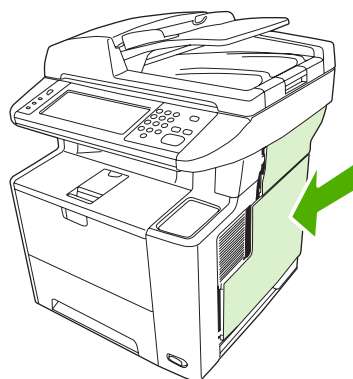
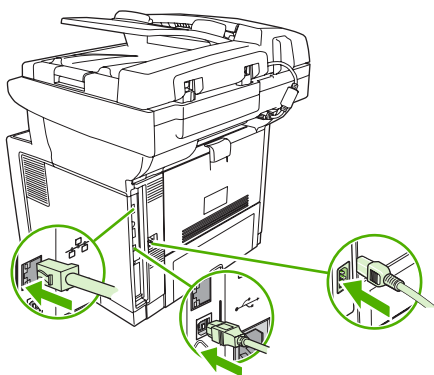
複雑なグラフィックスや PostScript 文書を頻繁に印刷したり、多数のフォントをダウンロードして使用する場合は、デバイスのメモリを増設することをお勧めします。 メモリを増設することによって、クイック コピーなどのジョブ保存機能に柔軟に対応することができます。

デバイス メモリのインストール

注意 静電気は DIMM に損傷を与えます。 DIMM を取り扱う場合は、静電気防止用リスト ストラップを着用するか、何度も DIMM の静電気防止パッケージの表面に触れてから、デバイスの露出した金属部に触れるようにしてください。

HP LaserJet M3027/M3035 デバイスには、DIMM スロットが 1 基装備されています。 必要に応じて、スロットにインストールされている DIMM をより容量の大きな DIMM に交換することができます。

メモリを増設する前に、設定ページを印刷して、デバイスにインストールされているメモリの容量を確認してください。 「[情報ページ] の使用」を参照してください。

1. 設定ページを印刷したら、デバイスの電源を切って、電源コードを取り外します。

2. すべてのインタフェース ケーブルを取り外します。

3. 右側のパネルをデバイスから外れるまでデバイスの後方にスライドさせて取り外します。

4. アクセス ドアの金属製のタブを掴んで開きます。

5. 静電気防止パッケージから DIMM を取り出します。

注意　静電気による損傷の危険性を減らすために、常に静電放電 (ESD) リスト ストラップを着用するか、静電防止パッケージの表面に触れてから DIMM に触れるようにしてください。

6. DIMM の両端を持って、DIMM の切りこみ位置と DIMM スロットを合わせます (DIMM スロットの両端のロックが開いていることを確認してください)。

7. DIMM をスロットに差してしっかり押し込みます。 DIMM スロットの両端のロックがカチッと音がして固定されたことを確認します。

注記 DIMM を取り外すには、最初にロックを解除します。

8. アクセス ドアを閉じて、カチッと音がするまでしっかり押します。

9. 右側のパネルを取り付けるには、パネルを矢印の方向に合わせ、所定の位置に収まるまでデバイスの前方にスライドさせます。

10. インタフェース ケーブルと電源コードを接続します。

11. デバイスの電源を入れます。

DIMM の取り付けの確認

DIMM を取り付けたら、正しく取り付けられていることを確認します。

DIMM が正しく取り付けられていることの確認

1. デバイスの電源を入れます。 デバイスの起動処理の後に、印字可ランプが点灯することを確認します。 エラー メッセージが表示された場合は、DIMM が正しく取り付けられていない可能性があります。 「コントロール パネルのメッセージ」を参照してください。
2. 設定ページを印刷します (「[情報ページ] の使用」を参照)。
3. この設定ページと、メモリを取り付ける前に印刷した設定ページのメモリ セクションを比較します。 メモリ容量が増えていなければ、DIMM が正しく取り付けられていないか、欠陥がある可能性があります。 取り付け手順を繰り返してください。 必要に応じて、別の DIMM を取り付けます。

注記　デバイス言語 (パーソナリティ) をインストールした場合は、設定ページの「インストール済みパーソナリティとオプション」を確認してください。 新しいデバイス言語がここにリストされます。

リソースの保存 (常駐リソース)

デバイスにダウンロードするユーティリティやジョブには、フォント、マクロ、パターンなどのリソースが含まれている場合があります。 内部的に常駐リソースとして指定したリソースは、デバイスの電源を切るまでデバイスのメモリ内に残ります。

ページ記述言語 (PDL) を使ってリソースを常駐リソースとして指定する場合は、次のガイドラインに従ってください。 技術的な詳細については、PCL または PS の該当する PDL 参考資料を参照してください。

- デバイスの電源が入っている限りリソースをどうしてもメモリ上に残しておきたい場合にのみ、リソースを常駐リソースとして指定してください。
- 常駐リソースは印刷ジョブの開始時に送信し、印刷中に送信しないでください。

注記 常駐リソースを使いすぎたり、デバイスの印刷中にダウンロードすると、デバイスのパフォーマンスや複雑なページの印刷性能に影響が出る可能性があります。

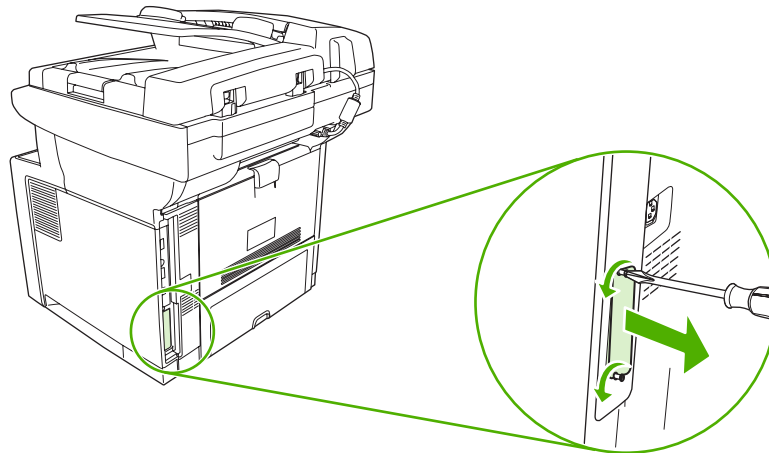
メモリを Windows に認識させる

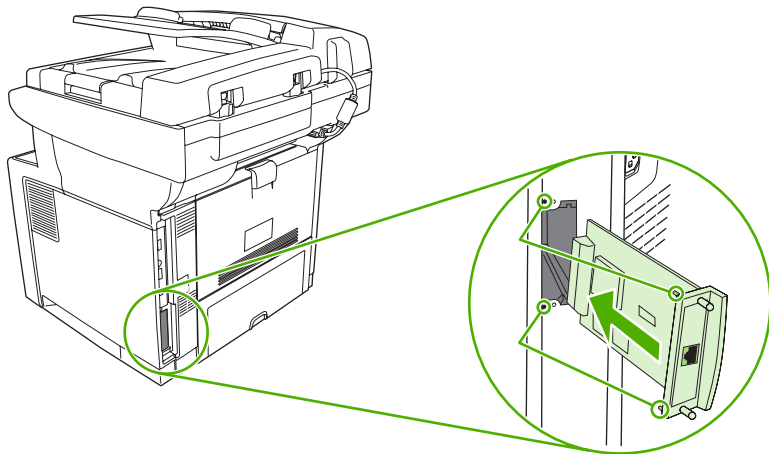
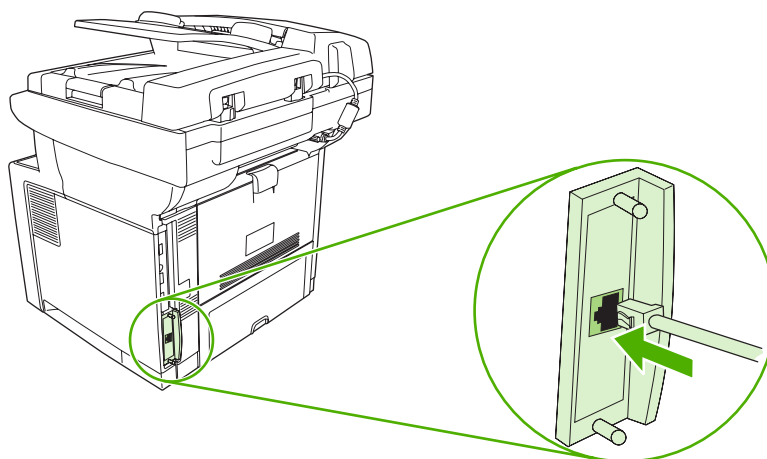
1. **[スタート]** メニューから **[設定]** をポイントし、**[プリンタ]** または **[プリンタとファックス]** をクリックします。
2. このデバイスを選択し、**[プロパティ]** を選択します。
3. **[設定]** タブで **[詳細]** をクリックします。
4. **[合計メモリ]** フィールドで、現在取り付けられているメモリの総容量を入力または選択します。
5. **[OK]** をクリックします。
6. 「DIMM の取り付けの確認」に進みます。

HP Jetdirect プリント サーバ カードの使用

以下の手順に従って、EIO カードの取り付けまたは取り外しを行います。

HP Jetdirect プリント サーバ カードの取り付け

1. デバイスの電源を切ります。
2. デバイス後部の EIO スロットから 2 本のネジとカバー プレートを外します。

注記　ネジとカバー プレートは廃棄しないで、 将来、EIO カードを取り外すときのために保管しておいてください。

3. EIO カードを EIO スロットに取り付け、ネジを締めます。

4. ネットワーク ケーブルを EIO カードに接続します。

5. デバイスの電源を入れてから、設定ページを印刷して新しい EIO デバイスが認識されていることを確認します。「[情報ページ] の使用」を参照してください。

注記　設定ページを印刷すると、ネットワークの設定とステータス情報を含む HP Jetdirect 設定ページも印刷されます。

HP Jetdirect プリント サーバ カードの取り外し

1. デバイスの電源を切ります。
2. EIO カードからネットワーク ケーブルを取り外します。
3. EIO カードの 2 本のネジを緩めてから、EIO カードを EIO スロットから取り外します。
4. EIO スロットのカバー プレートをデバイスの後部に取り付けます。 2 本のネジを差し込んで締めます。
5. デバイスの電源を入れます。

用語集

BOOTP 「ブートストラップ プロトコル」(Bootstrap Protocol) の略。コンピュータが目的の IP アドレスを見つける際に使用するインターネット プロトコル。

DHCP Dynamic Host Configuration Protocol の略。ネットワークに接続するコンピュータや周辺機器は DHCP を使って、IP アドレスなどの設定情報を確認します。

DIMM Dual Inline Memory Module の略。メモリ チップを搭載するモジュール。

EIO Enhanced input/output (拡張 I/O) の略。HP プリンタにプリント サーバ、ネットワーク アダプタ、ハード ディスク、その他のプラグイン機能を追加するためのハードウェア インタフェース。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) コンピュータのデスクトップからプリンタを監視および維持する機能を備えたソフトウェア。

HP Jetdirect ネットワーク印刷のための HP 製品。

HP Web Jetadmin HP Jetdirect プリント サーバに接続した周辺機器をコンピュータ上で管理できる HP 社製の Web ベース プリンタ管理ソフトウェア。

I/O 「入力/出力」(Input/Output) の略。コンピュータのポート設定に関する説明に使用する用語。

IPX/SPX Internetwork Packet Exchange/Squenced Packet Exchange の略。

IP アドレス ネットワーク上のコンピュータ デバイスに割り当てられる固有の番号。

PCL 「プリンタ制御言語」(Printer Control Language) の略。

PJL 「プリンタ ジョブ言語」(Printer Job Language) の略。

PostScript Adobe Systems 社のページ記述言語。

PostScript エミュレーション Adobe PostScript をエミュレートするソフトウェア。印刷されるページの外観を記述するプログラミング言語。 このプリンタ言語は、多くのメニューで「PS」と表示されます。

PPD 「PostScript プリンタ記述」(PostScript Printer Description) の略。

RAM 「ランダム アクセス メモリ」(Random Access Memory) の略。変更可能なデータを保存するために使用するコンピュータ メモリの一種。

ROM 「読み出し専用メモリ」(Read-Only Memory) の略。変更できないデータを保存するために使用するコンピュータ メモリの一種。

TCP/IP 国際通信基準となったインターネット プロトコル。

グレースケール グレーのさまざまな階調。

校正 印刷品質を最大限に向上させるためにプリンタが行う内部調整プロセス。

コントロール パネル　ボタンや表示画面で構成されるプリンタ上の領域。 コントロール パネルでは、プリンタの設定を行ったり、プリンタのステータスに関する情報を表示したりできます。

サプライ品　プリンタで使用する、交換が必要な消耗品。 このプリンタのサプライ品はプリント カートリッジ。

周辺機器　コンピュータに接続して使用するプリンタ、モデム、記憶システムなどの補助デバイス。

セレクタ　デバイスを選択する際に使用する Macintosh のユーティリティ。

双方向通信　双方向のデータ送信。

デフォルト　ハードウェアまたはソフトウェアの通常または標準の設定。

トナー　画像を印刷対象のメディア上に表現する、黒またはカラーの細かいパウダー状のインク。

トランスファー ユニット　プリンタ内部でメディアを給送し、プリント カートリッジのトナーをメディアに転写する黒いプラスチック製のベルト。

トレイ　白紙の用紙をセットする容器。

ネットワーク管理者　ネットワークを管理する担当者。

ネットワーク　情報を共有するために電話回線やその他の手段で相互接続されたコンピュータ システム。

パーソナリティ　プリンタに特有の機能または特徴、つまりプリンタ言語。

ハーフトーン パターン　ハーフトーン パターンは、さまざまなサイズのインク ドットで写真などの連続階調画像を生成します。

ピクセル　画面に表示される画像を構成する最小単位。「画素」とも呼ばれます。

ビン　印刷された用紙を保持するトレイ。

ファームウェア　プリンタ内部の読み出し専用メモリに保存されているプログラム。

フォント　書体別に分類した文字、数字、および記号のすべてのセット。

フューザ　メディアにトナーを熱で溶着させる装置。

プリンタ ドライバ　コンピュータでプリンタの機能を利用できるようにするソフトウェア プログラム。

ページ バッファ　プリンタでページの画像を印刷する際にそのページのデータを一時的に保存するためのプリンタのメモリ。

メディア　プリンタで画像を印刷するときに使用する用紙、ラベル、OHP フィルム、およびその他のもの。

メモリ タグ　特定のアドレスを持つメモリ パーティション。

モノクロ　白と黒。 すなわち無色。

ラスター画像　ドットで構成された画像。

両面印刷　用紙の両面に印刷できる機能。

レンダリング　テキストまたはグラフィックスを描画するためのプロセス。

索引

さ

し

へ

ほ

ゆ

よ

ら

り

れ

わ

ん